



SEA-DOO®



2007


オペレーターズガイド
セーフティビークルおよび
メンテナンス情報を含みます

4-TEC™
SERIES

 警告

このガイドをよく読んでください。安全に関する重要な情報が載せられています。
船体からこの「オペレーターガイド」を持ち出さないでください。

この『オペレーター・ガイド』では、特別な情報を強調するために次のような警告記号を用います。

 安全喚起記号は、人がけがをする恐れがあることを示します。

 警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

注意: 指示に従わなかった場合は、ウォータークラフトの構成部品に重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

注記: 指示内容を完全に実行するために必要な補足情報を示します。

 警告

お客様の安全のため、この『オペレーターズガイド』や『セーフティビデオカセット』、製品に添付されたラベルに示された安全に関する注意や指示についてはその内容を十分に理解し、これに従うようにしてください。指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあります。ウォータークラフトを利用する場合、ライダーには、安全に関する注意を同乗者に知らせる義務があります。

この『オペレーターズガイド』は、防水バッグに入れて常にウォータークラフトとともに保管してください。『オペレーターズガイド』の追加を参照または印刷を希望される場合は、次のウェブサイト www.operatorsguide.brp.com にアクセスしてください。また本ガイドは各種言語に翻訳されております。

また、この『オペレーターズガイド』と『セーフティ・ビデオカセット』は、ボートを売却する際も一緒にお渡しください。

CE

ナイツスプレーナイン⁺は、Korkay System Ltd の商標です。

GTX⁺は、Castrol Ltd の商標です。許諾のもとに使用されています。

以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc またはその子会社に帰属します：

XP-S™ 10W40 4-ストローク オイル

O.P.A.S.™

SEA-DOO®

Sea-Doo® 化学合成グリース

Rotax®

Sea-Doo LK™

DESS™

RXP™

4-TEC™

GTI™

はじめに

『オペレーターズガイド』は、このパーソナル・ウォータークラフトとそのさまざまな操作、メンテナンス、そして安全なライディングのための注意事項については、オーナー/オペレーターあるいは同乗者の方によく知っていただくために作成されています。これらはどれも製品を正しく使用するために必要不可欠なものです。防水性の袋に入れて、いつでもウォータークラフトに搭載してください。

『オペレーターズガイド』を必ず読んで、その内容を理解してください。

製品保証とその適用に関する疑問点はこのガイドの「保証」のセクションを参照するか、Sea-Doo認定ディーラーにお問い合わせください。

米国の製品代理店は、BRP US Inc.です。カナダの製品代理店は、Bombardier Recreational Products Inc.です（まとめて“BRP”と呼びます）。

このガイドに含まれる情報およびコンポーネント/システムの記述は、ただ執筆の時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。

製品の品質向上と技術革新の絶えざる努力のため、BRPは何らの義務を負うことなく、製品の仕様、設計、機能、型式、装置などをいつでも変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。

この文書に含まれる図版は、何種類かの異なるアセンブリーの代表的な構造を示し、特定の部品の細部または正確な形状を表現していない場合があります。しかし、それらは同様または類似の機能を持つ部品を代表しています。

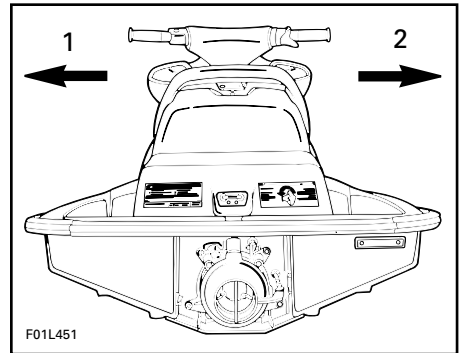
このガイドは他言語に翻訳される可能性があります。内容に不一致が生じた場合は、英語版の内容が正しいものと見なされます。

仕様の数値はSIメートル法で示され、括弧内にSAEのU.S.単位系に換算した値を併記します。特に精度が要求されない個所では、実用上の利便性を優先して換算値の端数を四捨五入している場合があります。

完全な整備とメンテナンスに関する情報、および修理に関するより詳しい情報をご希望の方には、別途『ショップマニュアル』をご用意しています。

本文で示される左（左舷）と右（右舷）は、つねにドライビングポジション（ウォータークラフトに正しく着座した状態）を基準にしています。

また、船舶業界の慣行により船体前部はバウ、船体後部はスターンと呼んでいます。



1. 左（左舷）
2. 右（右舷）

目次

安全に関する情報

はじめに	8
セーフティー チェックリスト	9
ライディング	11
運転	15
運航ルール	18
給油の手順	19
水上スキー用の手信号	20
重要なラベルの位置	21

ボートについての情報

登録番号の位置	32
識別番号	33
操縦装置、各コンポーネントと計器類	34
操縦装置、各コンポーネントと計器類の機能	41
1) DESS ポスト(エンジンカットオフスイッチ)	41
2) ハンドルバー	42
3) スロットルレバー	42
4) エンジンスタート / ストップボタン	42
5) 可変トリムシステム (VTS) ボタン (装備されている場合)	43
6) シフトレバー	43
7) インフォメーションセンターゲージ	44
8) グローブボックス	46
9) GPS レシーバー (グローバル ポジショニングシステム) (装備されている場合)	47
10) 燃料タンクキャップ	48
11) フロントストレージコンパートメント	48
12) ツールボックス	52
13) エアインテーク開口部	52
14) シートストラップ	52
15) リアシートラッチ(装備されている場合)	52
16) シートラッチ	53
17) リアグラブハンドル	53
18) リアストレージバスケット(装備されている場合)	54
19) バウ (船首) アイレットとスターン (船尾) アイレット	54
20) 係船クリート	55
21) フットボード	55
22) ボーディングパッド	55
23) ボーディングプラットフォーム	55

24) ボーディングステップ(装備されている場合).....	55
25) フラッシングコネクター.....	56
26) ビルジドレンプラグ.....	56
27) ジェットポンプノズル.....	57
28) リバースゲート.....	57
29) ジェットポンプウォーターインテークとライドプレート.....	57
30) ヒューズ.....	58
31) バッテリー.....	58
32) サイドペーン.....	59
33) エンジンオイルレベルゲージ.....	59
34) エンジンオイルフィルターキャップ.....	59
35) 冷却システムリザーバータンクキャップ.....	60
36) スキー/ウエイクボードポスト (装備されている場合).....	60
37) ウエイクボードとラック (装備されている場合).....	61
液体類.....	64
推奨燃料.....	64
エンジンオイル.....	65
エンジン冷却液.....	68
慣らし運転期間.....	70
使用前の点検.....	71
船体 (ハル).....	72
ジェットポンプウォーターインテーク.....	72
ビルジ.....	72
バッテリー.....	73
燃料タンク.....	73
エンジンコンパートメント.....	73
エンジンオイルレベル.....	73
エンジンクーラントレベル.....	73
ステアリングシステム.....	73
スロットルシステム.....	73
シフターシステム.....	73
VTS (可変トリムシステム) (装備されている場合).....	74
ストレージコンパートメントカバーとシート.....	74
ウエイクボードとラック (装備されている場合).....	74
DESS ポストおよびエンジンスタート/ストップボタン.....	74
排気マニホールドの冷却水(気温が氷点下またはそれに近い場合のみ).....	74
操作の説明.....	76
作動原理.....	76
ウォータークラフトへの乗船.....	81
エンジンの始動.....	83
ライディング.....	83
ウエイクボードラック.....	84
波の荒いときや視界の悪いときの航行.....	84
波を横切るとき.....	84
停止 / ドック入れ.....	84
浜辺に乗り上げるとき.....	85

エンジンの停止	85
使用後のお手入れ	86
船体のお手入れ	86
泥水や塩水で使用した場合のお手入れ	86
エキゾースト冷却システムのフラッシング	86
防蝕処理	87
特殊作業の手順	88
モニタリングシステム	88
エンジンのオーバーヒート	88
エンジンの油圧が上がらない	88
ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃	89
ウォータークラフトが転覆したとき	90
ウォータークラフトが水没したとき	90
エンジン内に水を吸い込んだとき	91
プラグがかぶってしまったとき	91
水上でのウォータークラフトの曳航	92
バッテリーの電圧低下	93
トラブルシューティング	95
仕様	103

メンテナンス

エンジンの排出ガスに関する情報	108
一般的事項	109
メンテナンスチャート	110
定期点検	110
メンテナンス	113
潤滑	113
スロットルケーブルの点検	114
エンジンのオイル交換とオイルフィルターの交換	114
バルブの調整	114
冷却液の交換	114
燃料噴射システム	114
ステアリングアライメント	114
VTS の調整(装備されている場合)	115
ビルジドレンプラグ	115
ヒューズ	116
O.P.A.S. システム(装備されている場合)	118
ドライブシャフト腐食防止	118
スキー / ウェイクボードポスト (装備されている場合)	118
全体の点検と清掃	118
トレーラーでの運搬、保管、シーズン前の準備	120
トレーラーでの運搬	120
進水 / 積み込み	121
保管	121
シーズン前の準備	125

シーズン前の準備チャート	127
このマニュアルで使われている略語	128

保証

4-TEC®エンジン、または 4-TEC®IC エンジン装備 SEA-DOO® 2007 年モデル パーソナル・ウォータークラフトに対するカリフォルニア州およびニュー ヨーク州の排出ガス制御保証規定。	130
BRP 国際限定保証:2007 SEA-DOO® ウォータークラフト.....	134
プライバシー保護に関する情報	138
住所と所有権の変更	139

安全に関する情報

はじめに

この度は、Sea-Doo パーソナルウォータークラフトをお買い上げいただき、ありがとうございます。Sea-Doo は最も人気の高いウォータークラフトのひとつです。Sea-Doo® パーソナルウォータークラフト (PWC) は、自然の美しさに触れながら、世界中の水辺で刺激的な体験を楽しむ機会を皆様様に提供します。水上のレジャーを存分にお楽しみください。

しかし、この新たな喜びと自由には、お客様ご自身、そして同乗者、お客様様のウォータークラフトを一緒に使用する方々、第三者の責任も伴います。ウォータークラフトをご利用になる場合は安全に関する指示に必ず従い、十分な注意をお払いください。また、ウォータークラフトを使用する場合は、そのコントロール方法を完全に理解し、節度を保った責任あるライディングをしなければなりません。ウォータークラフトのオペレーターには、同乗者と第三者の安全を確保する責任があります。同乗者には、必ず安全上の注意をお伝えください。

この安全のセクションには、お客様が初めてご覧になる内容にも含まれています。しかし、これらはウォータークラフトを安全に楽しむためにはいづれも重要な項目です。わずかな時間で十分ですので、是非ともこの安全のセクションをよく読み取ってください。これらをお読みするだけでは十分ではありませんが、その内容を理解して応用すれば、ウォータークラフトを正しく使用する助けとなります。

このセクションの指示内容に従わない場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあります。

この安全のセクションは、ウォータークラフトを初めてご利用になる方の参考用として作成したものであり、その内容はご限定されていません。ご利用にあたっては、『オペレーターズガイド』、セーフティビデオ、製品に貼付された警告/注意ラベルも合わせてご覧ください。"航行ルール"に関する詳細を地域の湾岸警備当局、モーターボート団体、その他の地元ボート協会から入手することも強く推奨いたします。

多くの国や地域では、船舶利用の安全に関する規則が定められています。ウォータークラフトをご利用になる場合は、安全と免許に関する講習を受けられることを強くお勧めします。

船舶利用の安全に関する情報は、この安全のセクション最後に記載されている航行安全/規制ウェブサイトから入手できます。

船舶に関する規制は時々改正されまします。ウォータークラフトをご利用になる場合は、その都度適用法規をご確認ください。

また同時に、ウォータークラフトの年次安全点検の実施もお勧めします。詳細については最寄りのディーラーまでご連絡ください。

定期メンテナンスや安全メンテナンス、アクセサリーをご希望の場合は、ぜひ最寄りのディーラーへ定期的にお立ち寄りください。

楽しく遊んでください。お楽しみいただけるようお祈りいたします。

セイフティー チェックリスト

ボート乗りの喜びや楽しさ、そして安全な乗りに関する情報は、乗る前に必ず確認してください。この安全に関する情報は、乗る前に必ず確認してください。この安全に関する情報は、乗る前に必ず確認してください。

一般的事項

ご利用の際は、安全講習への参加をお勧めします。乗る前に必ず確認してください。この安全に関する情報は、乗る前に必ず確認してください。

このウォータークラフトは、性能を最大限まで引き出すために、乗る前に必ず確認してください。この安全に関する情報は、乗る前に必ず確認してください。

ウォータークラフトの安全な利用を左右するのは、乗る前に必ず確認してください。この安全に関する情報は、乗る前に必ず確認してください。

同乗者を乗せる場合は、その乗者の乗る位置を確認してください。乗る前に必ず確認してください。この安全に関する情報は、乗る前に必ず確認してください。

水深の深いところでは、ウォータークラフトの乗る位置を確認してください。乗る前に必ず確認してください。この安全に関する情報は、乗る前に必ず確認してください。

PWCは、転覆時に自動的に姿勢を回復させません。乗る前に必ず確認してください。この安全に関する情報は、乗る前に必ず確認してください。

薬を服用したりアルコールを飲んだ後は、乗る前に必ず確認してください。この安全に関する情報は、乗る前に必ず確認してください。

燃料を補給する際は、『オペレーターズガイド』に示されている手順に従ってください。乗る前に必ず確認してください。この安全に関する情報は、乗る前に必ず確認してください。

給油を行う前に必ずエンジンを止め、乗る前に必ず確認してください。この安全に関する情報は、乗る前に必ず確認してください。

低速航行水域に関する規則、およびその水域を利用する他の人々や環境には十分な注意を払ってください。ウォータークラフト利用者は、「船長」およびウォータークラフトのオーナーとして、自身の航跡による他者への損害に責任を持たなければなりません。ウォータークラフト上からは、いかなる物も投棄しないでください。

しかし緊急時には他の人々を救助する義務があります。

ライディング

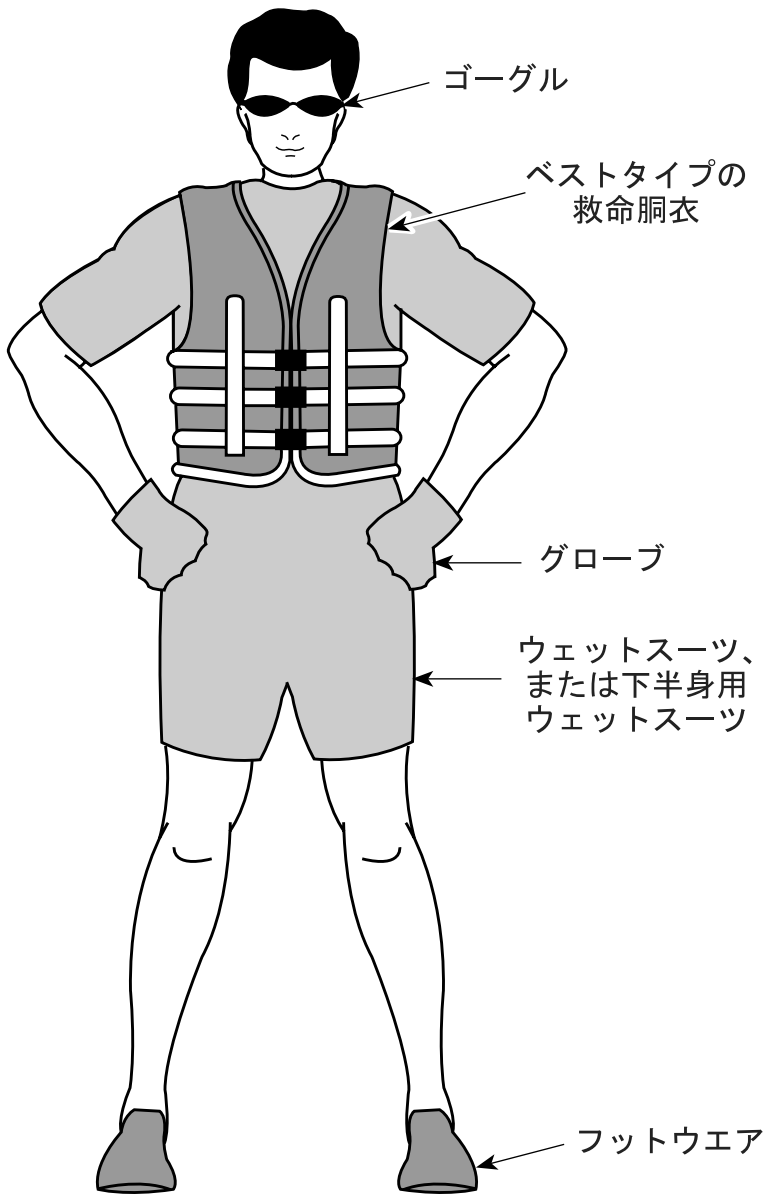
着用品

オペレータと同乗者には、PWC使用に適した日本小型船舶検査機構（JCI）認定のパーソナルフローティングデバイス（PFD）着用が義務付けられています。（日本国内に限る）

オペレーターと同乗者は、'ライディングコンディションや個人の好みに合わせて、レンズが割れても飛散しないシャッターブルーのメガネを使用できるようにしておく必要があります。風や水の飛沫、高速走行などによって水が目に入り、視界がぼやけてしまうことがあるからです。

PWCのライダーと同乗者は、体を保護できる服を着用してください。これには以下のようなものが含まれます：

- ウェットスーツボトム、あるいは織り目が細かく体に合った服で、これと同等の保護効果の期待できるもの。たとえば、自転車用の薄手のシヨーツなどは不向きです。落水やジェットスラストノズルに近づくことによって体腔内に水が入ると、内臓に重大な損傷を与え、恐れがあります。通常の水着では、男女を問わず、高圧の水が下半身から体内へ浸入するのを十分に防ぐことはできません。
- 靴、グローブ、ゴーグル / メガネの着用をお勧めします。また、足にも軽量かつ柔軟な保護具を着用するようにしてください。これは、水中の鋭い岩などによるケガの防止に役立ちます。



F00A12L

ヘルメット

重要な注意点

ヘルメットは、頭部への衝撃を緩和できるように設計されています。ほとんどのモータースポーツにおいては、ヘルメットの着用が不可欠です。補って余りあることは明らかですが、パーソナルウォータークラフトなどのようなモーターウォータースポーツの場合、水上であることに伴う特別なリスクがあるため、そのような利点は必ずしもありません。

利点

ヘルメットは、頭部が硬いものに当たった場合の衝撃緩和に役立ちます。例としては、衝突の際の相手のウォータークラフトに頭部が当たる場合が考えられます。同様に、チンガードの付いたヘルメットは、顔面、顎、歯などの負傷防止に役立ちます。

リスク

一方、ウォータークラフトから転落した場合のいくつかの状況下では、ヘルメットが“バケツ”のように水を捉えてしまい、首や脊椎に大きな力が加わる恐れがあります。これは、窒息、首や脊椎の重大な損傷、回復不能な損傷を招き、最悪の場合は死亡事故に至ります。

また、ヘルメットが周囲の視界や聴覚を妨げたり疲労をもたらしたりすることによって、衝突の危険が増す恐れもあります。

リスクと利点の兼ね合い

ヘルメットを着用すべきかの判断にあたって最も望ましいのは、具体的なライディング環境や個人的経験を考慮することです。これには、交通の多い水域であるか、どのようなライディングスタイルか、といった点が含まれます。

結論

どのような選択をした場合でも、ある種のリスクを最小限に抑えることはできる一方、他のリスクは増大します。したがってヘルメットを着用するかどうかは、具体的な状況に基づいてその都度判断を下す必要があります。

着用することにした場合は、さらに、その状況にはどのタイプのものが最も適しているかを判断しなければなりません。ヘルメットは DOT 規格またはスネル規格を満たすものを探し、可能であればモーターウォータースポーツ用に設計されたものを選ぶようにしてください。

レース

競技自体の性質と、ウォータークラフト同士が近接しているという事実から、参加台数の多い PWC 競技においてはヘルメットを着用することを勧めます。競技統括組織の定めるヘルメット要求には必ず従ってください。

携行品

法令に定められた品目は必ず携行し、ウォータークラフト上で使いやすい状態にしておいてください。詳細については国内または地域の法令を確認するか、最寄りの Sea-Doo 認定ディーラーまでご連絡ください。通常必要な品目には、ホイッスルなどの音響信号装置、防水懐中電灯や認定発炎筒、浮揚性のヒービングライン、アンカーとロープ*、バイラー*、適切な消火器*などが含まれます。また、防水バッグやコンテナに携帯電話を入れておくのも有用で、遭難した場合や陸上と連絡を取る場合に使用できることがあります。

準備

使用前に、Sea-Doo PWC に貼付されている警告 / 注意ラベル、『オペレーターズガイド』、他の安全に関するすべての資料を読み、その内容を理解するとともに、セーフティビデオをきちんと見てください。“△”記号は警告記号であり、従わない場合は乗員の死亡を含む重大事故を招く恐れのある指示内容であることを示します。

ウォータークラフトを使用する場合は、その水域に適用される地元および国の船舶関連法令を確認してください。その地域の道路交通に関する法令も調べておく必要があります。また、その水域で使用されている航行システム（ブイや標識）についても十分に調べ、内容をよく理解しておかなければなりません。

さらに、水域自体に関する知識も必要です。海流、潮汐、早瀬、航跡や波などは、安全な運航に影響します。悪天候下でのウォータークラフト使用はお勧めできません。

安全とウォータークラフト整備の観点から、ウォータークラフトを使用する場合は、『オペレーターズガイド』に定める“始業点検”を必ず行ってください。

セーフティランヤードは常にオペレーターの PFD につないでおくとともに、ハンドルバーにからまないようにしてください。これにより、オペレーターが転落した場合にエンジンを自動的に停止することができます。また、ライディング後は、子供や他の人がエンジンを始動させてしまうことのないように、ポストから DESS キーを外してください。セーフティランヤードをつなげていないと、オペレーターが転落してもウォータークラフトは停止しません。

また、PWCは夜間使用するようには設計されていません。

オペレーター / 同乗者が注意すべきこと

ウォータークラフトを利用する場合、オペレーターには、安全に関する注意を同乗者に知らせる義務があります。

誰かがウォータークラフトの後部付近に近づくときは、絶対にハンドルバレーを回さないでください。また、ステアリング用可動部品（ノズル、サイドペーン、リンケージ等）には人を近づけないでください。

サンデッキを装備している場合は、サンデッキやステアリングを始動しなさい。付近の水中に人がいる様子です。吐き出されると、重傷を負う恐れがあります。

エンジン始動時やウォータークラフト走行時はオペレーターも同乗者もシートに正しく座り、走行中はその状態を保ってください。同乗者には、バックアップ、あるいはトピックを事前に知らせてください。

特に同乗者を乗せた状態で加速する場合は、発進時や走行中に加速するようご注意ください。急加速を行うと同乗者がバランスを崩したり、ウォータークラフトが離れたりする恐れがあります。急加速時には同乗者にその旨を知らせるか、同乗者が急加速を測ることができるようにしてください。

エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、衣服は品入れられて、重たいものが動いたり、巻き込まれる恐れがあります。

人がウォータークラフトに乗ろうとしている場合は、海草や異物を取り外す場合は、誤ってエンジンやスタートボタンを動かさないようご注意ください。

日射、風、アルコール、薬品、疲労、疾病などは、判断力や反応時間に悪影響を与えることがありますので、注意が必要です。

PWC使用時は、旋回半径を小さくするために足を水中に入れないでください。

ウォータークラフトの操縦性/曳航

ウォータークラフト使用時は、積載重量や定員をオーバーしないようにしてください。過積載は操縦性、安定性、性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

ウォータークラフトの操縦性に影響するようなアクセサリーや装置は取り付けしないでください。

ウォータークラフトには曳航用アイレットを取り付けて、スキーロープをつなぐことができます。

同乗者を乗せたり、チューブ、水上スキー、ウエイクボードを曳航したりするとウォータークラフトのハンドリングは変化し、より高い操縦技量が求められます。

走行時は、同乗者、およびスキーやウエイクボードの利用者の安全と快適性を常に考慮してください。

チューブ、水上スキー、ウエイクボードなどを曳航する場合は必ず監視役を乗せ、必要な速度を超えないようにするとともに、監視役の指示に従って走行してください。止むを得ない場合を除き、急な旋回はしないでください。また、栈橋、遊泳者、船舶、障害物などからは安全な距離を保ってください。

曳航ロープは十分な長さとし、太さのものを使用し、適切な方法で接続され、ウォータークラフトに一部を取り付けることでは、特別製の曳航用ポールの取り付けが、PWCに曳航用ポールなどを取り付けることは避けてください。その上、人が倒れたりするとケガをする恐れがあり、危険です。

急旋回中やサークリング中に曳航ロープが弛むと、重大な負傷の原因になります。落水した人の首や手足に緩んだロープが巻きついて、重傷を伴う事故を招く恐れがあります。

ウエイクボードやラックを取り付けたりする場合は、特に注意を払う必要があります。操作は避け、波によるジャンプは絶対に行わないでください。常識的な操作を行い、速度を抑えて走行してください。こうした場合、ウエイクボードが外れたり、振り落とされた乗員がウエイクボードまたはラックにぶつかってケガをする恐れがあります。

終始節度ある姿勢で最初からスマートなライディングを心がけましょう。安全の秘訣です！

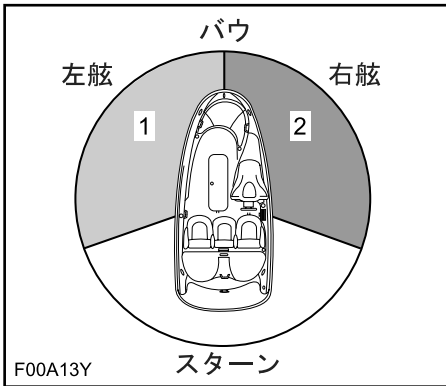
運航ルール

ウォータークラフトによる走行は、標識のない高速道路や道路上の走行に例えることができます。他の船舶との衝突の防止あるいは回避のために、運航ルールには必ず従ってください。これは単なる常識ではなく、法令で定められたものです。

道路交通との比較

進路優先権

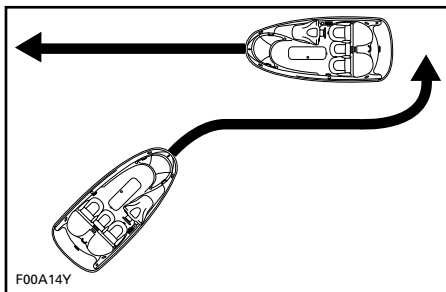
進路優先権 通常の回避は右側に行い、他の船舶、遊泳者、障害物との間に安全な距離を保ちながらこれらを回避します。



1. 赤色灯
2. 緑色灯 (回避方向)

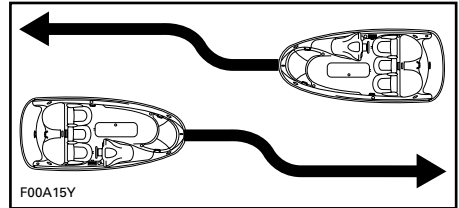
交差

前方の船舶に進路を譲って右側に回避。他船舶の前方を横切ってはけません；



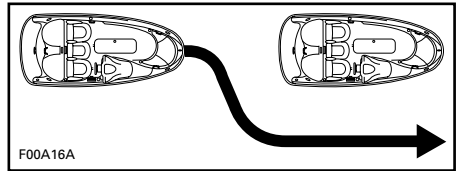
対向の場合

互いに右へ回避。



追い越し

他の船舶に進路を譲り、距離を保つ。



航行システム

標識やブイなどの航行支援設備は、安全な水路の確認に役立ちます。ブイは、そのブイの右側（右舷）を通過すべきか左側（左舷）を通過すべきかを示します。ブイは、低速航行水域や減速水域などの制限水域や制限水域に入りつつあるかどうかを示します。また、危険や特別な航行情報を示すこともあります。標識は陸上や水上に設置されています。これらの標識でも、速度制限、無動力船舶や無動力航行、停泊、その他の有効な情報を表わすことができます。（各種標識は形状で程度識別できます）。

ウォータークラフト使用水域における航行システムをよく理解しておくようにしてください。

給油の手順

⚠ 警告

以下に示す船の安全な給油に関する指示事項に厳密に従ってください。

エンジンを止めます。

必ず全員がウォータークラフトから降りてください。

ウォータークラフトを給油用棧橋にしっかりと係留します。

手近なところに消火器を用意してください。

給油ノズルをあまりフィルターネックの奥の方まで差し込まないでください。

タンクから空気が逃げられるようにゆっくりと給油して、燃料の吹き返しを防いでください。燃料をこぼさないように注意してください。

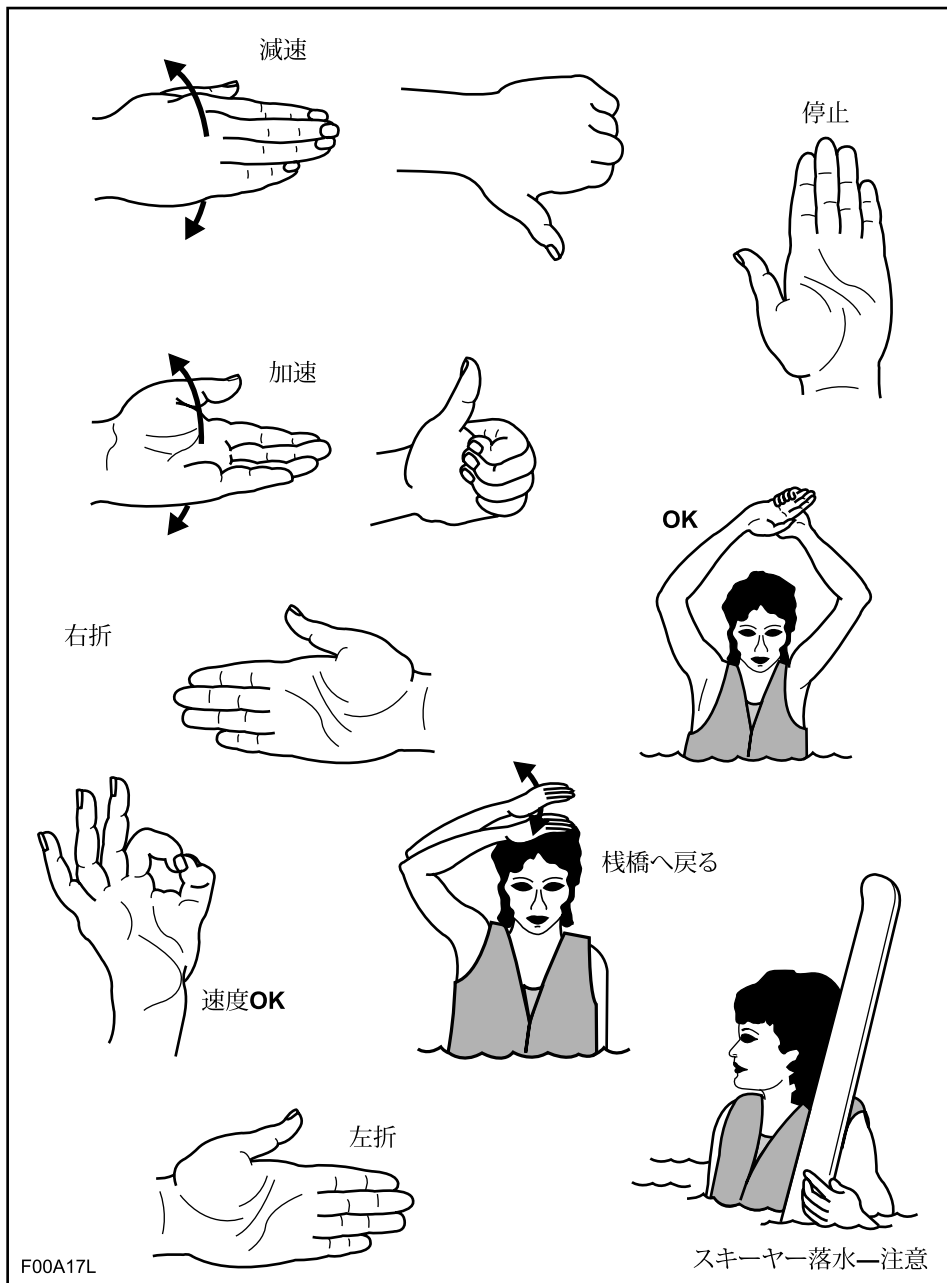
燃料がフィルターネックの根元のところまで達したら、給油を止めます。燃料があふれ出るのを防ぐため、フィルターチューブの部分まで燃料を満さないでください。入れすぎではありません。燃料タンクキャップを最後までしっかり締めてください。

⚠ 警告

給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。つねに換気の良い場所で作業を行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。燃料タンクに圧力がかかっている場合がありますので、キャップを開ける際にはゆっくりと回してください。裸火を明らかにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。給油中はウォータークラフトを水平に保ってください。燃料を入れすぎないようにし、給油口ぎりぎりまでガソリンを入れた状態で、ウォータークラフトを日の当たるところに長時間置かないようにしてください。温度の上昇と共にガソリンが膨張して、オーバーフローすることがあります。給油時にこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。定期的に燃料系を点検しましょう。

水上スキー用の手信号

参考のため、最も一般的に使われる水上スキー用の手信号を以下に示します。



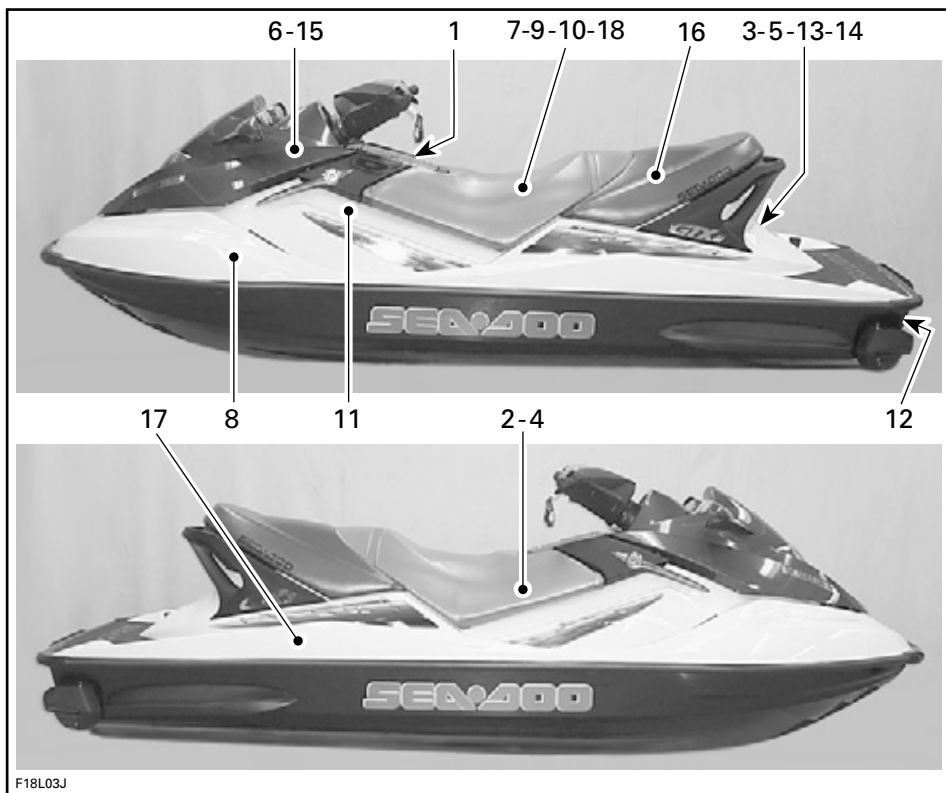
重要なラベルの位置

あなたのウォータークラフトには次のようなラベルが貼付されています。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。Sea-Doo認定ディーラーまでお問い合わせください。

ウォータークラフトを操縦する前に、これらの各ラベルを注意深く読んでください。



代表的な例 - GTI モデル



代表的な例 — 他のモデル

ラベル 1



警告

重傷事故や死亡事故の危険を減らすために:

救命胴衣 (PFD) を着用してください。 すべてのオペレータは、当局認定のウォータークラフト操縦に適した救命胴衣を着用してください。

保護ウェアの着用。 落水やジェットスラストノズルに近づくことによって体腔内に水が入ると、内臓に重大な損傷を与える恐れがあります。通常の水着では、男女を問わず、高圧の水が下半身から体内へ浸入するのを十分に防ぐことはできません。すべての乗船者は、ウェットスーツボトム、あるいはこれと同等の保護効果の期待できるものを着用してください(オペレータガイド)。靴、グローブ、コックル/メガネの着用をお勧めします。

閉鎖法規を遵守してください。 ウォータークラフトのご利用は16歳以上に限ることをお勧めします。県/州のオペレータ年齢とトレーニング条件を守ってください。ご利用に際しては安全講習への参加をお勧めします。県、地域によっては参加が義務付けられている場合があります。

エンジンシャットオフコード(セーフティランヤード)は常にオペレータのPFDにつないでおくとともに、ハンドルバーにからまないようにしてください。これにより、オペレータが転落した場合にエンジンを自動的に停止することができます。また、ライディング後は、子供や他の人がエンジンを始動させてしまうことないように、PWCからコードを外してください。

自身の限界内でライディングを心がけてください。 制御不能、落水、衝突などのリスクを減らすため、急激な操作は避けてください。ウォータークラフトは高性能なボートであり、玩具ではありません。急旋回、波や航跡の通過によってライダーの体にかかる力は、背中/脊椎損傷(麻痺)、足や他の部位の骨折、あるいはそれ以上の重傷を招く恐れがあります。波や航跡でジャンプしないでください。

PWCの後部に誰がいる時はスロットルをあげないでください。 エンジンを止めるか、アイドリング状態のままにしてください。ジェットスラストノズルから吹き出される水や異物が人にあたると、重傷を負う恐れがあります。

エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、衣服のはし、PFDのストラップなどが可動部品に巻き込まれて、重傷を負ったり溺れたりする恐れがあります。

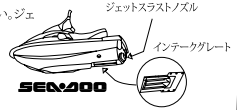
薬を服用したりアルコールを飲んだりした時は運転しないでください。

オペレータガイドを読んで、遵守してください。



PFD

ウェットス
ーツボトム



ジェットスラストノズル

インテークグレート

SEADOO



警告

パーソナル・ウォータークラフト (PWC) での衝突事故は、他のどのようなタイプの衝突事故よりも死亡、重傷を引き起こす可能性が高いことを自覚してください。

衝突を避けるために:

他の遊泳者、船舶、障害物、ウォータークラフト等を常に確認してください。自分自身の視界が制限されたり、他の人から見えにくくなったりするような状態に陥らないよう、十分な注意が必要です。

運転者は安全なスピードを維持し、他の遊泳者、船舶、障害物、ウォータークラフト等から十分に距離を置いて運転してください。

他のPWC、船舶の追跡するような行為をしないでください。

- 急旋回または他の船舶等がこの船舶の挙動を読み取ることが困難となるこのような行動を避けてください。
- 水深の浅いところや座礁の危険のある場所には乗り入れないでください。
- 他の遊泳者、サーfer、船舶等に接近し、水のスプレーを吹きかけるような行為はしないでください。
- 衝突を避けるために早めの行動を心がけてください。このPWC及び他の船舶にはブレーキがありません。

衝突を避けるために旋回するときには、スロットルを離さないでください。 旋回するにはスロットル操作が必要です。

PWCを運転する前に、スロットルとステアリングシステムに異常がないかを必ず点検してください。

PWCに関係する各地方自治体の法令、条例を遵守してください。詳しくはオペレータガイドを参照してください。最大搭乗人数 オペレータ XX および同乗者 XX (XXX kg./XXX lbs.).



219 901 713

F12L0FL

代表的な例 — GTX/GTX WAKE/RXT モデル

ラベル 1 (続き)

警告

重傷事故や死亡事故の危険を減らすために:

救命胴衣 (PFD) を着用してください。 すべてのオペレーターは、当局認定のウォータークラフト操縦に適した救命胴衣を着用してください。
保護ウェアの着用。 落水やジェットスラストノズルに近づくことによって体腔内に水が入ると、内臓に重大な損傷を与える恐れがあります。通常の水着では、男女を問わず、高圧の水が下半身から体内へ浸入するのを十分に防ぐことはできません。すべての乗船者は、ウェットスーツボトム、あるいはこれと同等の保護効果の期待できるもの（オペレータガイド）、靴、グローブ、ゴグル/メガネの着用をお勧めします。



ご利用に際しては安全講習への参加をお勧めします。 県、地域によっては参加が義務付けられている場合があります。

エンジンシャットオフコード (セーフティアンヤード) は常にオペレータの PFD についておくとともに、ハンドルバーにからまないようにしてください。これにより、オペレータが転落した場合にエンジンを自動的に停止することができます。また、ライディング後は、子供や他の人がエンジンを始動させてしまうことのないように、PWC からコードを外してください。

自身の限界内でライディングを心がけてください。 制御不能、落水、衝突などのリスクを減らすため、急激な操作は避けてください。ウォータークラフトは高性能なボートであり、玩具ではありません。急旋回、波や航跡の通過によってライダーの体にかかる力は、背中/脊椎損傷 (麻痺)、足や他の部位の骨折、あるいはそれ以上の重傷を招く恐れがあります。波や航跡でジャンプしないでください。

PWC の後部に誰かがいる時はスロットルをあげないでください。 エンジン を止めるか、アイドル状態のままにしてください。ジェットスラストノズルから吹き出される水や異物が人にあると、重傷を負う恐れがあります。

エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。 長い髪、衣服のはし、PFD のストラップなどが可動部品に巻き込まれて、重傷を負ったり溺れたりする恐れがあります。

乗を服用したりアルコールを飲んだりした時は運転しないでください。



オペレータガイドを読んで、遵守してください。

警告

クラフト (PWC) での衝突事故は、他のどのようなタイプの衝突事故よりも死亡、重傷を引き起こす可能性が高いことを自覚してください。

衝突を避けるために:

他の遊泳者、船舶、障害物、ウォータークラフト等を常に確認してください。 自分自身の視界が制限されたり、他人から、見えにくくなったような状態に陥らないよう、十分な注意が必要です。

運転者は安全なスピードを維持し、他の遊泳者、船舶、障害物、ウォータークラフト等から十分に距離を置いて運転してください。

- 他の PWC、船舶の後ろを追跡するよう行為をしないでください。
- 他の遊泳者、サーファー、船舶等に接近し、水のスプレーを吹きかけるような行為をしないでください。
- 急旋回または他の船舶等がこの船の挙動を読み取ることが困難となるような行動を避けてください。
- 水深の浅いところや座礁の危険のある場所には乗り入れないでください。



衝突を避けるために早めの行動を心がけてください。 この PWC 及び他の船舶にはブレイキがありません。

衝突を避けるために旋回するときには、スロットルを離さないでください。 旋回するにはスロットル操作が必要です。 PWC を運転する前に、スロットルとステアリングシステムに異常がないかを必ず点検してください。

PWC に関する各地方自治体の法令、条例を遵守してください。 詳しくはオペレータガイドを参照してください。

最大搭乗人数 オペレータ XX および同乗者 XX (XXX kg / XXX lbs.)...

F16L0PL

代表的な例 — RXP モデル

ラベル 1 (続き)

警告

重傷事故や死亡事故の危険を減らすために:

救命胴衣(PFD)を着用してください。すべてのオペレーターは、当局認定のウォータークラフト乗組に適した救命胴衣を着用してください。

保護ウェアの着用。 落水やジェットスラストノズルに近づくことによって体内に水が入ると、内臓に重大な損傷を与える恐れがあります。通常の水道では、男女を問わず、高圧の水が下半身から体内へ浸入するのを十分に防ぐことはできません。すべての乗組員は、ウェットスーツやゴム、あるいはこれら同等の保護効果の期待できるものを着用してください(オペレータガイド)。靴、グローブ、ゴグル/メガネの着用をお勧めします。

閉鎖した限を遵守してください。 ウォータークラフトのご利用は16才以上に限ることをお勧めします。県/州のオペレーター年度とトレーニング条件を守ってください。ご利用の際は安全講習への参加をお勧めします。県/地域によっては参加が義務付けられている場合があります。エンジンシャフトオフロード(セーフティアンロード)は常にオペレーターのPFDについておくとともに、ハンドルバー/メカニカルの着脱を避けてください。これにより、オペレータが転落した場合にエンジンが自動的に停止することを保てます。また、ライディング後は、子供や他の人がエンジンを起動させてしまうことのないように、PWCがロードを外してください。

自身の限界内でライディングを心がけてください。

急激な急減速は避けてください。衝突などのリスクを減らすため急減速は避けてください。ウォータークラフトは高性能なボートであり、長足ではありません。急旋回、波や船跡の通過によってライダーの体にかかる力は、背中/脊椎損傷(麻痺)、足や他の部分の骨折、あるいはそれ以上の重傷を負う恐れがあります。波や船跡でジャンプしないでください。

PWCの後面に誰かがいる時はスロットルをあげないでください。エンジンを止めるか、アイドリング状態のままにしてください。ジェットスラストノズルから吹き出される水や異物が人におたなど、重傷を負う恐れがあります。



エンジンがかかっているときはインターテックに近づかないでください。長髪、衣服のはし、PFDのストラップなどが可動部に巻き込まれて、重傷を負ったの同様に思われる恐れがあります。

酔いを服用したアルコールを飲んだら乗組は運転しないでください。

オペレータガイドを読んで、遵守してください。

警告

乗組員



クラフト(PWC)での衝突事故は、他のどのようなタイプの衝突事故よりも死亡、重傷を引き起こす可能性が高いことを自覚してください。

衝突を避けるために: 他の遊泳者、船、障害物、ウォータークラフト、等常に確認してください。自分自身の視界が制限されたら、他の人から見えにくくなったりするような気配に気が付いたら、十分な注意が必要です。



運転者は安全なスピードを維持し、他の遊泳者、船、障害物、ウォータークラフト等から十分に距離を置いて運転してください。

- 他のPWC、船舶の後ろを逆進するような行為をしないでください。
- 他の遊泳者、サーファー、船舶等に接近し、水のスプレーを吹きかけたりするような行為をしないでください。
- 急旋回または他の船舶等がこの船の軌跡を突くようなことを避けること。このような行動を避けてください。
- 水深の浅いところや崖の危険のある場所には乗り入れしないでください。

衝突を避けるために: 目的の正確を心がけてください。このPWC及び他の船舶にはブレーキがありません。

衝突を避けるために: 衝突するときは、スロットルを減速しないでください。戻回するにはスロットル操作が必要です。PWCを運転する前に、スロットルとスラストノズルシステムに異常がないかを必ず点検してください。

PWCに関連する各地方自治体の法令、条例を遵守してください。

詳しくはオペレータガイドを参照してください。最大搭載人数
乗員 1人 および同乗者 2人 (243 kg / 535 lbs.)

219902390

F18A06L

代表的な例 — GTX LTD モデル

ラベル 1 (続き)



重傷事故や死亡事故の危険を減らすために救命胴衣 (PFD) を着用してください。すべてのオペレーターは、指定認定のウォータークラフト装備に適した救命胴衣を着用してください。保護ウェアの着用。落水やジェットスラストノズルに近づくことによって体腔内に水が入ると、内臓に重大な損傷を与える恐れがあります。通常の泳者では、男女を問わず、高圧の水が下半身から体へ侵入するのを十分に防ぐことはできません。すべての乗組員は、ウェットスーツも、あるいはこれと同等の保護効果の期待できるものを着用してください (オペレーターガイド)。靴、グローブ、ゴーグル / メガネの着用をお勧めします。関連法規を厳守してください。ウォータークラフトのご利用は16才以上に限ることをお勧めします。見州のオペレーター年齢とトレーニング条件を守ってください。ご利用に関しては安全講習への参加をお勧めします。見州によっては参加が義務付けられている場合があります。エンジンシャフトオフロード (セーフティランチャー) は常にオペレーターの PFD についておくとともに、ハンドルバーにからまないようにしてください。これにより、オペレータが転落した場合にエンジンを自動的に停止することができます。また、ライディング後は、子供や他人がエンジンを始動させてしまうことのないように、PWC からコードを外してください。自分の限内でライディングを楽しんでください。加圧不能、高水、難航などのリスクを減らすため、急激な操作は避けてください。ウォータークラフトは鋭利な部分であり、器具ではあります。急旋回、波や航路の通過によってライダーの体にかかる力は、背骨/骨盤組織 (椎骨)、足や他の部位の骨折、あるいはそれ以上の重傷を招く恐れがあります。波や航路でジャンプしないでください。PWC の後部に誰かいる時はスロットルをあげないでください。エンジンを止めるか、アイドル機能のままにしてください。ジェットスラストノズルから吹き出される水や異物が人にあると、重傷を負う恐れがあります。

警告

エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。見、表、ジェットスラストノズル、インテークグレート

注意:

クラフト (PWC) での衝突事故は、他のどのようなタイプの衝突事故よりも死し、重傷を引き起こす可能性が高いことを自覚してください。衝突を避けるために、他の遊泳者、船舶、障害物、ウォータークラフト等を常に監視してください。自分自身の境界が制限されたり、他人から見えにくくなったりするような状態に陥らないよう、十分な注意が必要で、遊泳者は安全なスピードを維持し、他の遊泳者、船舶、障害物、ウォータークラフト等から十分に距離をおいて運転してください。他の PWC、船舶の後を追跡するような行為をしないでください。他の遊泳者、サーファー、船舶等に接近し、水のスプレーを吹きかけたりするような行為をしないでください。急旋回または他の船舶等がこの船舶の乗客を認めるのが困難となるような行動を避けてください。赤色の旗とその他の危険のある場所には乗入れないでください。衝突を避けるために10秒の行動を心がけてください。この PWC 及び他の船舶にはブレーキがありません。衝突を避けるために旋回する際には、スロットルを減速しないでください。旋回するにはスロットル操作が必要で、PWC を運転する前に、スロットルとステアリングシステムに異状がないかを必ず点検してください。PWC に関係する各地方自治体の法令、条例を遵守してください。詳しくはオペレーターガイドを参照してください。最大搭乗人数 オペレーター 1人 および乗客 2人 (273 kg / 600 lbs.)

smo2006-002-013

GTI モデル

ラベル 2

BRP US Inc.
EMISSION CONTROL INFORMATION
 This vehicle is certified to operate on unleaded gasoline and conforms to 200X U.S. EPA & CALIFORNIA EMISSION regulations for marine SI engines.

BRP US Inc.:
排気ガス規制に関する情報
 この船体は無鉛ガソリンでの作動が認められており、海上SIエンジンのための200X U.S. EPA およびカリフォルニア州排出規制に準拠しています。

SEE OPERATORS GUIDE FOR MAINTENANCE SPECIFICATIONS.

Engine family	XXXX	エンジンファミリ
FEL	XX g/kW-hr HC+NOx	FEL
Engine displacement	XXX cc	排気量
Exhaust emission control system:		排出ガス浄化装置
Spark plug type	NGK	スパークプラグタイプ
Spark plug gap	XX mm	スパークプラグギャップ
Power	XX kw	出力

メンテナンス仕様の詳細については、オペレーターガイドを参照してください。

smo2006-002-014_a

代表的な例

26

安全に関する情報

ラベル 3

次に開いて、このボートは認定日に有効な米国沿岸警備隊安全基準を免除されています:

- 燃料システム
- 性能表示
- 安全な積載
- フローディング
- 動力撥水

米国沿岸警備隊による免除付与*

BRP US Inc.
10101 Science Drive, Starkeville, Wisconsin 53177

F22A0AY

代表的な例

ラベル 4

▲ WARNING / 警告

DO NOT CHARGE OR BOOST THE BATTERY WHILE INSTALLED ON THE WATERCRAFT

バッテリーを取り付けたままで充電しないでください。

F00A23Y

ラベル 5

▲ WARNING / 警告

- Engine must be off when using boarding step.
- Keep away from jet and intake grate.
- Stay on center of the step.
- Only one person at a time on the step.
- Never use the step for pulling, towing, diving or jumping, boarding a PWC that is out of water or any other purpose for which it was not designed.

○ ボーディングステップは、エンジン停止時以外使用しないでください。
○ ジェットポンプ、インテークグレートには近づかないでください。
○ ボーディングステップの中央を使用してください。
○ ボーディングステップは、1人以上乗らないでください。
○ このボーディングステップで、荷物を引いたり、トローイングしたり、ステップ上から飛び込みたり、ステップ上で飛び降りたりしないでください。
○ このボーディングステップは、水母からウォータークラフトを移動する用途以外には設計されていません。*

F00A26Y

ボーディングステップ付きのモデル

ラベル 6

▲ WARNING / 警告

- Gasoline vapors may cause fires or explosions.
- Do not overfill fuel tank.
- Keep the craft away from open flames and sparks.
- Do not start watercraft if liquid gasoline or vapors are present.
- Always replace seat (or engine cover) before starting.

○ 揮発したガソリンは爆発、発火の恐れがあります。
○ 燃料給油時、あふれさせないように注意してください。
○ 燃料給油は、陸上で行ってください。
○ 無鉛/ハイオクガソリン(推奨)又は無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
○ このウォータークラフトを火気に近づけないでください。
○ ガソリンが揮発している近くでは、エンジンを始動しないでください。
○ エンジンを始動するときは、必ずシートを取り付けた状態にしてください。

F00A27Y

ラベル 7

▲ WARNING / 警告

PRESSURIZED FUEL

Do not unscrew protective cap. Must be used only by Bombardier certified technician. Do not operate the watercraft without cap properly installed.

加圧燃料

保護キャップを緩めないでください。Bombardier 認定技術者だけが使用します。キャップを正しく取り付けないで、ウォータークラフトを動作しないでください。

F00A2QY

ラベル 8

VERY • LOW

CALIFORNIA EMISSION STANDARDS

EMISSION

F00L2YY

代表的な例

ラベル 9

▲ WARNING / 警告

When disconnecting coil from spark plug, always disconnect coil from main harness first. Never check for engine ignition spark from an open coil and/or spark plug in the engine compartment as spark may cause fuel vapor to ignite.

○ スパークプラグからイグニッションコイルを取り外す場合は、常にメインハーネスとイグニッションコイルの接続を最初に外してください。
○ エンジンコンパートメント内でスパークプラグ、イグニッションコイルからのスパーク(火花)点検は決して行わないでください。

F18L0NY

ラベル 10

▲ WARNING / 警告

CHECK ENGINE OIL LEVEL

Vehicle must be level to perform verification. Bring engine to normal operating temperature then let idle for 30 seconds. Stop engine, wait for at least 30 sec. and check oil level using the dipstick. Caution: Never let the engine run out of the water without cooling through the flush kit connection as it may damage the engine. Oil may be hot.

エンジンオイルレベルの点検

船体が水平な状態になっているか確認してください。エンジンを始動し、暖機運転をアイドリング状態で30秒間行ってください。エンジンを停止し、30秒間そのままにして、オイルレベルゲージでオイル量を点検してください。注意エンジンの暖機運転中はエンジンフラッシュキットを使用しないでください。エンジンに重大な損傷を引き起こす原因となります。エンジンオイルが熱くなっている可能性があります。

F18L10Y

代表的な例

ラベル 11

CAUTION

- To comply with noise regulations, this engine is designed to operate with an air intake silencer.
- Operation without air intake silencer or with one not properly installed may cause engine damage.

注意

○騒音規制に伴い、このエンジンはエアインテークサイレンサーに消音機能が施されております。

○エアインテークサイレンサーを取り外したり、適切に取り付けずに運転するとエンジンに重大な損傷を引き起こす原因となります。

516 001 191

A01A2EY

ラベル 12

WARNING

When operating the engine while the watercraft is out of the water, the heat exchanger in the ride plate may become very hot. Avoid any contact with ride plate as burns may occur.

警告

水上以外でエンジンを始動/回転させるとライドプレート内のヒートエクスチェンジャー（熱交換器）部分が非常に熱くなります。火傷したり物を焦がす恐れがありますのでライドプレートには何も接触させないでください。

F18L0YY

代表的な例

ラベル 13

WARNING

- Completely retract ski post when not used
- Do not hold rear grab handle while retracting ski post
- Make sure ski post is fully extended and locked before use
- Spotter must always keep hands on ski post grips while pulling a skier or wakeboarder

219 902 218

警告

- スキーポストを使用していないときは完全に格納してください。
- スキーポストを握る間、リアグラブハンドルから離れてください。
- 使用前に、スキーポストがしっかりとロックされていることを確認してください。
- スキーヤーまたはウエイクボーダーを引いている間、助手はスキーポストグリップから手を離さないでください。

F00A2SL

GTX WAKE モデル

ラベル 14

CE 0609

ボートカテゴリ-PWC

最大 = 3

最大 + = 273 kg

Bombardier Recreational Products Inc. 219002037

smo2006-002-015

CE 0609

ボートカテゴリ-PWC

最大 = 2

最大 + = 181 kg

Bombardier Recreational Products Inc. 219002038

smo2006-002-016

RXP モデル

RXPを除く全モデル

ラベル 15

CAUTION
<p>Recommended: Premium unleaded gasoline 91 pump octane or higher.</p> <p>Minimum: Regular unleaded gasoline 87 pump octane or higher</p>
注意
<p>推奨: 無鉛プレミアムガソリンオクタン価91以上 最低: 無鉛レギュラーガソリンオクタン価87以上</p>
F18L31Y

インタークーラースーパーチャージャー付きエンジンのみ

ラベル 16



F00A2TY

ラベル 17

<p>常に:</p> <ul style="list-style-type: none"> •ラックを正しく固定してください •フィンを外向けにしてボードを付けてください。 •ボードを正しく固定してください <p style="text-align: right;">219902347</p>
<p>警告</p>
F18L3KY

GTX WAKE モデル

ラベル 18

<p>WARNING</p> <p>Certain components in the engine may be very hot. Direct contact may result in skin burn.</p>	<p>警告</p> <p>エンジンコンパートメント内の一部のコンポーネントは非常に熱くなることがあります。直接触れると火傷する恐れがあります。</p>
F00A1AY	

ラベル 19

<p>スロットルボディ潤滑</p> <p>「オペレーターズガイド」のメンテナンスセクションを参照してください。</p>
<p>THROTTLE BODY LUBRICATION</p> <p>SEE MAINTENANCE SECTION IN OPERATOR'S GUIDE.</p>
219912095
smo2007-002-025

ボートについての情報

登録番号の位置

連邦法の規定により、すべてのパーソナルウォータークラフトは登録されなければならない。法定登録番号を表示しなければなりません。

登録番号を正しく表示できるスペースは限られています。適切な位置については下図を参照してください。登録番号はウォータークラフトの両側面に表示してください。スターラベル適用モデルの場合は、そのラベルの左側に登録番号を表示してください。



代表的な例

1. 登録番号の位置

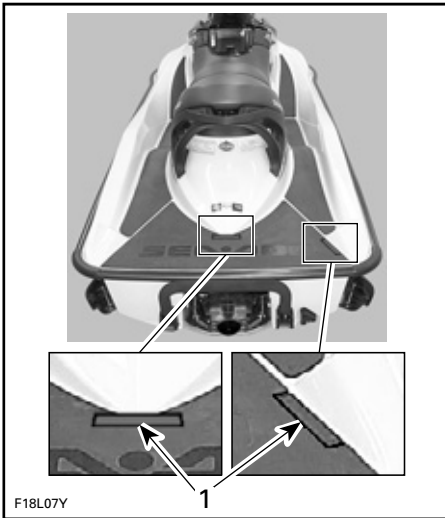
注記: 登録番号は喫水線より上でなければなりません。また、番号は正しい大きさと色で表示してください。各地域で適用される規則を確認してください。

識別番号

ウォータークラフトの主要な構成要素（エンジンと船体）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、盗まれたウォータークラフトを探するときなどに、これらの番号を確認する必要があります。

船体（ハル）

船体識別番号（H.I.N.）は、ウォータークラフト後部のフットボードの上にあります。



代表的な例
1. 船体識別番号 (H.I.N.)

これは12桁の数字で構成されています：

YDV	12345	L	4	95
			年式	
			製造年	
			製造月	
			製造番号 (数字の代わりにアルファベットが使われることもあります)	
			製造者	

エンジン

注記: 各モデルにどのエンジンが使われているかを調べるには仕様のセクションを参照してください。

エンジン識別番号 (E.I.N.) はエンジンの前端にあります。

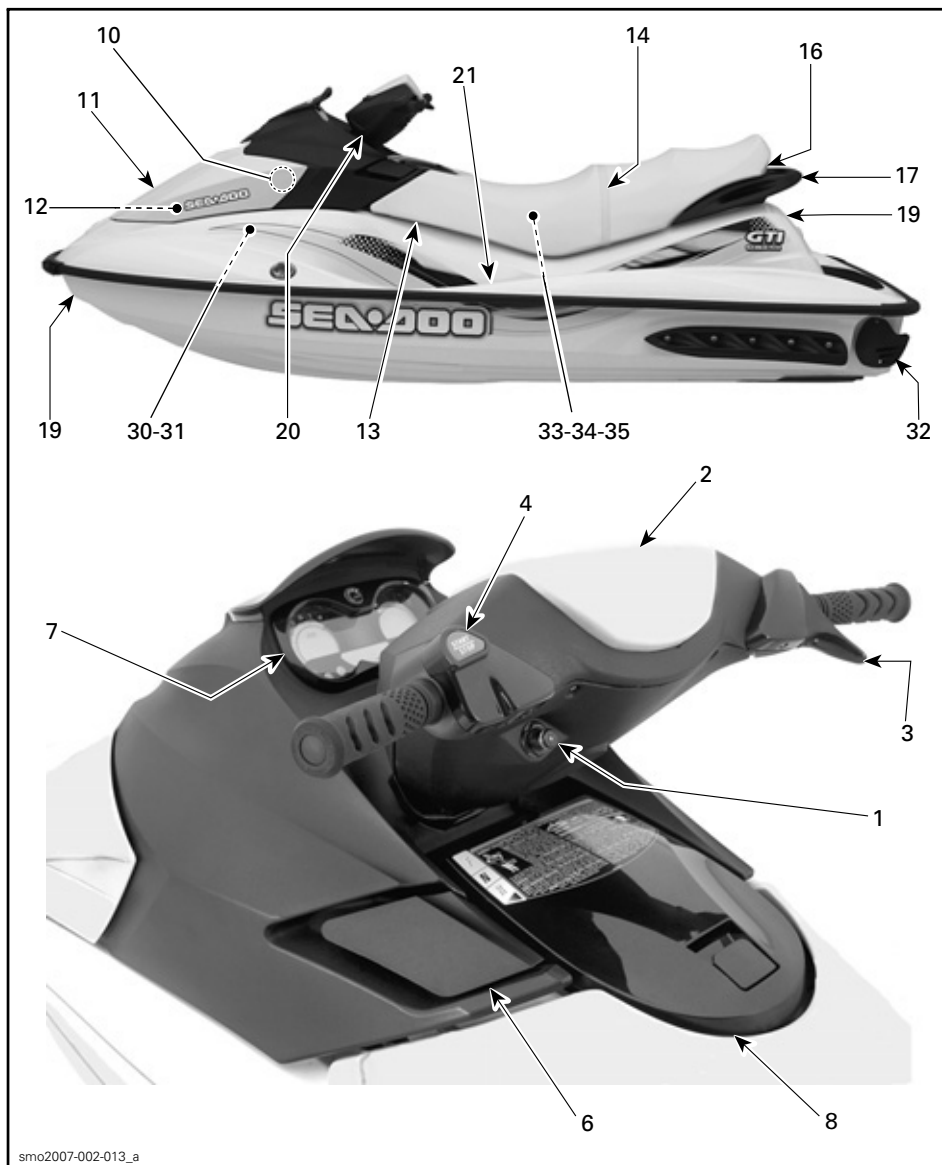


代表的な例
1. エンジン識別番号 (E.I.N.)

操縦装置、各コンポーネントと計器類

注記: 一部のモデルでは該当しないコンポーネントや、オプション装備となるコンポーネントがあります。

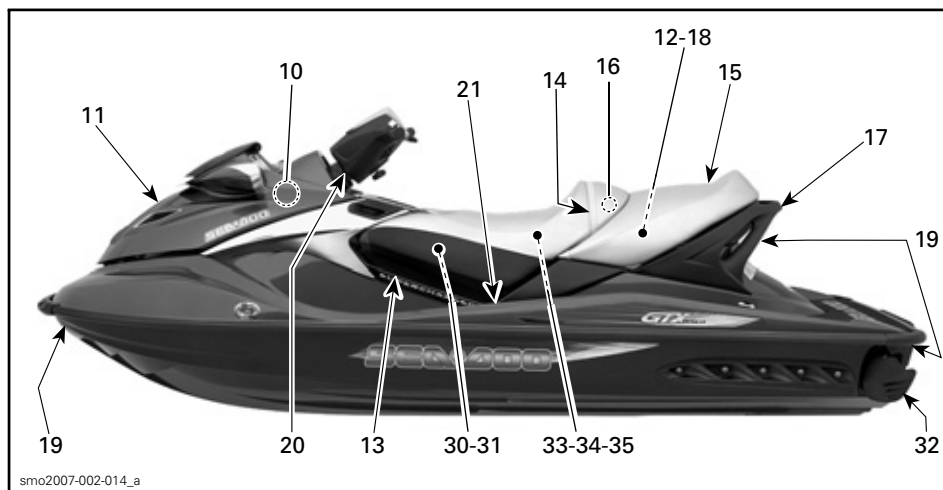
GTI シリーズ



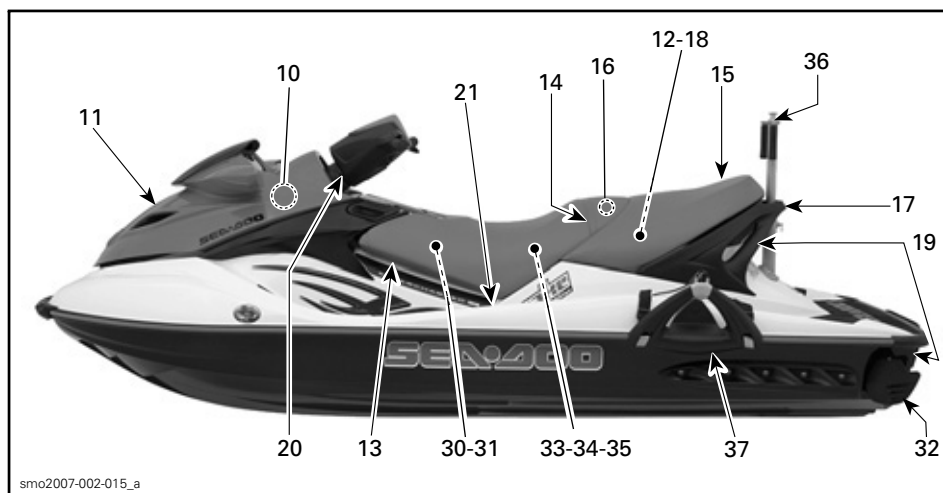
smo2007-002-013_a

代表的な例

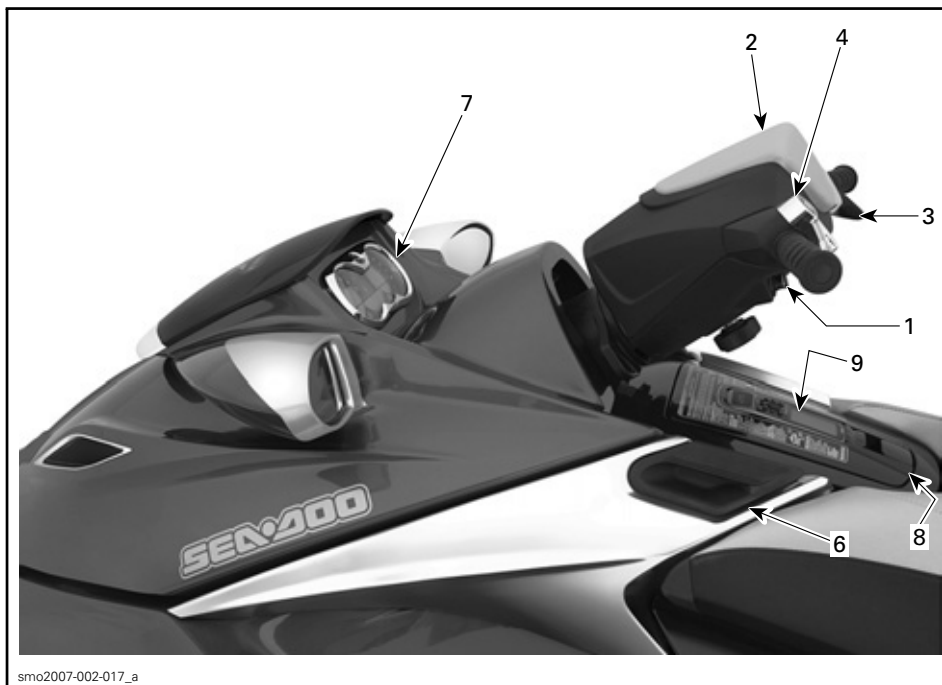
GTX シリーズ /Wake/RXT モデル



代表的な例

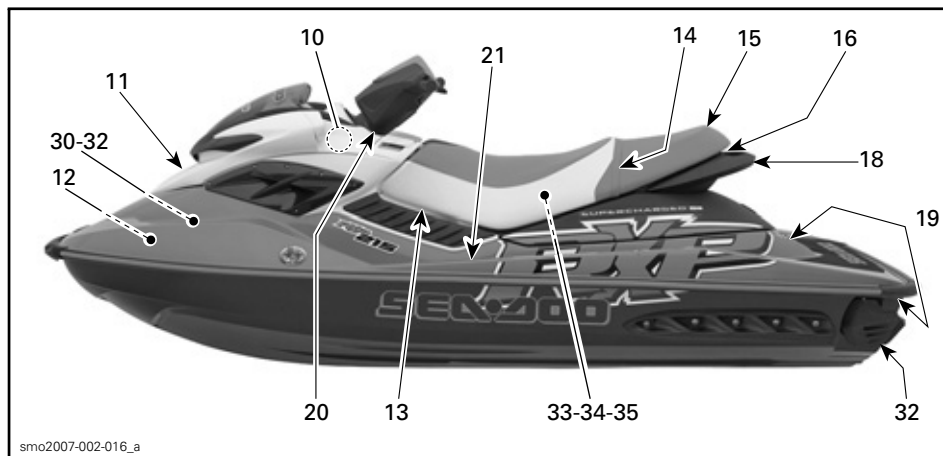


代表的な例

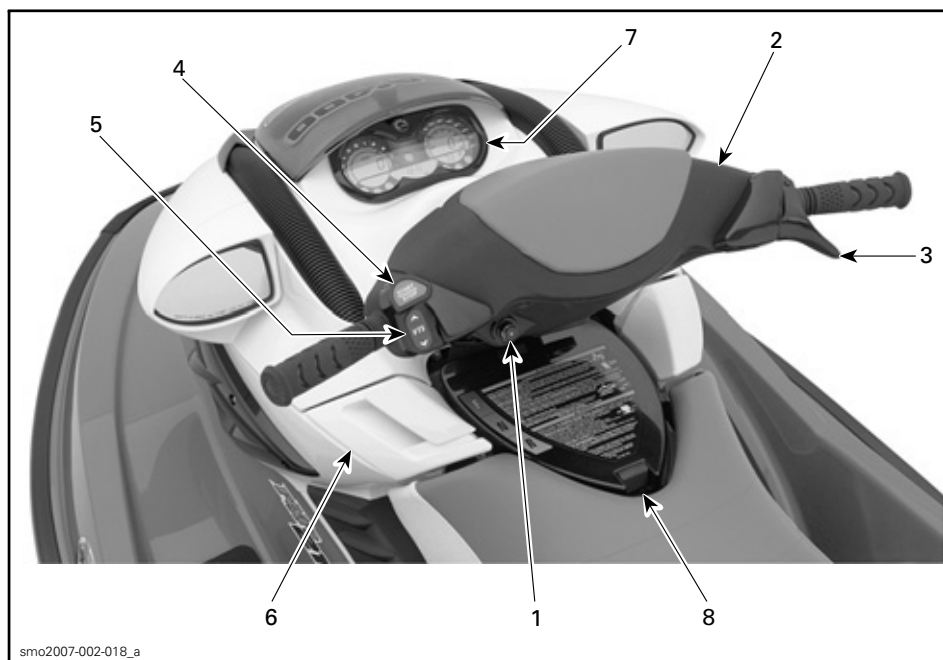


代表的な例

RXP モデル

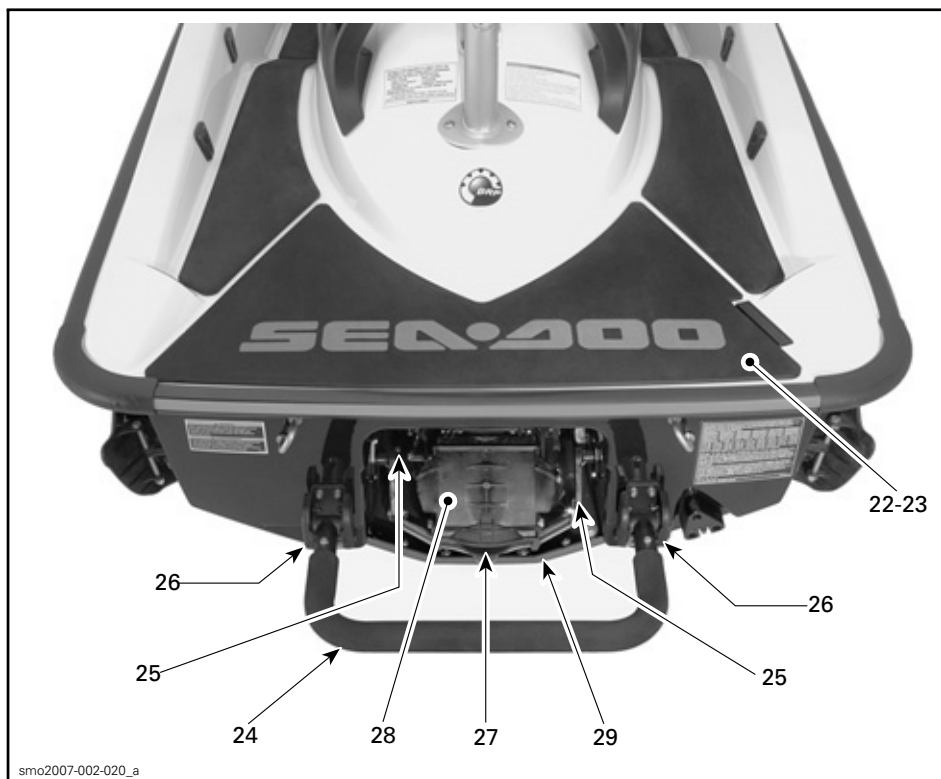


代表的な例



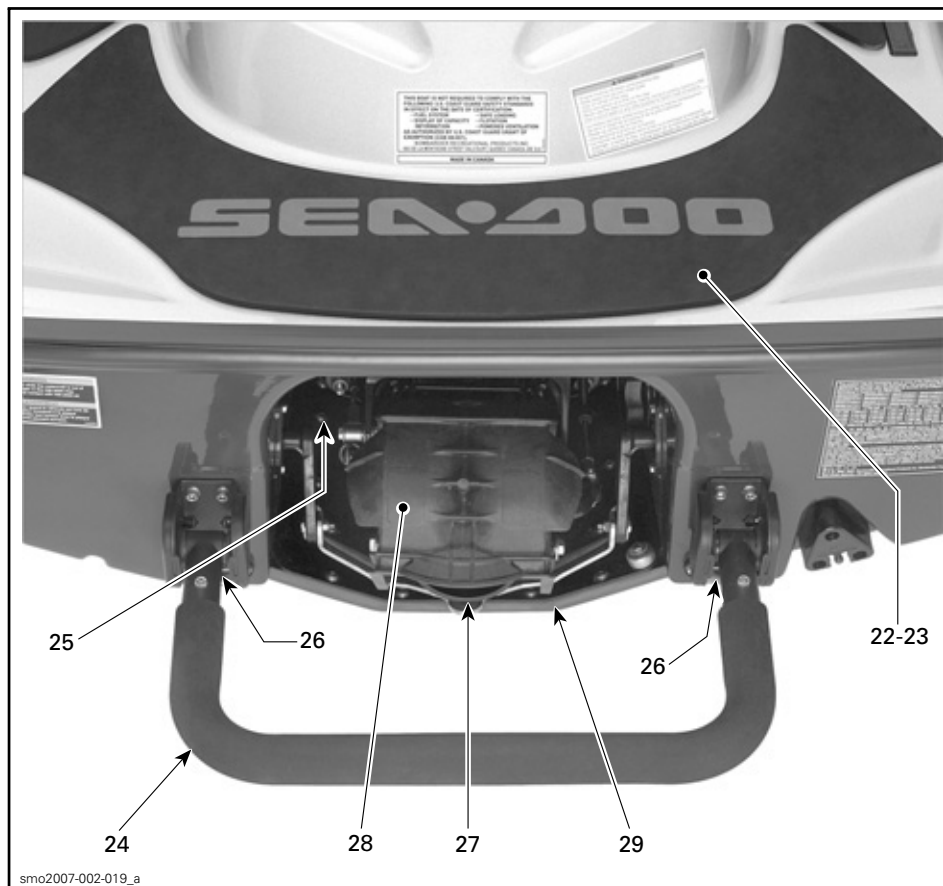
代表的な例

GTI 以外の全モデル



代表的な例

GTI シリーズ



代表的な例

1. DESS ポスト (エンジンカットオフスイッチ)
2. ハンドルバー
3. スロットルレバー
4. エンジンスタート / ストップボタン
5. 可変トリムシステム (VTS) ボタン
6. シフトレバー
7. インフォメーションセンターゲージ
8. グローブボックス
9. GPS (グローバルポジショニングシステム) レシーバー
10. 燃料タンクキャップ
11. フロントストレージコンパートメント
12. ツールボックス
13. エアインテーク開口部
14. シートストラップ
15. リアシートラッチ
16. シートラッチ
17. リアグラブハンドル
18. リアストレージバスケット
19. 船首と船尾 (バウ/スターン) アイレット
20. 係船クリート
21. フットボード
22. ボーディングパッド
23. ボーディングプラットフォーム
24. ボーディングステップ
25. フラッシングコネクター
26. ビルジドレンプラグ
27. ジェットポンプノズル
28. リバースゲート
29. ジェットポンプウォーターインテークとライドプレート
30. ヒューズ
31. バッテリー
32. サイドベーン
33. エンジンオイルレベルゲージ
34. エンジンオイルフィルターキャップ
35. 冷却システムリザーバータンクキャップ
36. スキー/ウエイクボードポスト
37. ウエイクボードラック

操縦装置、各コンポーネントと計器類の機能

1) DESS ポスト (エンジンカットオフ スイッチ)

ウォータークラフトを使用するには、DESS キーがポストにしっかりとハマり込まれていなければなりません。

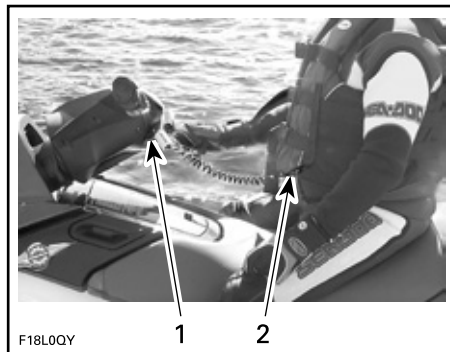
DESS ポストからキーを引き抜くと、エンジンが停止します。

警告

エンジンスタート / ストップボタンでもエンジンは止められますが、エンジンを停止するときは DESS キーも外すよう習慣付けることをお勧めします。

セーフティランヤードの端部をオペレーターの救命胴衣に留め、キーを DESS ポストにはめ込むと、エンジンを始動できるようになります。

短いピープ音が 2 回鳴って、システムはエンジンを始動できる状態になったことを知らせます。正しくピープ音が鳴らない場合は、トラブルシューティング セクションの モニタリング システムのコード化された信号表を参照してください。



代表的な例

1. DESS ポスト上のキー
2. セーフティランヤードをオペレーターの救命胴衣に留める

警告

エンジンが停止すると、ウォータークラフトの進路制御が低下します。ウォータークラフトを使用しないときは、誤ってエンジンを始動したり、子供や他人が許可なく使用したり、盗まれたりしないように、必ず DESS キーを外してください。

DESS キーをポストに取り付けてから 5 秒以内にエンジンが始動されないと、短い 4 回のピープ音が 3 秒間隔でおおよそ 4 時間鳴り続け、エンジンを始動するか DESS キーを外すよう促します。4 時間を過ぎるとピープ音は止まります。また、エンジンを止めた後、5 秒以上経っても DESS キーがポストに取り付けられたままになっている場合も、同じようにピープ音が鳴ります。

エンジンを止めた後は、DESS キーをポストに付けたままにせず、必ず外してください。

重要: エンジンが回っていない状態で DESS キーを付けたまま放置すると、徐々にバッテリーが放電してしまいます。

デジタル暗号化セキュリティシステム (DESS)

DESS キーには、固有の電子シリアルナンバーを発信する電子回路が組み込まれています。これが従来のキーと同じ役割をします。

したがって、この DESS キーは別のウォータークラフトには使用できず、逆に別のウォータークラフトのランヤードはあなたのウォータークラフトには使用できません。

しかし、DESS は見事な柔軟性も備えています。追加の DESS キーを購入すれば、それをあなたのウォータークラフト用としてプログラムすることができます。

追加の DESS キーの入手方法については、Sea-Doo 認定ディーラーにお問い合わせください。

速度制限機能

SEA-DOO ラーニングキー™ は 2 モードでプログラム可能であり、ウォータークラフトの速度を電子的に制限して、初めて操縦する人や経験の浅いオペレーターが、不安を感じたりコントロールを失ったりせずにウォータークラフトの操縦方法を学べるようにします。

Sea-Doo 認定ディーラーで、SEA-DOO ラーニングキー™ を正しくプログラムしてください。



2) ハンドルバー

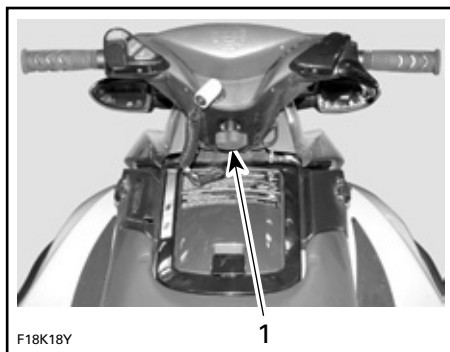
ハンドルバーはウォータークラフトの進行方向を制御します。ハンドルバーを右に回すとウォータークラフトは右へ旋回し、左に回すと左へ旋回します。

⚠ 警告

エンジンを始動する前に、ハンドルバーとステアリングノズルおよびサイドペーンの作動を点検してください。誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。ステアリング系の可動部品（ノズル、サイドペーン、リンクなど）に近づかないでください。

調整機構（装備されている場合）
ライダーの好みに合わせて、ハンドルバーの高さを調整することができます。

この調整を行うには、ハンドルバーの下にあるノブを回します。



代表的な例
1. 調整ノブ

3) スロットルレバー

スロットルレバーを押すとウォータークラフトは加速します。レバーが完全に戻されると、エンジンは自動的にアイドリング回転数まで下がり、ウォータークラフトは水の抵抗により徐々に減速して停止します。

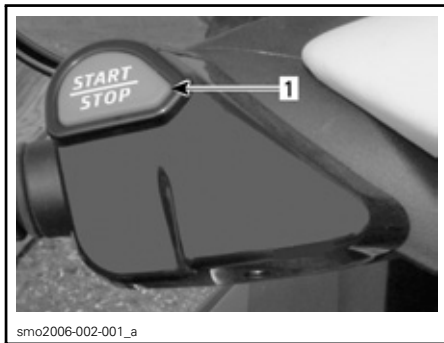
4) エンジンスタート / ストップボタン

エンジンを始動するには、スタート / ストップボタンを押してそのまま保持します。エンジンが始動したら、すぐに放します。

エンジンを止めるには、スタート / ストップボタンを押します。エンジンが止まったら、DESS キーをポストから外してください。スロットルレバーはボタンを押す前に戻しておきます。

⚠ 警告

スロットルを戻したりエンジンを止めたりすると、ウォータークラフトの進路を制御しにくくなります。

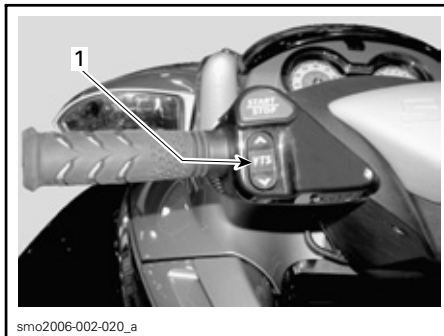


smo2006-002-001_a

1. エンジンスタート / ストップボタン

5) 可変トリムシステム (VTS) ボタン (装備されている場合)

エンジンスタート / ストップボタンのすぐ下にあります。このボタンはポンプのジェットノズルのポジションを変更し、ウォータークラフトの荷重や水面の状況に合わせて姿勢を調整するために用います。



smo2006-002-020_a

代表的な例

1. VTS ボタン

VTS ポジションインジケータは、インフォメーションセンターゲージの中にあります。このセクションのインフォメーションセンターを参照してください。

6) シフトレバー

プッシュプル式のレバーには3つのポジションがあります：

- 前進
- ニュートラル
- リバース。

⚠ 警告

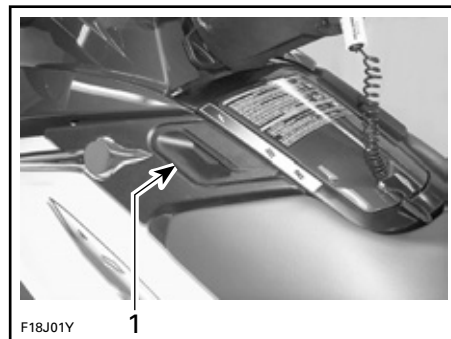
シフトレバーは、エンジンがアイドリング状態にあり、ウォータークラフトが完全に停止しているときにのみ操作してください。レバーをグラブハンドル代わりに使わないでください。

⚠ 警告

リバースは低速でのみ使用し、かつできるだけ短時間にとどめてください。後方の進路に物体や人、浅瀬で遊んでいる子供などがいないことを必ず確認してください。

注意：リバースでは絶対にエンジンを高回転で回さないでください。

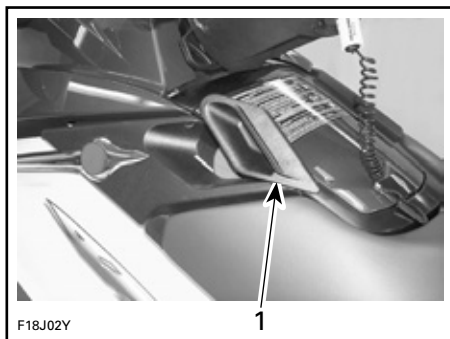
前進の位置からレバーを引くとリバースに入ります。反対に押して戻すと前進になります。リバースを使った後は必ず前進の位置にレバーを戻してください。ニュートラルの位置を探すには、まずリバースに入れてからウォータークラフトの後退が止まる場所までレバーを押し戻します。



F18J01Y

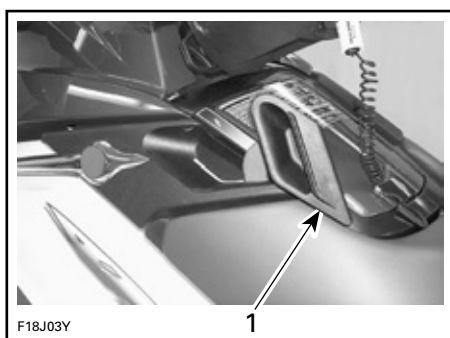
代表的な例

1. 前進ポジション



代表的な例

1. ニュートラルポジション



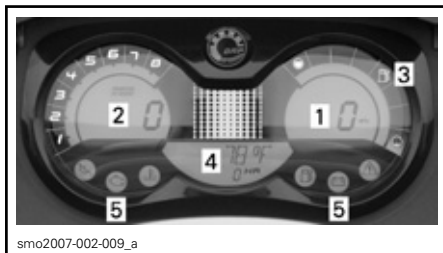
代表的な例

1. リバースポジション

7) インフォメーションセンターゲージ

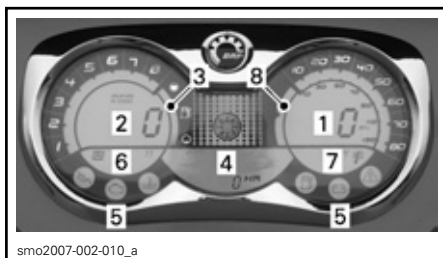
これは数種類の役立つ情報をリアルタイムでオペレーターに知らせる多機能ゲージです。英語、仏語、スペイン語のいずれかで表示されます。ユニット設定については、Sea-Doo認定ディーラーまでお問い合わせください。

始動時、インフォメーションセンターが起動するたびに（DESS キーが取り付けられたとき）、すべてのLCD セグメントとインジケータライトが3秒間表示 / 点灯します。これにより、オペレーターはすべての要素が正常に作動していることを確認できます。



GTI モデル

1. スピードメーター（装備されている場合）
2. タコメーター
3. 燃料レベル
4. インフォメーションセンター
5. インジケータランプ



GTI 以外の全モデル

1. スピードメーター
2. タコメーター
3. 燃料レベル
4. インフォメーションセンター
5. インジケータランプ
6. 深度計
7. 水温
8. VTS ポジションインジケータ

1) スピードメーター

装備されている場合

スピードメーターは、ウォータークラフトの速度を1時間あたりの航行マイル（MPH）およびキロメートル（km/h）で表示します。

2) タコメーター

タコメーターは、エンジンの1分間あたりの回転数（RPM）を表示します。メーター上の数字を1000倍した値が実際の回転数です。

3) 燃料レベル表示

棒状のゲージによって、運転中の燃料タンク内の残量を常時表示します。燃料が減ってゲージの表示棒が1本だけになると、インフォメーションセンターに燃料切れの警告も表示されます。後出のメッセージ表示を参照してください。

4) インフォメーションセンター

コンパス

方位点を表示して、ウォータークラフトの進行方向を示します。

警告

コンパスはあくまでも目安として使用してください。航法用としては使用できません。

アワーメーター (HR)

ウォータークラフトの実使用時間を時間単位で表示します。

メッセージ表示

インフォメーションセンターには、次のような状態が発生した場合にメッセージが点滅する表示エリアがあります。括弧内の略語が実際に表示されるコードです：

- エンジンまたはエキゾーストシステムのオーバーヒート (EXHAUST または ENGINE)
- 油圧の低下 (OIL)
- バッテリーの電圧が低い (12 V LOW)
- バッテリーの電圧が高い (12 V HI)
- 燃料残量が少ない (FUEL-LO)
- メンテナンス時期の到来 (MAINT)¹
- エンジン点検の必要あり (CHK ENG)
- センサー故障 (電子装置) (SENSOR)
- DESS キーが無効 (KEY)
- DESS ラーニングキーを使用中 (L KEY)。

注記: ¹最初の 10 時間使用後、ウォータークラフトの最初の保守点検の時期の訪れを知らせるため、MAINT のメッセージが表示されます。それ以降は、100 時間使用する毎にそのメッセージは表示されます。

故障の種類によっては、必要に応じてオペレーターの注意を喚起するため、ブープ音が鳴り、インジケータライトが点灯する場合があります。

補給によって復旧する燃料残量やオイルレベル低下の場合を除き、その他のメッセージが表示された場合は、Sea-Doo認定ディーラーにご相談されることをお勧めします。

GTI シリーズ

注記: 他の全モデルについては、深度計と水温 (装備されている場合) を参照してください。

水温 (装備されている場合)

水面の水温を摂氏 (°C) または華氏 (°F) 温度で表示します。

注記: 水温と深度計は交互に表示されます。

水深 (装備されている場合)

船体下の水の深さを 0 ~ 50 m (0 ~ 170 ft) の範囲で表示します。

注記: 特定の条件下では、深度計は表示を停止することがあります。深度計の表示能力は、使用状況に影響されます。

警告

深度計を水深が浅い場所でライディングするときの警告装置として用いしないでください。航法のガイドとしてのみ使用してください。航法用としては使用できません。

注記: 水温と深度計は交互に表示されます。

5) インジケータライト

注記: メッセージに関する詳細な情報については、インフォメーションセンターを参照してください。

油圧の低下 (OIL)



エンジン点検の必要あり
(CHK ENG)



エンジンまたはエキゾーストシステム
のオーバーヒート (H-TEMP)



燃料残量が少ない (FUEL-LOW)



バッテリーの電圧が低い/高い
(12 V LOW/HI)



メンテナンス時期の到来 (MAINT)



6) 深度計
(装備されている場合)

船体下の水深を 0 ~ 50 m (0 ~ 170 ft) の範囲で表示します。

注記: 特定の条件下では、深度計は表示を停止することがあります。深度計の表示能力は、使用状況に影響されます。

警告

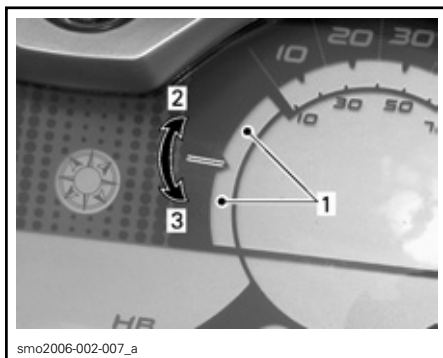
深度計を水深が浅い場所でライディングするときの警告装置として用い
ないでください。航法のガイドとしてのみ使用してください。航法用と
しては使用できません。

7) 水温(装備されている場合)

水面の水温を摂氏 (°C) または華氏 (°F)
温度で表示します。

8) VTS ポジションインジケー
ター(装備されている場合)

VTS ポジションインジケーターは、
ウォータークラフトの航行姿勢を表
示します。



1. ポジションインジケーター
2. パウアアップ
3. パウダウン

8) グローブボックス

身の回り品を納める小さいながらも
便利なストレージコンパートメント
です。

GTI シリーズ

グローブボックス内に手を入れやす
くするため、カバーを開いて、引き
ます。



smo2006-002-003_a

カバーを開く
1. グローブボックスのカバー



smo2006-002-004_a

カバーを引く

9) GPS レシーバー (グローバル ポジショニングシステム) (装備されている場合)

取り外しの可能なGPS レシーバーは、グローブボックスカバーの上にあります。

GPS レシーバーはウォータークラフトの地球上での位置を表示します。

正しい使い方については、GPS レシーバーに付属しているメーカーの取扱説明書を参照してください。

警告

GPS レシーバーを見ていると、ウォータークラフトの操縦への注意が疎かになる可能性があります。特に周囲を絶えず見回すことができなくなり、衝突やその結果として生じる重大なケガまたは死亡の原因になるおそれがあります。GPS レシーバーを見る前に、まず周囲に障害物がないことを確認し、ウォータークラフトの速度を下げてください。さらに障害物がないか随時確認するようにしてください。

警告

GPS レシーバーが提供する情報は、あくまでも参考にとどめるべきであることを忘れないでください。あなた自身の安全のために、その情報だけに頼らないようにしてください。

注意: 悪天候による損傷や盗難を避けるため、ウォータークラフトを離れるときは必ずGPS レシーバーを取り付け位置から外すようにしてください。

GPS レシーバーを外すには、リリースボタンを押します。



F19L05Y

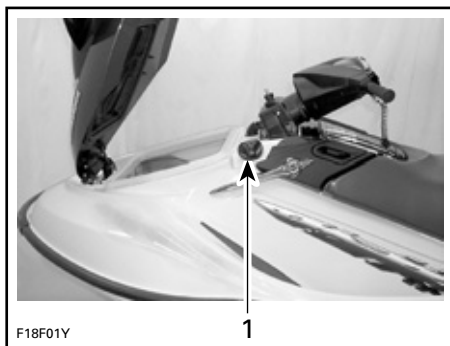
再び取り付けるには、GPS レシーバーをその取り付け位置に納めて、ラッチがかかって固定されるまで押し下げます。



F19L06Y

10) 燃料タンクキャップ

燃料タンクキャップにアクセスするには、フロントストレージコンパートメントカバーを開いてください。



F18F01Y

代表的な例
7. 燃料タンクキャップ

燃料タンクキャップの位置については、各ウォータークラフトの図を参照してください。

燃料タンクキャップを左回りに外します。給油が終わったら、キャップを取り付けて最後までしっかりと締めてください。

警告

給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。つねに換気のよい場所で行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。燃料タンクに圧力がかかっている場合があり、ゆっくりと回してください。裸火を明らかにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。給油中はウォータークラフトを水平に保ってください。燃料を入りすぎないようにし、給油口ぎりぎりまでガソリンを入れた状態で、ウォータークラフトを日の当たる場所に長時間置かないようにしてください。温度の上昇と共にガソリンが膨張して、オーバーフローすることがあります。給油時にこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。定期的に燃料系を点検しましょう。

11) フロントストレージコンパートメント

身の回り品を収納できる便利な防水エリアです(一部のモデルでは取り外し可能です)。認定消火器(別売り)、曳航用ロープ、救急箱などの収納場所として理想的です。

ラッチレバーを上へ引き上げると、フロントストレージコンパートメントカバーが開きます。閉じた後、ラッチをかけ忘れないようにしてください。



smo2007-002-001_a

代表的な例 — GTI 以外の全モデル
1. ラッチレバー



smo2007-002-002_a

代表的な例 — GTI モデル
1. ラッチレバー

注記: ストレージカバーのロックピンの締まり具合を定期的にご確認ください。必要があれば調整し、ストレージカバーのラッチが正しくかかることを確かめてください。

⚠ 警告

重いものや壊れものを固定せずにストレージエリア/バスケットに入れしないでください。ストレージコンパートメントカバーを開けたままの状態ではウォータークラフトを走らせないでください。

⚠ 警告

ストレージビンの下に物を収納しないでください。

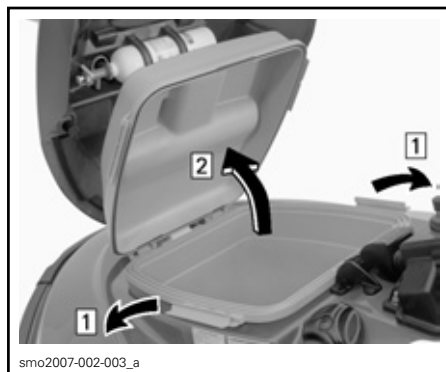
内蔵タイプ脱着式ストレージビン

GTI および GTX シリーズ /Wake エディション

注意: 最大積載量は 11 kg (25 lb) です。

カバーを開ける

カバーラッチを外してからカバーハンドルを引いて、開きます。



smo2007-002-003_a

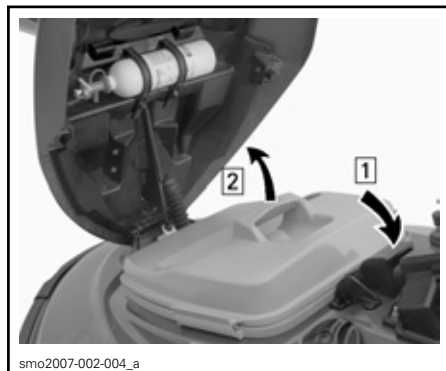
代表的な例

- 手順 1: カバーラッチを外す
- 手順 2: カバーを開く

ストレージビンの取り外し

カバーラッチが正しくロックされていることを確かめます。

リリースボタンを押しながら、ストレージビンハンドルを引いて、ウォータークラフトから外します。



smo2007-002-004_a

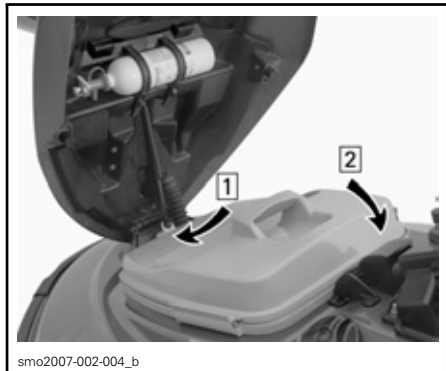
代表的な例

- 手順 1: リリースボタンを押し続ける
- 手順 2: ストレージビンを取り外す

ストレージビンの取り付け

ストレージビンのフロントタブをストレージカバーショックサポート下に挿入します。

ストレージビンを押して、ロック用部品で所定位置に固定します。



代表的な例

- 手順 1: ストレージビンのフロントタブを挿入する
- 手順 2: ロック用部品で固定する

注意: ストレージビン を正しく取り付けないでウォータークラフトを走らせないでください。ビルジ内に水が入って、あふれ出る可能性があります。

補助ストレージコンパートメント

GTX シリーズ/**Wake** エディション/**RXT** モデル

濡れた物品の収納に便利なストレージです。

ストレージビンを取り外し、両ストレージコンパートメントにアクセスします。



警告

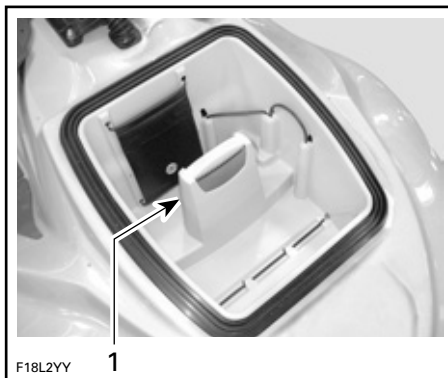
小さな物体を固定せずに入れないでください。



取り外し式トレイ

GTX 限定および **Wake** エディションモデル

一部のモデルは、取り外し可能なバスケットを装備しています。身の回り品の運搬に便利な取っ手付きです。



代表的な例

- 1. 取り外し可能なバスケット

一部のモデルでは、便利なラバーバンドやその他の実用的なアクセサリを装備しているものもあります。

スเปアスパークプラグホルダー

GTX シリーズ、**Wake** エディション、**RXT** モデル

リアストレージバスケットを参照してください。

RXP モデル

これらのモデルには専用の場所がありません。

GTI シリーズ

ストレージビンカバーにはスペアスパークプラグホルダーが設けられています。

このホルダーは予備のスパークプラグを濡らさないように保管し、ギャップの調整が狂ったり、壊れたりしないように衝撃から保護します。



1. ストレージビンカバー
2. スパークプラグホルダー

注記: 予備のスパークプラグを取り付ける前に、仕様によってプラグギャップを調整してください。

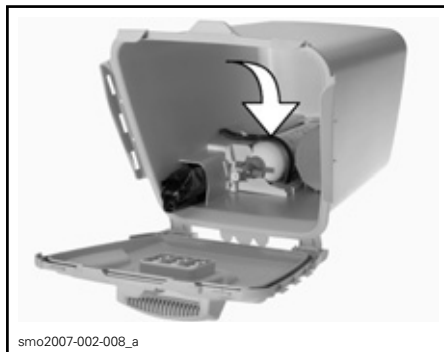
注記: 予備のスパークプラグはウォータークラフトには付属していません。

消火器ホルダー

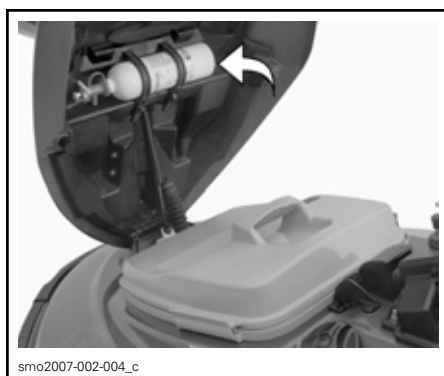
注記: 消火器は別売りです。

GTI シリーズ

フロントストレージコンパートメントで脱着式ストレージビン内部のサポートを使用します。そしてラバーラッチを使って消火器を固定します。

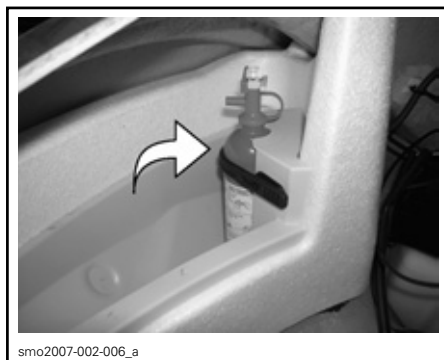


GTX シリーズおよび Wake エディションモデル



GTX シリーズ、Wake エディション、RXT モデル

RH 補助ストレージコンパートメント内のサポートを使用します。



RXP モデル

ストレージビンを持ち上げると、認定された消火器（別売）用のホルダーにアクセスできます。『オペレーターズガイド』と工具キットもあります。



12) ツールボックス

工具キットには、ウォータークラフトの基本的なメンテナンスを実施するのに必要な工具が含まれています。

RXP モデル

消火器用のホルダー内のフロントストレージコンパートメント内にあります。フロントストレージコンパートメントを参照してください。

GTI シリーズ

フロントストレージコンパートメント内にあります。

他のモデル

リアシート下に設置されています。

13) エアインテーク開口部

ここから空気が入ってエンジンに供給され、エンジンコンパートメント内の換気も行われます。エアインテーク開口部が水面下に潜ると、ビルジ内に水が入ってしまいます。

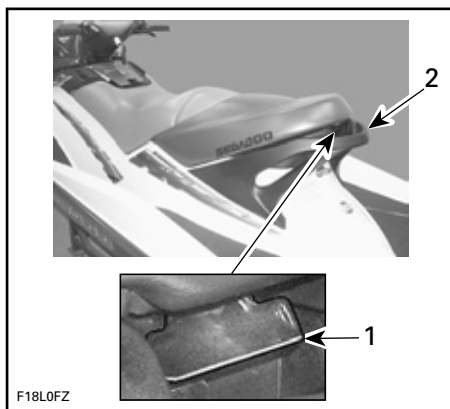
注意: 連続した急旋回などによってエアインテーク開口部が水面下に潜ると、ビルジ内に水が入り、エンジンの内部部品に重大な損傷を及ぼすおそれがあります。

14) シートストラップ

シートストラップは乗船するときの手掛かりとなり、また同乗者がつかんで体を支えるためにも使用します。

15) リアシートラッチ (装備されている場合)

リアシートを取り外すと、リアストレージバスケットにアクセスできます。また、シートラッチにもアクセスできるようになります。

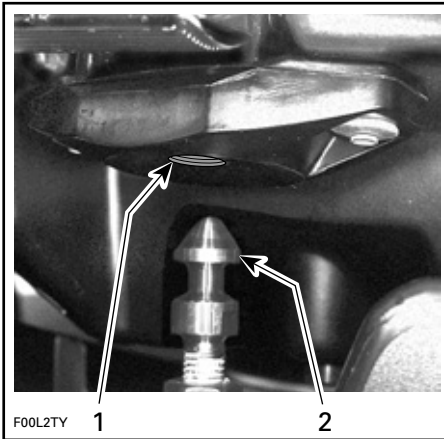


代表的な例

1. シートエクステンションラッチ
2. リアグラブハンドル

シートを外すには、ラッチレバーを上へ引き上げ、固定します。シートを持ち上げ、後方に引きます。

シートのラッチを固定するには、まずラッチホールとピンの位置を合わせてから、シート後部を強く押し下げてください。

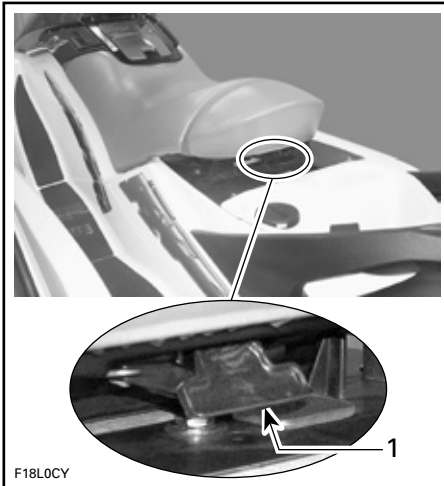


代表的な例
1. ラッチホール
2. ピン

16) シートラッチ

フロントシートを取り外すと、エンジンコンパートメントにアクセスできます。

フロントシートラッチはシート後端の裏側にあります。

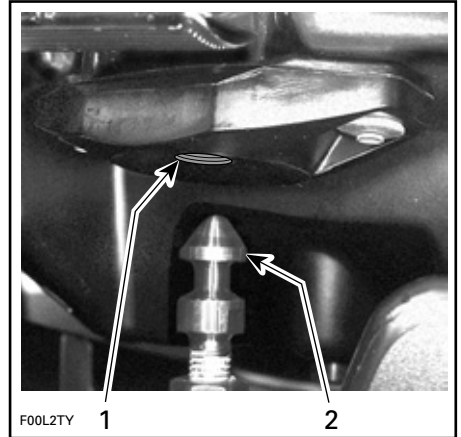


代表的な例
1. シートラッチ

シートを外すには、ラッチレバーを上へ引き上げ、固定します。シートを持ち上げ、後方に引きます。

注記: 一部のモデルでは、最初にリアシートを取り外すことが必要です。

シートのラッチを固定するには、まずラッチホールとピンの位置を合わせてから、シート後部を強く押し下げてください。



1. ラッチホール
2. ピン

エンジンコンパートメント

フロントシートを取り外すと、エンジン、電子、燃料システムにアクセスできます。

⚠ 警告

エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。エンジンを始動するときやエンジンが回っている間は、電気系の部品に触れないでください。エンジンコンパートメントやビルジ内に物体、ウエス、工具などを入れたままにしないでください。

17) リアグラブハンドル

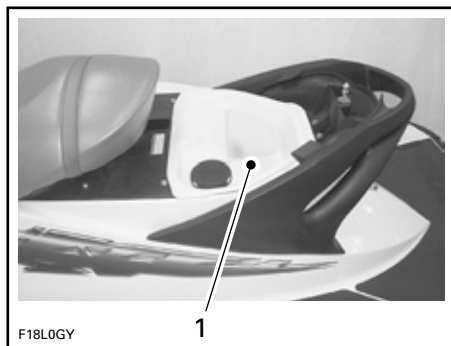
必要に応じて乗船するときの手掛かりとなり、同乗者または助手がつかんで体を支えるために使用します

注意: このグラブハンドルは、曳航やウォータークラフトの吊り上げには絶対に使わないでください。

18) リアストレージバスケット (装備されている場合)

GTXシリーズ、Wake エディション、RXT モデル

防水性で取り外しもできる便利なバスケットです。身の回り品を納めるのに適しています。



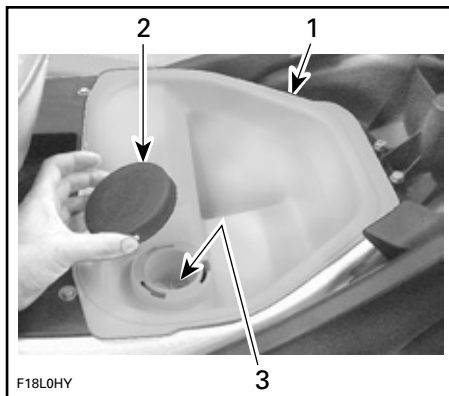
1. リアストレージバスケット

スペアスパークプラグホルダー

ストレージバスケットにはスペアスパークプラグホルダーが設けられています。

このホルダーは予備のスパークプラグを濡らさないように保管し、ギャップの調整が狂ったり、壊れたりしないように衝撃から保護します。

キャップを反時計方向に回して緩め、ホルダーを露出させてその穴にスパークプラグを差し込みます。キャップを元通りに取り付けてください。



1. ストレージバスケット
2. スペアスパークプラグホルダーキャップ
3. スパークプラグホルダー

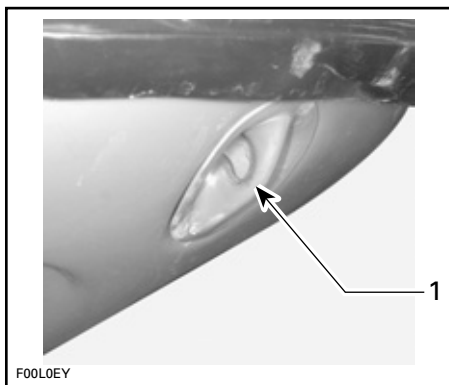
注記: 予備のスパークプラグを取り付ける前に、仕様に従ってプラグギャップを調整してください。

注記: 予備のスパークプラグはウォータークラフトには付属していません。

19) バウ (船首) アイレット とスターン (船尾) アイレット

バウ (船首) アイレット

アイレットは係留、曳航、トレーラー輸送時の固定ポイントに使用できません。

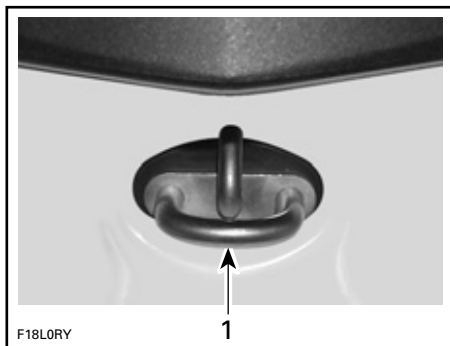


1. 船首 (バウ) アイレット

船尾（スターン）アイレット

RXP 以外の全モデル

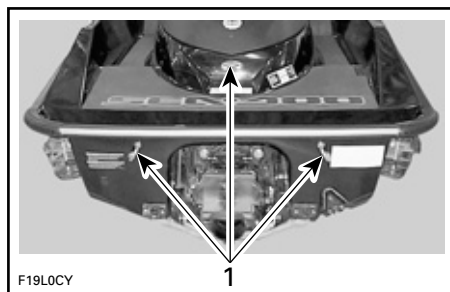
このアイレットには、さまざまな形状（フック付き、クローズドループ、オープンエンド等）のロープを簡単に取り付けられるようになっています。



1. 船尾（スターン）アイレット

GTI シリーズ以外の全モデル

便利なように、3つのアイレットを利用できます。

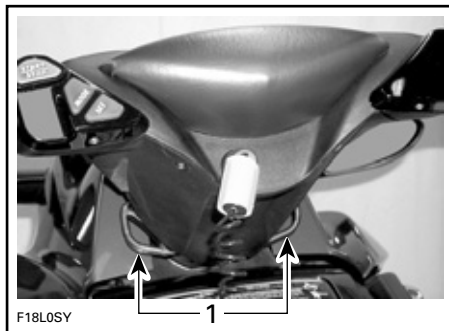


代表的な例

1. アイレット

20) 係船クリート

この索止めは、例えば給油などのための一時的なドック入りの際に使用できます。



代表的な例

1. 係船クリート

注意: 係船クリートは、絶対にウォータークラフトの曳航や吊り上げには使わないでください。

21) フットボード

ライディング中は常に乗船者の両足をフットボードに乗せておきましょう。

22) ボーディングパッド

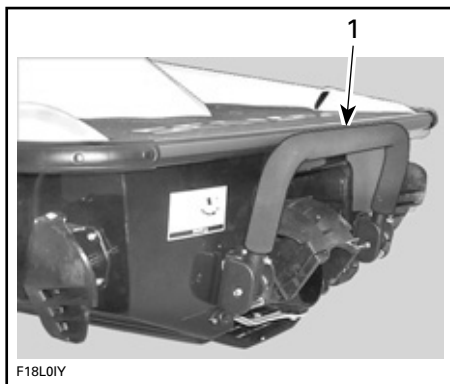
ウォータークラフトの後方から乗り込むときに膝をつくため、表面がクッション付きになっています。

23) ボーディングプラットフォームフォーム

ウォータークラフトの後方から楽に乗り込めるように、面積が広がっています。

24) ボーディングステップ (装備されている場合)

水中からウォータークラフトに上がるときに用いる便利なステップです。

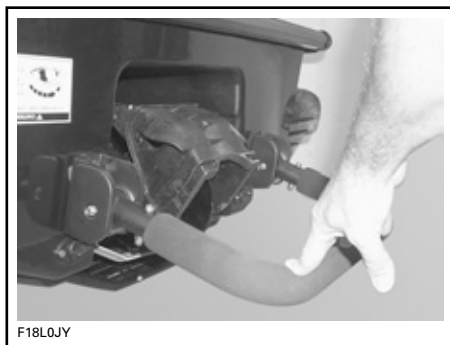


F18L01Y

代表的な例

1. ボーディングステップ

手でステップを引き下げ、足がステップに乗るまで手で押さえておきます。



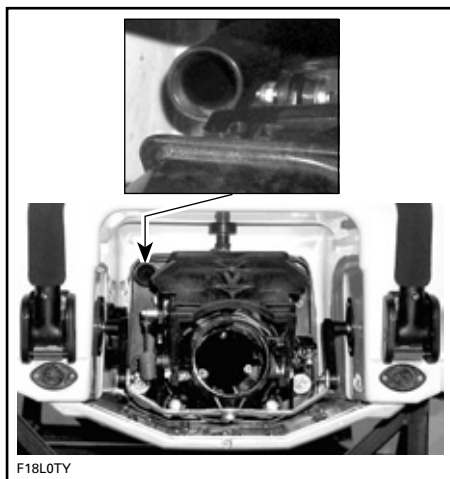
F18L0JY

25) フラッシングコネクター

エキゾースト冷却システムのフラッシングを行う際に、散水用ホースを簡単に取り付けられるように設けられた便利なコネクターです。

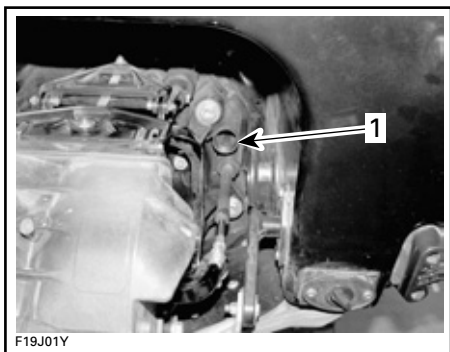
⚠ 警告

ウォータークラフトを水から上げた状態でエンジンを回すと、ライドプレートの熱交換器がたいへん熱くなります。火傷のおそれがありますので、ライドプレートには触れないようにしてください。



F18L0TY

RXPを除く全モデル



F19J01Y

RXP モデル

1. フラッシングコネクター

正しい使い方については、使用後のお手入れセクションを参照してください。

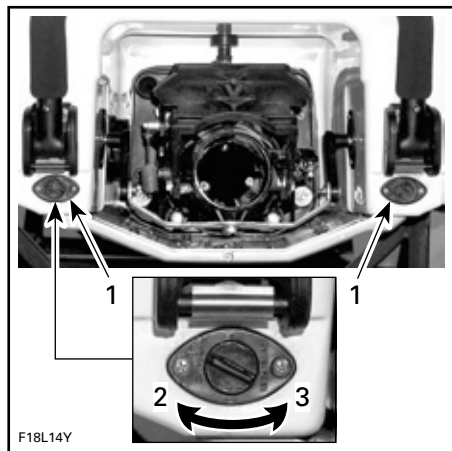
26) ビルジドレンプラグ

ドレンプラグには2つの機能があります:

- ビルジ内に水が入ってしまった場合は、エンジンを止めてウォータークラフトを水から上げた状態でドレンプラグを緩めれば、簡単に水を抜くことができます。
- ドレンプラグは、エンジンが回っているときにジェットポンプの負圧部分を利用して、ビルジから水を

吸い上げています。各ピックアップの網が目詰まりしていないか点検し、必要があれば清掃してください。

注意: ドレンプラグを緩める前に、ウォータークラフトを水から上げてください。



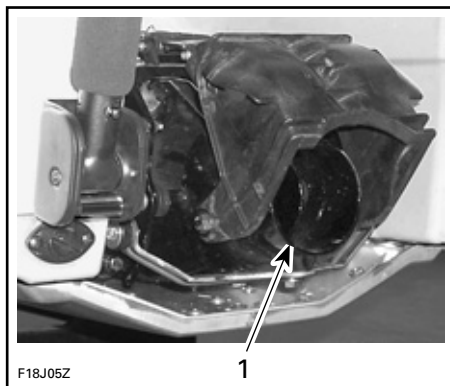
代表的な例
1. ドレンプラグ
2. 締まる
3. 緩む

ウォータークラフトをわずかに後ろ下がりにするように傾け、水がビルジから完全に流れ出るようにします。ビルジを傾けて排水することが推奨されています。

注意: ウォータークラフトを再び水に浮べる前に、すべてのドレンプラグが正しくしっかりと締まっていることを確認してください。

27) ジェットポンプノズル

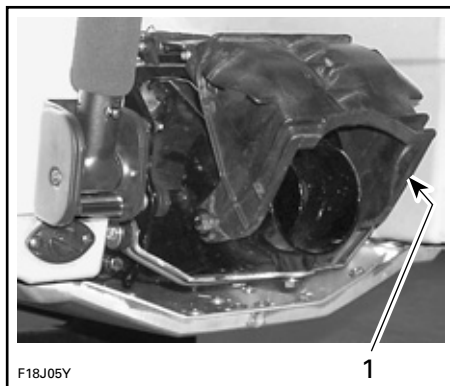
ジェットポンプノズルはオペレーターのハンドルバーの操作によって左右に向きを変えます。エンジンが回っている間は、これによって進路を制御します。



代表的な例
1. ジェットポンプノズル

28) リバースゲート

シフトレバーでニュートラルまたはリバースを選択すると、このリバースゲートが上または下へ動いて、必要とされるポジションを取ります。



代表的な例
1. リバースゲート

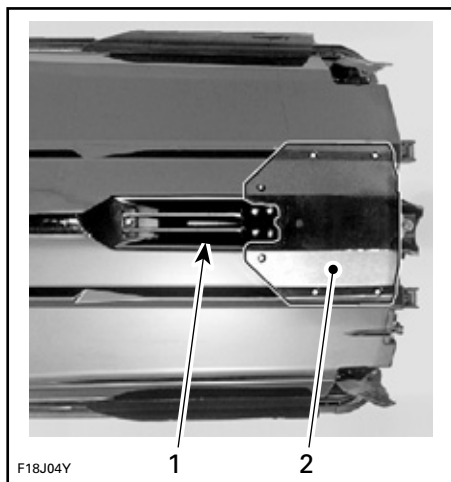
29) ジェットポンプウォーターインテークとライドプレート

水はウォーターインテークの開口部から入り、インペラーによって吸い上げられます。ウォーターインテークグレートは、推進システムへの異物の侵入を最小限にとどめます。

注記: ライドプレートはエンジン冷却システムの熱交換器になっています。

警告

エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡んで、重大なケガを負ったり、溺れたりするおそれがあります。



代表的な例
1. ウォーターインテーク
2. ライドプレート

警告

ウォータークラフトを水から上げた状態でエンジンを回すと、ライドプレートの熱交換器がたいへん熱くなります。火傷のおそれがありますので、ライドプレートには触れないようにしてください。

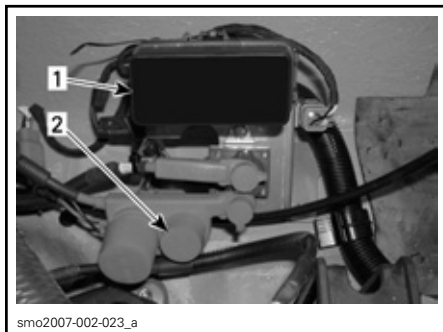
30) ヒューズ

RXP と **GTI** シリーズ以外の全モデル

ヒューズはシート下のビルジ内にあります。詳細についてはメンテナンスを参照してください。

RXP および **GTI** シリーズモデル

ヒューズはフロントストレージコンパートメント内のバスケットの下にあります。詳細についてはメンテナンスを参照してください。

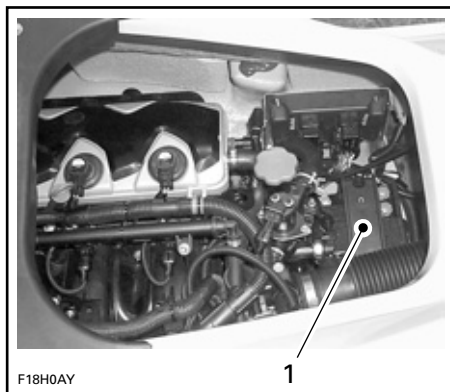


代表的な例
1. ヒューズボックス
2. メインヒューズ

31) バッテリー

GTI シリーズと **RXP** 以外の全モデル

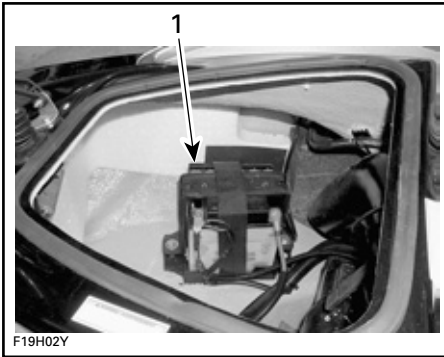
バッテリーはシート下のビルジ内にあります。特殊な手順を参照してください。



代表的な例
1. バッテリー

GTI シリーズおよび **RXP** モデル

バッテリーはフロントストレージコンパートメント内のストレージビンの下にあります。特殊な手順を参照してください。



代表的な例
1. バッテリー

32) サイドベーン

サイドベーンはオフパワーアシステッドステアリング (O.P.A.S.™) システムの一部です。

サイドベーンはステアリングシステムをアシストします。

スライディングサイドベーン付きのモデル

エンジンの回転数が低いときには、サイドベーンが下がってステアリングシステムをアシストします。このシステムの概略については使用上の諸注意のセクションの作動原理を参照してください。

全モデル

⚠ 警告

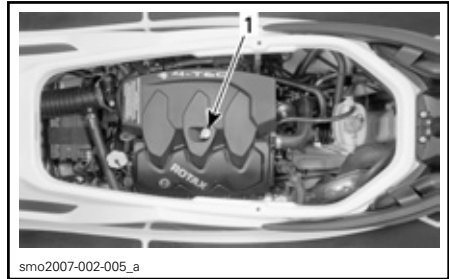
エンジンを始動する前に、ハンドルバーとサイドベーンの作動を点検してください。サイドベーンを、水から上がるときやウォータークラフトを引き上げるときの支持点として使わないでください。誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。ステアリング系の可動部品 (ノズル、サイドベーン、リンクなど) に近づかないでください。

33) エンジンオイルレベルゲージ

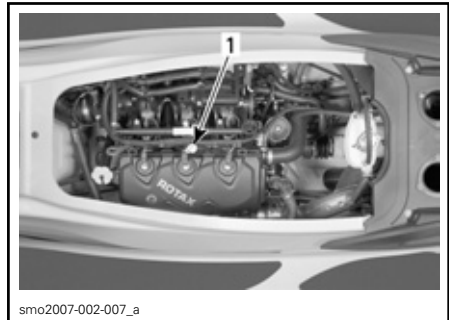
エンジンコンパートメント内のエンジン本体上にあります。エンジンオイルのレベルを示します。

⚠ 警告

エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。



代表的な例 — GTI 以外の全モデル
1. オイルディップスティック

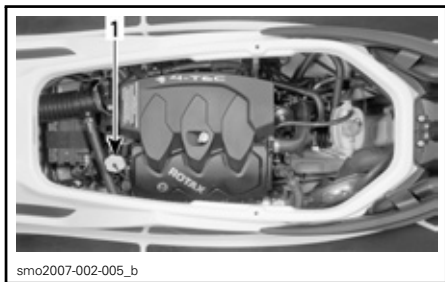


GTI モデル
1. オイルディップスティック

詳細については燃料、オイル、クーラントを参照してください。

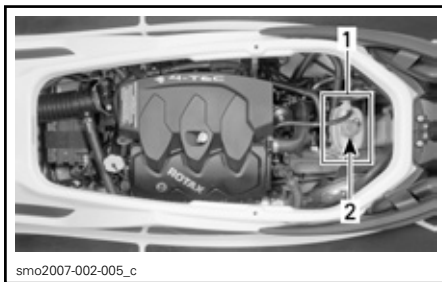
34) エンジンオイルフィルターキャップ

エンジンコンパートメント内のエンジン本体上にあります。必要に応じてエンジンにオイルを補給する際に使用します。



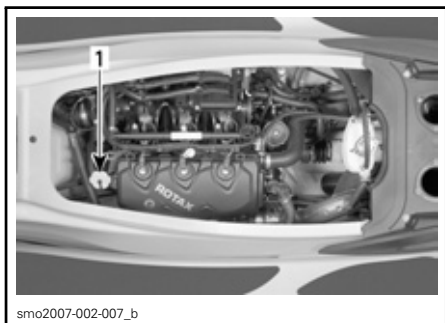
smo2007-002-005_b

代表的な例 —GTI 以外の全モデル
1. オイルフィルターキャップ



smo2007-002-005_c

代表的な例 —GTI 以外の全モデル
1. リザーバータンク
2. キャップ



smo2007-002-007_b

GTI モデル
1. オイルフィルターキャップ

詳細については燃料、オイル、クーラントを参照してください。

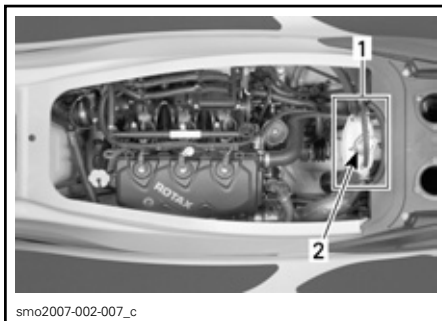
35) 冷却システムリザーバータンクキャップ

エンジンコンパートメント内にあります。リザーバータンクのフィルターネットにアクセスします。

警告

エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。

シートエクステンションとストレージバスケットを取り外すと、リザーバータンクにアクセスできます。



smo2007-002-007_c

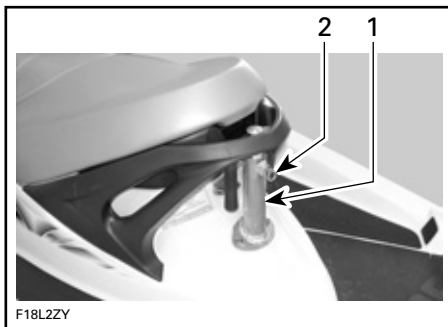
GTI モデル
1. リザーバータンク
2. キャップ

詳細については燃料、オイル、クーラントを参照してください。

36) スキー / ウエイクボードポスト (装備されている場合)

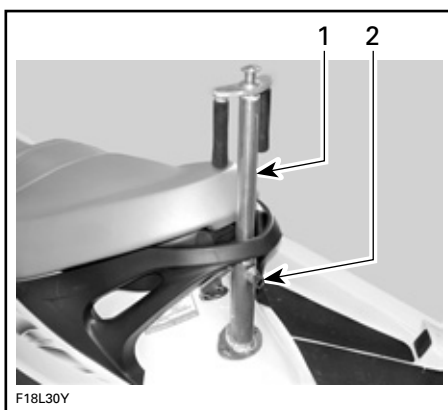
ポストを引き上げると、水上スキーやウエイクボードのロープを取り付けることができます。使い終わったらポストを押し下げ、正しくロックしてください。

ポストを立てるには、まずロックングピンを引いてロックを解除してから、ポストを引き出します。ポストが正しくロックされていることを確認してください。ポストの格納は立てるときと逆の手順をたどります。



F18L2ZY

1. スキー/ウエイクボードポスト
2. ロック用部品を引いてロック解除する



F18L30Y

1. 立てた状態のスキー/ウエイクボードポスト
2. ポストがロックされていることを確認する

⚠ 警告

使用前に、スキー/ウエイクボードポストがいっぱいまで伸ばされ、ロックされていることを確認してください。使用していないときは完全に格納して、ロックしてください。スキーヤー/ウエイクボーダーがロープを放すと、ロープが反動でウォータークラフトの方へ戻ってくる場合がありますので、注意してください。スキーヤー、ウエイクボーダー、または遊具などを牽引しているときは、急旋回を行わないでください。

必ずオペレーターの他にもうひとり後方を監視する人を同乗させてください。

注記: 同乗者が監視するときに握るハンドルが設けられています。

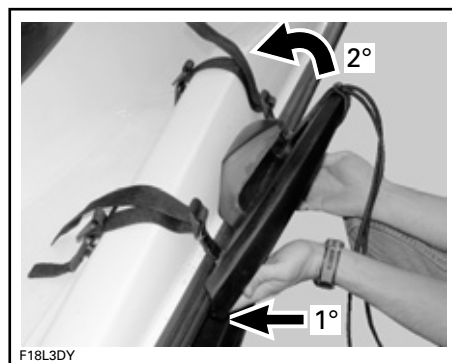
注意: スキー/ウエイクボードポストを他のウォータークラフトの曳航に使用しないでください。

37) ウエイクボードとラック (装備されている場合)

ウエイクボードを運ぶための便利な取り外し式ラックです。

取り付けるには:

- ラックの中心線をフットウェルエリアにある2つのバックル受けの中央に合わせて、ラックをバンパートリムの上に置きます。
- ラックの2つのアウターJ-フックをバンパートリムの下にある船体のファイバーグラスのリップ部分にかけます。



F18L3DY

- バックルをフットウェルにあるバックル受けに取り付けます。



F18L3EY

- ストラップを上向きに強く引いて、締めます。



F18L3FY

- ストラップをもう一度強く引いてみて、ラックが正しく取り付けられていることを確認します。

⚠ 警告

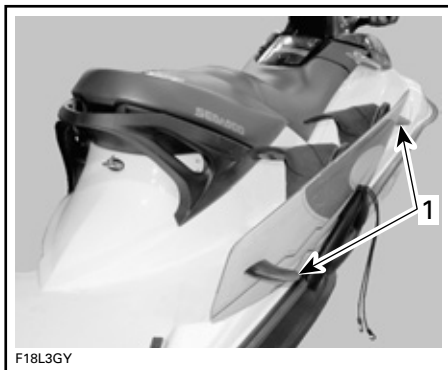
ラックがウォータークラフトに正しく固定されていないと、突然ラックが緩んで外れる可能性があり、近くにいる人がケガをするおそれがあります。これを防ぐには：

- ストラップが傷んでいないことを確認してください。
 - ラックをウォータークラフトに正しく固定してください。
 - ストラップがしっかり締まっているか、定期的に点検してください。
- ラックにウエイクボードを取り付けるときは、ボードをしっかりホルドするために、ウエイクボード

のフィンを外側に向けてバンジークードで固定します。

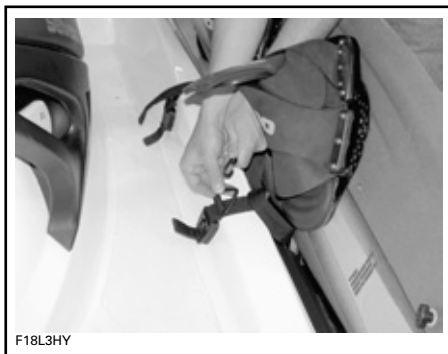
⚠ 警告

ウエイクボード¹のフィンによるケガや切り傷を防ぐため、必ずフィンを外側に向けてください。



F18L3GY

1. フィンは外向き



F18L3HY

- 取り付けを終えたら、ウエイクボードを押したり引いたりして、ラックにしっかり固定されていることを確認します。

⚠ 警告

ウエイクボードがラックに正しく固定されていないと、突然ボードが緩んで外れる可能性があります。近くにいる人がケガをするおそれがあります。これを防ぐには：

- バンジーコードの状態を点検し、損傷があれば交換してください。
- ウエイクボードをラックに正しく固定してください。
- ボードがしっかり固定されているか、定期的に点検してください。



F18L3IY

注記：ウエイクボードをラックから外しているときは、バンジーコードを固定して、ウォータークラフトの航行中にコードが動き回らないようにしてください。



F18L3JY

注意：このラックは1枚のウエイクボードを積むように設計されています。2枚以上のウエイクボードを積んだり、水上スキーやその他のものの運搬に使用したりしないでください。また、ラックを係留ポイントとして使ったり、水中からウォータークラフトに上がる時の手がかりとして利用したりしないでください。

⚠ 警告

ウエイクボードやラックを取り付けた場合は、特に注意を払う必要があります。

- スピンアウトなどの激しい機動を行わないでください。
- 波を乗り越えるときにジャンプしないでください。
- 常識を働かせ、スピードを制限してください。

こうした点への注意を怠ると、ウエイクボードが外れたり、振り落とされた乗員がウエイクボードまたはラックにぶつかってケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

ウエイクボードをラックに取り付けたまま、ウォータークラフトをトレーラーで運搬しないでください。ウエイクボードのフィンが近くにいる人に当たってケガをさせたり、ウエイクボードが外れて路上に落ちる可能性があります。また、バンジーコードには張力が働いているため、外れたときに鞭のように勢いよく戻って、近くにいる人に当たるおそれがあります。十分に注意して取り扱ってください。

取り外すときは、取り付けの手順を逆にたどります。

液体類

注意: このセクションの指示事項は正確に守ってください。指示が守られないと、エンジンの寿命および/または性能が低下する可能性があります。

推奨燃料

自然吸気エンジンモデル

次の推奨最小オクタン価以上の無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

場所	オクタン価
北米内	(87 オクタン価 (RON + MON)/2)
北米以外	92 RON

インタークーラースーパーチャージャー付きエンジンモデル

最適な性能を引き出すため、次のオクタン価の無鉛プレミアムガソリンの使用をお勧めします。

場所	オクタン価
北米内	(91 オクタン価 (RON + MON)/2)
北米以外	95 RON

次のオクタン価以上の無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

場所	オクタン価
北米内	(87 オクタン価 (RON + MON)/2)
北米以外	92 RON

すべてのモデル

注意: これ以外の燃料や燃料混合液類を試さないでください。10%を超えるアルコール（エタノールまたはメタノール）を含んだ燃料を使用しないでください。推奨の燃料以外を使用すると、ウォータークラフトの性能低下、燃料システムの重要な部品およびエンジンコンポーネントの損傷につながる可能性があります。

エンジンオイル

このウォータークラフトは4ストロークエンジンを搭載しており、エンジン内部を潤滑するために4ストロークエンジンオイルが必要です。以下の要求事項を必ず守ってください。

注意: 2ストローク用エンジンオイルは絶対に使用しないでください。

推奨オイル

自然吸気エンジン

オイルはAPIサービス等級SM、SL、SJの要求条件に合致する4ストローク、10W40グレードモーターオイルを使用してください。必ずオイル容器のAPIサービスラベルを確認し、これらの文字記号が表示されていることを確かめてください。

注記: 同じ条件を満たす合成オイルも使用できます。

自然吸気エンジン		
推奨オイル		部品番号
ミネラル	XP-S 10W40	219 700 346
または		
合成	XP-S 5W40	293 600 039

インタークーラースーパーチャージャー付きエンジン⁽¹⁾

XP-S 10W40 4ストロークオイル(P/N 219 700 346)またはBRP認定同等品を使用してください。

インタークーラースーパーチャージャー付きエンジン ⁽¹⁾		
推奨オイル		部品番号
ミネラル	XP-S 10W40	219 700 346

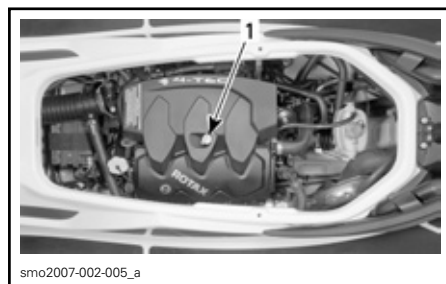
同じオイルにより、エンジンとスーパーチャージャークラッチ両方を潤滑します。XP-S 10W40 オイルは、スーパーチャージャークラッチの機能を損なう添加物を含んでいないことを十分に証明してきました。

注記: 推奨以外のオイル製品を使用する場合、BRPによる限定保証が無効となる場合があります。

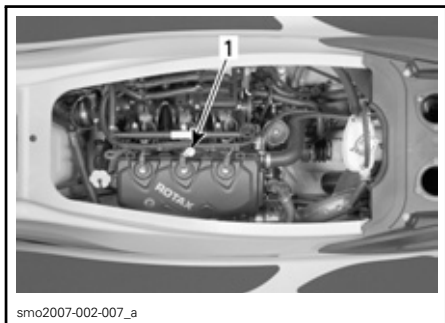
注意: ⁽¹⁾ インタークーラースーパーチャージャー付きエンジンで合成オイルを使用しないでください。スーパーチャージャークラッチの適切な操縦を損ないます。推奨オイルに何も添加しないでください。BRP 推奨以外のオイルは添加物(フリクション・モディファイア)を含むことがあり、スーパーチャージャーの不適切な滑り、また早過ぎる磨耗の原因となります。この理由で、XP-S 10W40 4ストロークオイル(P/N 219 700 346)またはBRP認定同等品のみが推奨されているオイルです。

オイルレベル

注意: オイルレベルは頻繁にチェックし、必要に応じて補充してください。エンジンオイルを入れすぎると、エンジンが煙を吐いたり、出力が低下したりします。オイルレベルが不適切なまま使用を続けると、エンジンに重大な損傷を与える可能性があります。こぼれたオイルは必ずふき取ってください。



代表的な例 —GTI 以外の全モデル
1. オイルディップスティック



sno2007-002-007_a

GTI モデル

1. オイルディップスティック

オイルレベルの点検手順:

注記: このエンジンでは、オイルレベルを点検する前に、エンジン暖機後、30 秒間アイドリングの状態を保ってからエンジンを止める必要があります。そこからさらに30 秒間待つてください。この手順の後に、オイルレベルを正しく点検できる状態になります。これは各オイルチャンバーのレベルを均等にするために必要な手順です。この手順を守らないと、正しいオイルレベルを知ることができません。

- ウォータークラフトは水平でなければなりません。オイルレベルの点検は水上でも、またはウォータークラフトを水から上げた状態でもかまいません。エンジンは暖まった状態でなければなりません。

注意: ウォータークラフトを水から上げている場合、エキゾースト冷却システムに水を供給せずにエンジンをかけないでください。

- 水から上げている場合は、トレーラージャッキ等で調整し、ウォータークラフトのバンパーレールが水平になるように傾きを調整します。フラッシングコネクターに散水用ホースをつないでください。使用後のお手入れのフラッシングの項を参照して、その手順に従ってください。

注意: ウォータークラフトを水から上げている場合、エキゾースト冷却システムのフラッシングを行わないと、エンジンおよび / またはエキゾーストシステムに重大な損傷を及ぼす可能性があります。

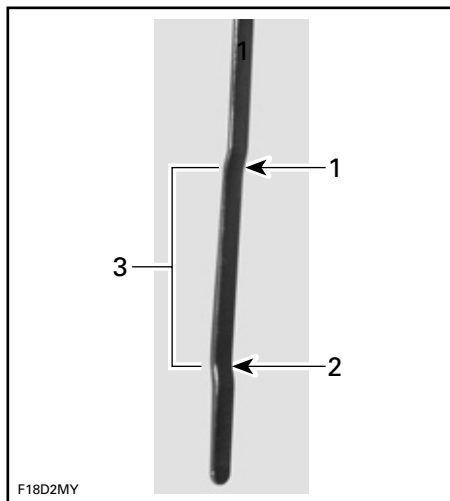
- 暖機運転を行い、エンジンを止める前に 30 秒ほどアイドリングさせます。
- エンジンを停止させてください。
- 少なくとも30秒ほど待ってからオイルレベルゲージを引き抜き、オイルを拭き取ってください。

⚠ 警告

エンジンオイルが熱くなっている可能性があります。エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。

注意: エンジンを 5 分間以上回さないでください。ウォータークラフトが水から上がっているときは、ドライブラインシールが冷却されないためです。

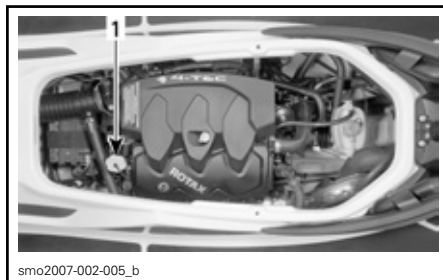
- オイルレベルゲージを奥まで完全に差し込んで、元通りに取り付けます。
- もう一度オイルレベルゲージを外して、オイルレベルを読み取ってください。レベルはマークの間になければなりません。



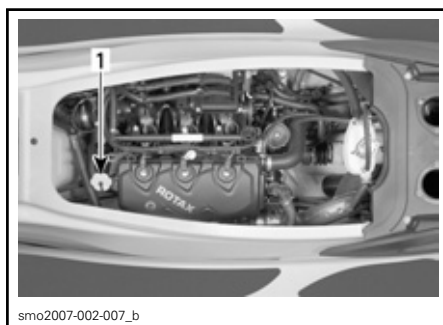
1. フル
2. 追加
3. 運転範囲

- マークの間がない場合は、適正なレベルになるまでオイルを補給してください。
- オイルを補給するには、オイルキャップを緩めて外します。その開口部にじょうごを入れ、推奨オイルを適正なレベルまで補給してください。入れすぎではありません。

注記: エンジンにオイルを補給するたびに、前述の手順（エンジンを始動して30秒間アイドリング、30秒待ってからオイルレベルの再点検）を行う必要があります。これはオイルを各オイルチャンバーへ正しく送り込み、レベルを均等に揃えるために必要な手順です。この手順を守らないと、正しいオイルレベルを知ることができません。



代表的な例 —GTI 以外の全モデル
1. オイルフィルターキャップ



GTI モデル
1. オイルフィルターキャップ

- オイルキャップとオイルレベルゲージを正しく元通りに取り付けます。

エンジン冷却液

推奨冷却液

内燃アルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

注記: 入手可能であれば、アルミニウム製内燃エンジン用の生物分解性不凍液をお奨めします。これは環境保護に有効です。

冷却システムは水と不凍液の水溶液（水50%、不凍液50%）で満たされていなければなりません。

BRP では、 -37°C (-35°F) までの凍結防止能力を持つプレミックスクーラントを発売しています。(P/N 293 600 038)。

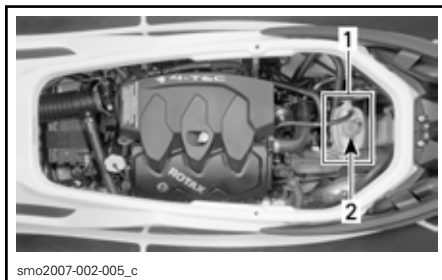
不凍液の劣化を防ぐため、いつも同じブランドの不凍液を使ってください。冷却システムを完全にフラッシングして入れ替える場合を除いて、ブランドの異なる不凍液を混ぜないでください。Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

冷却液レベル

警告

冷却液レベルは、エンジンが冷めている状態でチェックしてください。エンジンが暖機されているときに、冷却液を冷却システムに注ぎ足してはなりません。

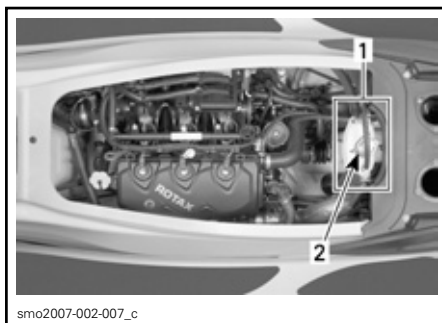
リアシートを取り外して、冷却システムリザーバータンクにアクセスします。



smo2007-002-005_c

代表的な例 —GTI 以外の全モデル

1. リザーバータンク
2. キャップ

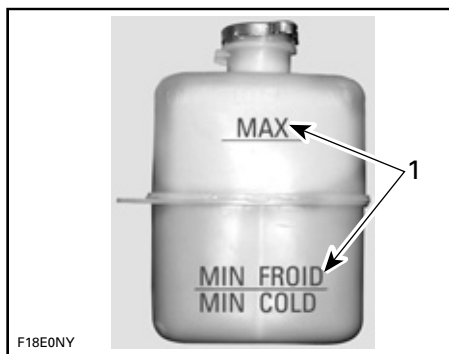


smo2007-002-007_c

GTI モデル

1. リザーバータンク
2. キャップ

船体が水平になっている状態で、エンジンが冷えているとき、クーラントのレベルはリザーバーのMINとMAXのマークの間になければなりません。



F18E0NY

1. エンジンが冷えているときにレベルがこのマークの間にあること

注記: ウォータークラフトは水上に浮かんでいるときは、水平になります。トレーラーに載っているときは、トレーラージャッキ等で、ウォータークラフトのバンパーレールが水平になるように傾きを調整します。

必要に応じて、レベルがマークの間に来るようにクーラントを補充します。こぼさないようにじょうごを使ってください。入れすぎではありません。

注記: 不凍液水 50% と脱塩水 50% の混合を使用します。凍結防止能力を持つプレミックスクーラント (P/N 293 600 038) を Sea-Doo 認定ディーラーで発売しています。

注記: ウォータークラフト使用時特に暑い天候や水温が高い場合、不凍液水 40% と脱塩水 60% の混合を使用して冷却効率を高めることができます。

フィルターキャップを正しく元通りに取り付けて締めます。リアシートも元通りに取り付けてください。

注記: 頻繁に冷却液を注ぎ足す必要がある場合、冷却システムに漏れがあるか、エンジンに問題がある可能性があります。Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

冷却液の交換

「メンテナンス」のセクションを参照してください。

慣らし運転期間

注意: このセクションの指示事項は正確に守ってください。指示が守られないと、エンジンの寿命および / または性能が低下する可能性があります。

Rotax® エンジンを搭載した, Sea-Doo ウォータークラフトは、フルスロットルでの連続航行を行う前に 10 時間の慣らし運転期間が必要です。

慣らし運転中は、スロットルを 3/4 以上に開けないようにしてください。ただし、短時間の全力加速やスピードの変化は、適切な慣らしに役立ちます。

注意: スロットルを全開にして航行を続けたり、速度に変化をつけずに長時間の巡航を行うのは避けてください。慣らし運転中にこうした使い方をすると、エンジン損傷の原因になることがあります。

注記: 慣らし運転中も、燃料タンクにオイルを添加しないでください。

10 時間点検

注記: この 10 時間点検はウォータークラフト所有者の費用負担で行われるものです。

実使用時間が最初の 10 時間を過ぎた時点で、Sea-Doo 認定ディーラーによるウォータークラフトの点検を受けることをお勧めします。この点検は、あなたが操縦を始めたばかりの段階で感じたかもしれない疑問点について、ディーラーと話し合うよい機会にもなるでしょう。

使用前の点検

警告

ウォータークラフトを使用する前に点検を行うことはたいへん重要です。以下の一覧表に従って、重要な操縦装置、安全装備、機械的コンポーネントが正しく作動していることを確認してください。ここで指定された通りに点検が行われていないと、死亡または重大な人身事故につながるおそれがあります。各地域の法律で要求されるすべての安全装備品を携行してください。

次に挙げる項目には、このガイドでこれまでに取り扱っていないものも含まれていますが、そうした項目は後出のメンテナンスまたは特殊な手順セクションで解説します。詳細については、これらの各セクションを参照してください。

警告

次の各項目の確認を行うまではエンジンをかけず、必ず DESS キーをポストから外しておいてください。全項目の点検を終え、正しく作動することを確認してから、ウォータークラフトを始動してください。

項目	作業内容	✓
船体 (ハル)	点検。	
ジェットポンプウォーターインテーク	点検 / 清掃。	
ビルジ	排水。プラグが締まっていることを確認。	
バッテリー	ケーブルと固定機構の締め付けの点検。	
燃料タンク	給油。	
エンジンコンパートメント	燃料ライン接続部の締め付けの点検。燃料漏れ / 燃料の臭気がないこと、オイルとクーラントの漏れがないことの確認。	
エンジンオイルレベル	点検 / 補充。	
エンジンクーラントレベル	点検 / 補充。	
ステアリングシステムとサイドペーン(O.P.A.S.)	作動を点検。	
スロットルシステム	作動を点検。	
シフターシステム	作動を点検。	
VTS (装備されている場合)	作動を点検。	
ストレージコンパートメントカバーとシート	閉じられてラッチがかかっていることを確認。	
内蔵タイプ脱着式ストレージビン	船体への取り付けを確認して、正しく閉じてラッチをかけます。	

項目	作業内容	✓
ウエイクボードとラック	- ラックが正しく固定されているか確認。 - パンジーコードに損傷などがないことを確認してください。 - ウエイクボードが正しく固定されているか確認。	
DESS ポストとエンジンスタート/ストップボタン	作動を点検。	
排気マニホールドの冷却水(気温が氷点下またはそれに近い場合のみ)	水が排気マニホールド内を正しく流れているか点検。	

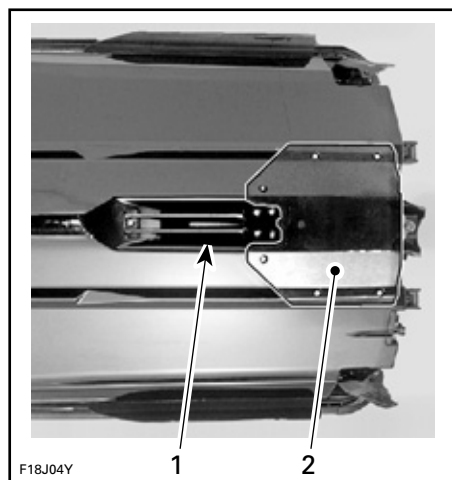
注記: 詳しい指示事項については、以下を参照してください。

船体 (ハル)

船体にひび割れや損傷がないか点検してください。

ジェットポンプウォーターインテーク

水草、貝殻、異物などを取り除いてください。これらは水の流れを妨げ、エキゾースト冷却システムや推進ユニットを損傷する可能性があります。必要に応じて清掃してください。どうしても除去できないものがある場合は、Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。



代表的な例 — これらの部分を点検

1. ウォーターインテーク
2. ライドプレート

インペラーの前縁を点検してください。この部分が欠けていたり、曲がっていたりすると、性能が大きく損なわれます。

ライドプレートからクーラントの漏れがないか点検してください。

⚠ 警告

ウォータークラフトを水から上げた状態でエンジンを回すと、ライドプレートの熱交換器がたいへん熱くなります。火傷のおそれがありますので、ライドプレートには触れないようにしてください。

ビルジ

ビルジ内に水が入っている場合は、ウォータークラフトを後ろ下がりに傾け、ドレンプラグを緩めてビルジ内を完全に排水してください。

排水を終えたら、ビルジドレンプラグをしっかりと締めてください。

⚠ 警告

ウォータークラフトを再び水に浮べる前に、すべてのドレンプラグが正しくしっかりと締まっていることを確認してください。

バッテリー

⚠ 警告

バッテリーケーブルのポストへの締め付けと、バッテリーの締め付け具の状態を確認してください。バッテリーを取り付けたまま充電またはブーストしないでください。

燃料タンク

ウォータークラフトを水平にして、指定されたレベルまでタンクに燃料を補給してください。

燃料タンクのリテーニングストラップ / 締め付け具を点検してください。

エンジンコンパートメント

⚠ 警告

燃料漏れがあったり燃料の臭気を感じられる場合は、エンジンを始動しないでください。そのまま使用せずに、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

エンジンオイルレベル

オイルレベルが燃料、オイル、クーラントのセクションで指定された適正範囲内にあることを確かめてください。またエンジンコンパートメントやエンジンからのオイル漏れがないか確認してください。

エンジンクーラントレベル

クーラントレベルが燃料、オイル、クーラントのセクションで指定された適正範囲内にあることを確かめてください。エンジン本体、ビルジ内、ライドプレートにクーラントの漏れがないか点検してください。

⚠ 警告

ウォータークラフトを水から上げた状態でエンジンを回すと、ライドプレートの熱交換器がたいへん熱くなります。火傷のおそれがありますので、ライドプレートには触れないようにしてください。

ステアリングシステム

誰かに手伝ってもらいながら、ステアリングが自由に動くことを確認します。ハンドルバーが水平（直進状態）になっているとき、ジェットポンプノズルは真直ぐな位置にあるはずですが、また、サイドペーンの後端は、およそ20°の角度でウォータークラフトの外側を向いているはずですが、ジェットポンプノズルとサイドペーンが軸を中心にスムーズに動き、ハンドルバーの操作と同じ向きに動くことを確かめてください。

⚠ 警告

エンジンを始動する前に、ハンドルバーとステアリングノズルの動きが一致していることを確かめてください。誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。ステアリング系の可動部品（ノズル、サイドペーン、リンクなど）に近づかないでください。

スロットルシステム

スロットルレバーが引っかけりなくスムーズに作動するか点検してください。レバーから手を放したときには、すぐにレバーが元の位置に戻らなければなりません。

⚠ 警告

スロットルレバーの作動の点検は、エンジンを始動する前に行ってください。

シフターシステム

リバースゲートがスムーズに作動するか点検してください。シフトレバーが前進の位置にあるとき、ゲートは上を向いており、手で下げようとしてもかなりの抵抗があるはずですが、シフトレバーがニュートラルの位置にあるとき、ゲートは中間の位置にあります。シフトレバーがリバースの位置にあると、ゲートは一番下の位置にあるはずですが、

⚠ 警告

リバースゲートの作動の確認は、エンジンを開始する前に行ってください。

VTS (可変トリムシステム) (装備されている場合)

DESS キーを取り付けてから、VTS ボタンの上下の矢印を押してみて、ノズルの作動を確認してください。VTS の作動は、インフォメーションセンターの VTS ポジションインジケーターでも確認できます。

ストレージコンパートメントカバーとシート

しっかり閉じられ、ラッチがかかっていることを確かめてください。

⚠ 警告

シートのラッチがしっかりかかっていることを確認してください。

ウエイクボードとラック (装備されている場合)

⚠ 警告

ウォータークラフトを使用する前に、ラックがウォータークラフトのボディに正しく固定されていること、およびウエイクボードがラックの正しい位置に確実に固定されていることを確認してください。ストラップに損傷などが無いことを確認してください。

DESS ポストおよびエンジン スタート/ストップボタン

シフトレバーをニュートラルの位置にします。両方のスイッチが正しく作動することを確認めます。エンジンを始動し、それぞれのスイッチを使って停止させてみます。

⚠ 警告

DESS キーのはめ合いが緩かったり、ポストから外れてしまうような場合は、危険を避けるためたぐちに DESS キーを交換してください。

排気マニホールドの冷却水 (気温が氷点下またはそれに近い場合のみ)

寒冷地において、気温が氷点下 (0°C (32°F))。またはそれに近いときにウォータークラフトを使用する場合、あるいは気温が氷点下またはそれに近い場所にウォータークラフトを置いておいた場合、排気マニホールドへ向かうサプライホースの中で水が凍結する可能性があります。これはエキゾースト冷却システムのオーバーヒートの原因になります。冷却システムを正しく作動させるため、そのような場合にはウォータークラフトを使用する前に次のような作業を行ってください:

- この作業はウォータークラフトを水から上げた状態で行います。
- ジェットポンプのフラッシングコネクタに散水用ホースをつなぎます。
- 使用後のお手入れで解説されているフラッシングの手順を実施してください。
- ジェットポンプから水が流れ出てくることを確認します。流れ出ないとすれば、サプライホースの中で水が凍結して、水の流れを妨げています。このような状態のままウォータークラフトを使用しないでください。

注記: エキゾーストアウトレットからも少量の水が流れ出ることに注意してください。水がジェットポンプから確実に流れ出ていることを確認してください。

注意: サプライホース内の水が凍ったままウォータークラフトを使用すると、エンジンのコンポーネントの損傷につながる可能性があります。

注記: 凍結した場合、水が膨張することによってエンジンのコンポーネントが損傷するおそれはありませんが、冷却水の流れが滞るために損傷の原因になることがあります。

- 氷が溶けるまで待つが、排気マニホールドへ向かっているサプライホースに少量のお湯をかけてください。その後、もう一度フラッシングを行って、ジェットポンプから正しく水が流れ出ることを確認します。それでも水が流れ出ない場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにお問い合わせください。

警告

電熱器の類を使ってホースを暖めないでください。電気器具はスパークを発生する可能性があり、気化してビルジ内に滞留した燃料がこのスパークによって燃焼し、火災や爆発を起こすおそれがあります。

- ビルジ内に水が溜まっている場合は、排水してください。

操作の説明

⚠ 警告

ウォータークラフトを使用する前に、必ず使用前の点検を実施してください。すべての操縦装置とその機能を完全に理解しておいてください。操縦装置や注意事項についてよくわからないことがある場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

作動原理

推進

エンジンはドライブシャフトに直接つながっており、このシャフトがインペラーを回転させます。インペラーはハウジングの中で精密に調整されており、ハウジングにはウォータークラフトの底から水が吸い上げられてきます。この水はインペラーからベンチュリに流れます。水流はベンチュリで加速され、ウォータークラフトを動かす推進力を生み出します。スロットルレバーを押すとエンジンの回転数が上がり、ウォータークラフトの速度も増します。



代表的な例

⚠ 警告

エンジンを始動するときには、オペレーターも同乗者も必ずウォータークラフトに正しく着座し、JCI（小型船舶検査機構）認定の体形に合った救命胴衣とウェットスーツなどの保護衣服を着用してください。

⚠ 警告

エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡んで、重大なケガを負ったり、溺れたりするおそれがあります。

ウォータークラフトを前進させるには、シフトレバーが前進の位置になっていなければなりません。

ニュートラルとリバース

⚠ 警告

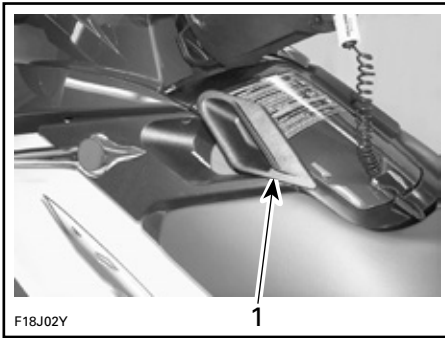
ウォータークラフトに乗り込むときに、ジェットポンプのコンポーネントを手でつかんだり、足をかけたりしないでください。シフトレバーは、エンジンがアイドル状態にあり、ウォータークラフトが完全に停止しているときにのみ操作してください。リバースでは絶対にエンジンを高回転で回さないでください。ウォータークラフトを止めるためにリバースを使わないでください。リバースは低速でのみ使用し、かつできるだけ短時間にとどめてください。後方の進路に物体や人、浅瀬で遊んでいる子供などがいないことを必ず確認してください。

ニュートラルの位置を探すには、まずリバースに入れてからウォータークラフトの後退が止まるところまでレバーを押し戻します。

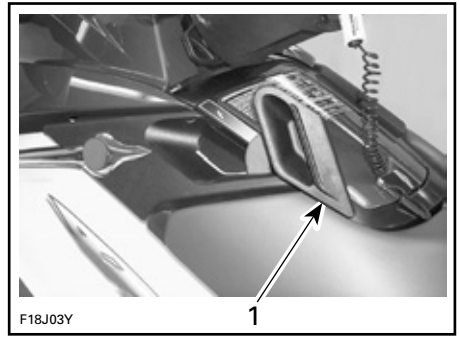
リバースゲートは中間の位置になり、推進力の半分をウォータークラフトの前方へ向けて、ウォータークラフトの動きを最小限に抑えます。

⚠ 警告

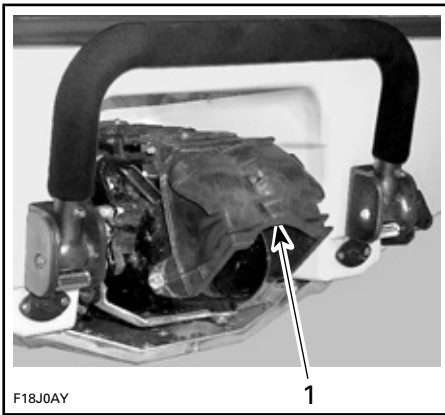
ウォータークラフトがニュートラルポジションにあるときも、ドライブシャフトとインペラーは回っています。



代表的な例
1. シフトレバーがニュートラルの位置にある

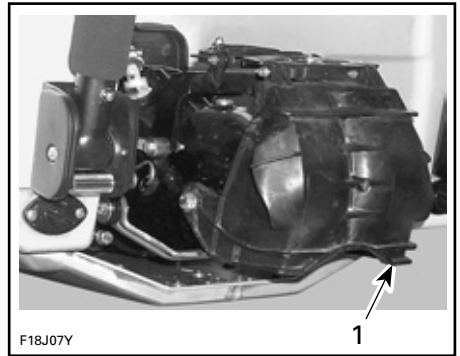


代表的な例
1. シフトレバーがリバースの位置にある



代表的な例
1. リバースゲートが中間の位置にある

リバースにするには、シフトレバーをいっぱいまで引きます。リバースゲートは下がった位置になり、推進力のすべてをウォータークラフトの前方へ向けます。

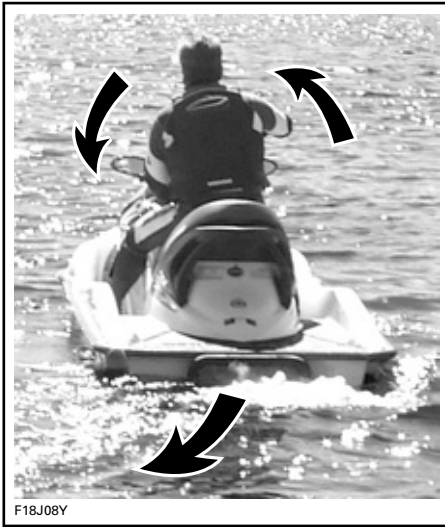


代表的な例
1. リバースゲートは下の位置にある

注記: リバースを効率よく利用し、操縦をしやすいするため、エンジンの回転数をアイドルリングよりわずかに高い程度まで上げてください。エンジンの回転数を上げすぎると、水の渦が発生してリバースの効率は低下します。

リバースポジションでは、あなたがウォータークラフトの後部を動かしたい方向と同じ方向へハンドルバーを回してください。

たとえば、ウォータークラフトの後部を左へ寄せたいときには、ハンドルバーを左へ切りります。



ウォータークラフトを初めて使うと、水面の状態はさまざまです。VTS（VTS）を操作して、エンジンを必要に応じて調整してください。最適なトリムを選択してください。低速で航行する場合は、エンジンの回転数を調整してください。最適なトリムを選択してください。

ノズルを上向きのポジションにすると、水の推進力によってウォータークラフトの船首が上を向きます。このポジションは高速で航行したい場合に用います。

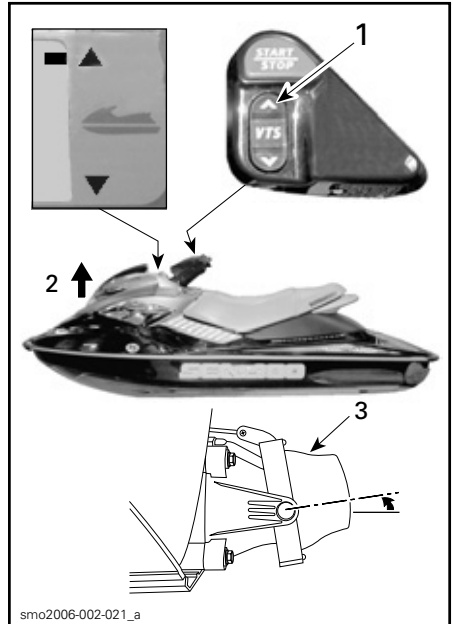
⚠ 警告

シフトレバーは、エンジンがアイドリング状態にあり、ウォータークラフトが完全に停止しているときのみ操作してください。ウォータークラフトを止めるためにリバースを使わないでください。

RXP モデル

可変トリムシステム
(装備されている場合)

可変トリムシステム (VTS) は、ジェットポンプノズルの角度を変え、荷重、推進力、ライディングポジション、水面の状態などに応じた補正をオペレーターが手早く効果的に行えるようにするシステムです。このシステムが正しく調整されていれば、ハンドリングを改善し、ポーピングを軽減し、ウォータークラフトの最良のライディング姿勢を維持して、最大限のパフォーマンスを引き出すことができます。



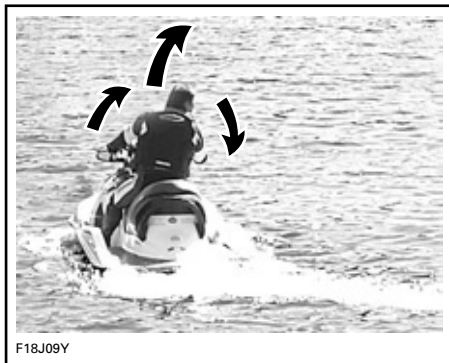
- 代表的な例
1. VTS ボタンの上向き矢印を押す
 2. パウアアップ
 3. ノズルが上を向く

注記: VTSのポジションは、インフォメーションセンターのバーゲージに表示されます。

ノズルを下向きにすると、船首は下へ押し付けられ、ウオータークラフトの旋回能力を高めます。どんなウオータークラフトでも、ターン角度と鋭さを決めると、そのスピードや動き（動作）の位置を下へ向け、それに調整すると、完全に消したりする

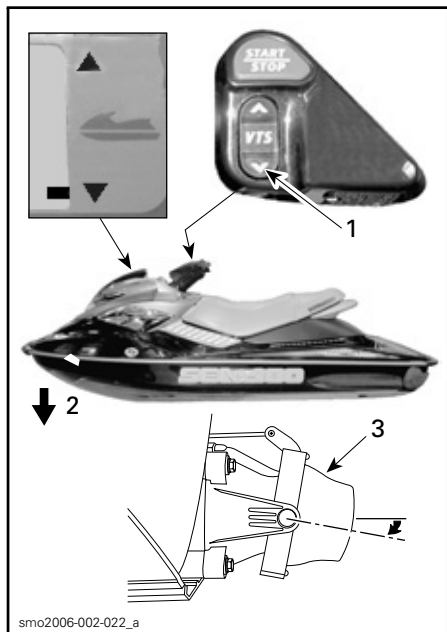
すべてのモデル

ステアリング



F18J09Y

ハンドルバーを回すと、ジェットポンプノズルが軸を中心に向きを変え、ウオータークラフトの進行方向を制御します。ハンドルバーを右に切ると、ウオータークラフトは右へ旋回し、左に切れば左に旋回します。ウオータークラフトを旋回させるときはスロットルを開いてください。



smo2006-002-022_a

代表的な例

1. VTS ボタンの下向き矢印を押す
2. バウダウン
3. ノズルが下を向く

警告

ウオータークラフトの向きを変えるには、スロットルを開いた状態でハンドルバーを回してください。ステアリング効率は、同乗者の人数、荷重、水面のコンディション、および風などの環境要因によっても変化します。

自動車とは異なり、ウオータークラフトを旋回させるにはある程度スロットルを開く必要があります。安全な場所でスロットルを開けながら旋回して、想像上の物体を回避する練習を行ってください。これは衝突を避けるための大切なテクニックです。

警告

スロットルを戻したりエンジンを止めたりすると、ウオータークラフトの進路を制御しにくくなります。

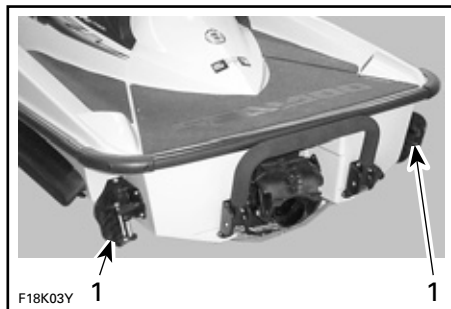
同乗者が乗っている乗艇は、乗艇者が高速度で航行している場合、急旋回を避けるべきです。乗艇者は、乗艇者の乗艇を避けるべきです。乗艇者は、乗艇者の乗艇を避けるべきです。乗艇者は、乗艇者の乗艇を避けるべきです。

注意: 注意: 内燃機関の運転には空気が必要です。したがって、このウォータークラフトを完全防水にすることはできません。例えばフィギュアキックなどのようにアッパーデッキが水没するような機動は、水の吸入による重大なエンジントラブルの原因になることがあります。このガイドの特殊な手順と限定保証を参照してください。

オフパワーアシステッドステアリングシステム (O.P.A.S.)

オフパワーアシステッドステアリングシステム (O.P.A.S.) は、2枚のサイドベーンを用いて減速時のウォータークラフトのステアリングをアシストし、スロットルを戻したりエンジンを止めたりした後、ステアリングを切った方向へウォータークラフトを導きます。

船体の後部両側面にあるサイドベーンは、ステアリングの操作に合わせて向きを変え、ウォータークラフトの旋回をアシストします。最初は慎重にターンをしながら、このシステムに慣れてください。

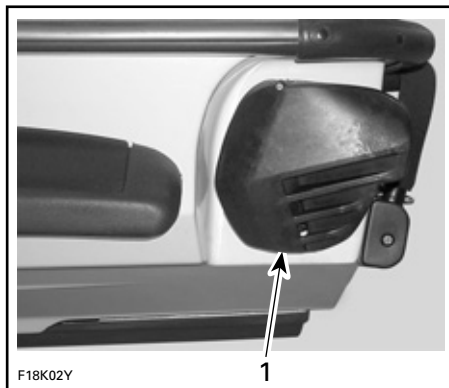


代表的な例
1. サイドベーンがステアリングの操作によって動く

スライディングサイドベーン付きのモデル (O.P.A.S. システム)

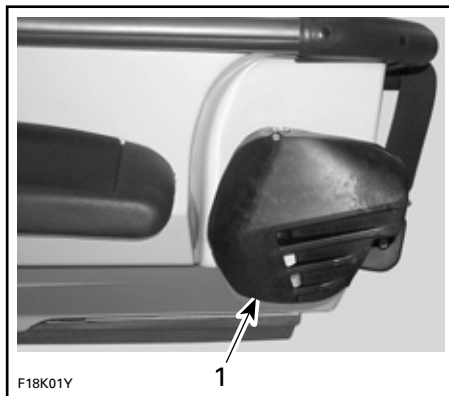
サイドベーンがステアリングの操作によって動くエンジンが最高回転数の75%以上で回っているとき、サイドベーンは自動的に上の位置に上がります。このような速度域ではサイドベーンを必要としないからです。

最高回転数の30%から75%の間では、サイドベーンが下の位置から徐々に上の位置へと上がってきます。



1. 上の位置にあるサイドベーン

スロットルを戻してエンジン回転数が落ちると、サイドベーンが自動的に下がってステアリングによる方向の制御をアシストします。



1. 下の位置にあるサイドベーン

すべてのモデル

ウォータークラフトへの乗船

一般的事項

どんなウォータークラフトにも言えることですが、エンジンが回っていない状態で、慎重に乗り込むようにしてください。

⚠ 警告

どんなウォータークラフトにも言えることですが、エンジンが回っていない状態で、慎重に乗り込むようにしてください。ジェットノズルやインターグレートに足を近づけないでください。ステップの中央に乗ってください。2人以上が同時にステップを使用しないでください。牽引、曳航、潜水や飛び込み、水から上がっているときのウォータークラフトへの乗り込みなど、ボーディングステップの本来の目的以外には使用しないでください。

ステップを使うと乗り込みが楽になります。

⚠ 警告

経験の浅いオペレーターは、水深の深いところへ出る前に岸の近くで水中から乗船する方法（ここで解説するすべての方法）を練習してください。

⚠ 警告

ウォータークラフトに乗り込むときに、ジェットポンプのコンポーネントやサイドペーンで体を支えないでください。

棧橋または水深の浅いところでの乗船
棧橋から乗り込むときは、ウォータークラフトの棧橋に近い方のフットボードに一方の足をゆっくりと置き、ハンドルバーを押さえながら、もう一方の足に体重をかけてウォータークラフトを安定させます。続いて、シートを跨ぐようにして、もう一方の足を反対側のフットボードに移してください。棧橋を押して、ウォータークラフトを棧橋から離れさせます。

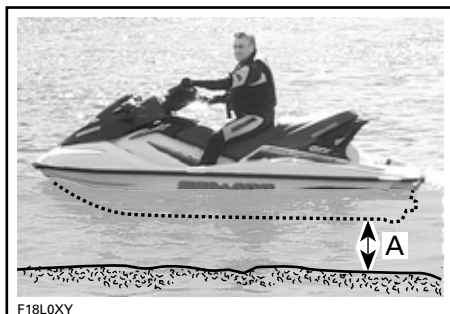


水深の浅いところでは、ウォータークラフトの側面または後部から乗り込んでください。

船体後部の一番低いところの下に少なくとも 90 cm (3 ft) の水深があることを確かめてください。

すべての同乗者が乗り込むと、水上では船体が沈むことも考慮してください。ジェットポンプが砂や小石を吸い込んでしまわないように、必ずこの指定された水深を保つようにしてください。

注意：注意：水深の浅いところでウォータークラフトのエンジンを始動したり、航行したりすると、砂や小石などがジェットポンプに吸い込まれて、インペラーやポンプのその他のコンポーネントを損傷するおそれがあります。

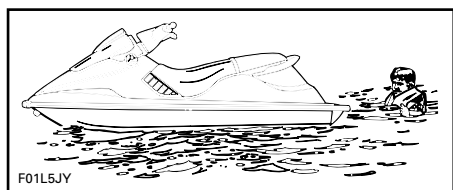


- A. すべての同乗者が乗り込んだとき、船体後部の最も低い場所の下に少なくとも 90 cm (3 ft) の水深を保つこと

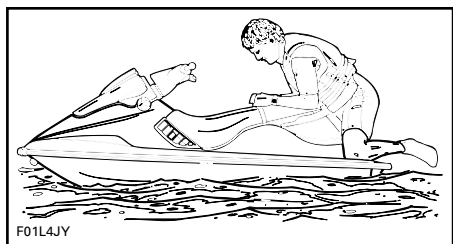
水深の深いところでの乗船

オペレーターだけのとき

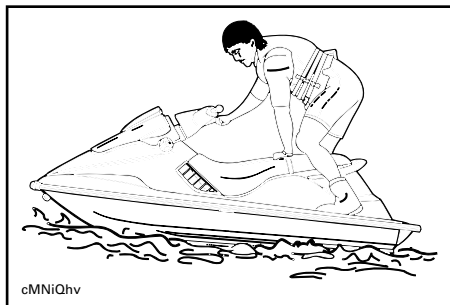
ウォータークラフトの後ろまで泳いでいきます。



グラブハンドルをつかみ、ボーディングプラットフォームに膝が乗るところまで体を引き上げます。次にシートストラップをつかみます。



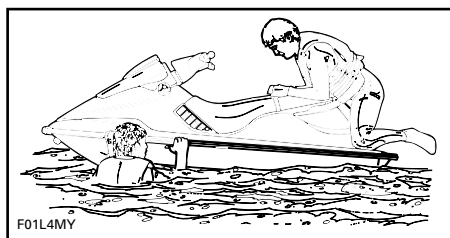
バランスを保ちながら、両足をフットボードまでもっていきます。



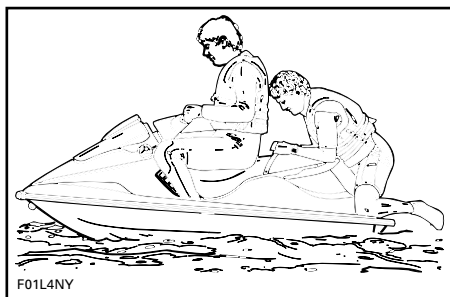
シートを跨いで座ってください。

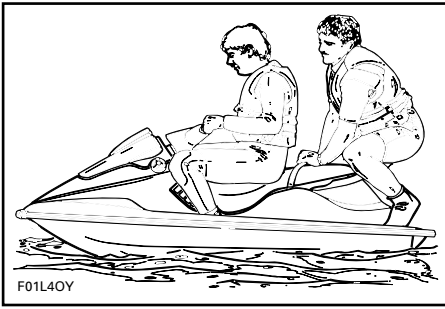
オペレーターと同乗者が乗り込むときまず、先に説明したのと同じ方法でオペレーターがウォータークラフトに上がります。

波が荒いときは、水中にいる同乗者がウォータークラフトを支えて、オペレーターの乗り込みを助けてあげるとよいでしょう。



続いて同乗者がウォータークラフトに乗り込みます。このとき、オペレーターはできるだけコンソールの近くに座ってバランスを保ってください。





エンジンの始動

準備

ウォータークラフトをトレーラーから降ろす前に、正しく作動することを確認するため、一度エンジンをかけて10秒ほど回してみてもよいでしょう。

警告

エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。エンジンが回っている間は、電気系の部品やジェットポンプまわりに触れないでください。

セイフティランヤードをオペレーターの救命胴衣に留め、DESS キーをポストにはめ込んで、エンジンを始動してください。

注記: 注: ここでDESSシステムが2回の短いピープ音以外の警告音を発した場合は、何か修正されるべき問題があることを示しています。トラブルシューティングのセクションのコード化された信号音の意味を参照してください。

警告

エンジンを始動する前に、オペレーターも同乗者も必ず正しく着座してください。

シフトレバーをニュートラルの位置にして、

左手でハンドルバーをしっかりと握り、両足をフットボードに置いてください。

注意: 注意: エンジンを始動する前に、すべての同乗者が乗り込んだ状態で船体後部の最も低い場所の下に少なくとも90 cm (3 ft) の水深があることを確認してください。水深が浅すぎると、インペラーまたはその他のジェットポンプのコンポーネントが損傷するおそれがあります。急発進しないでください。

エンジンを始動するには、エンジンスタート/ストップボタンを押し、かかるまで押したままの状態を保ちます。エンジンを始動するため、次の手順に従ってください。

10秒ほど経ってもエンジンがかからない場合は、2、3秒待ってから再び手順を繰り返してください。

注意: 注意: スターターの過熱を避けるため、スタート/ストップボタンは30秒以上押し続けしないでください。クラッキングの間の待ち時間を守り、スターターの熱を冷ましてください。バッテリーが放電してしまわないように注意してください。

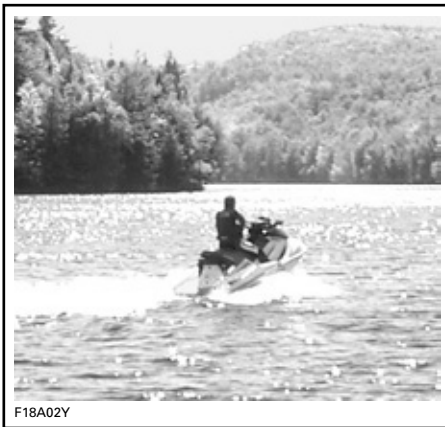
エンジンを始動するには、エンジンスタート/ストップボタンを押し、かかるまで押したままの状態を保ちます。

エンジンが冷えているとき / 暖まっているとき

冷えたまたは熱いエンジンを始動するために、スロットルレバーを押さないでください。

ライディング

水深の深いところに出るまでゆっくりと加速してください。エンジンが暖まるまではスロットルを全開にしないでください。



注意: 水草の多い場所でのウォータークラフトの使用は避けてください。どうしても避けられない場合は、ウォータークラフトの速度を変化させながら通過してください。

ウエイクボードラック

⚠ 警告

ウエイクボードやラックを取り付けた場合は、特に注意を払う必要があります。

- スピニアウトなどの激しい機動を行わないでください。
- 波を乗り越えるときにジャンプしないでください。
- 常識を働かせ、スピードを制限してください。

こうした点への注意を怠ると、ウエイクボードが外れたり、振り落とされた乗員がウエイクボードまたはラックにぶつかってケガをするおそれがあります。

波の荒いときや視界の悪いときの航行

このように条件の悪いときはできるだけ航行を避けてください。どうしても航行しなければならない場合は、最低限の速度で十分に警戒しながら慎重に進んでください。

波を横切るとき

速度を落としてください。

必要に応じていつでもステアリングを操作し、バランスを取れるよう構えてください。

他の船の航跡を横切るときは、必ず先行するウォータークラフトとの間に安全な距離を保ってください。

⚠ 警告

航跡を横切るときは十分に速度を落としてください。オペレーターと同乗者がわずかに腰を浮かせる姿勢を取ると、揺れに備えることができず、波や航跡でジャンプしないでください。

停止 / ドック入れ

ウォータークラフトは水の抵抗によって減速します。停止距離はウォータークラフトのサイズ、重量、速度、水面の状況、風や潮流の有無とその向きによって変わってきます。



オペレーターはさまざまな条件下での停止距離を熟知していなければなりません。

予定の上陸地点から逆算して、十分に手前からスロットルを戻してください。

アイドリング状態まで減速します。

必要に応じて、ニュートラル、リバース、または前進にシフトしてください。

⚠ 警告

スロットルを戻したりエンジンを止めたりすると、ウォータークラフトの進路を制御しにくくなります。

浜辺に乗り上げるとき

注意: ウォータークラフトを直に浜辺に乗り上げるのはお勧めできません。

ゆっくりと浜辺に近づき、船体後部の最も低い場所下の水深が 90 cm (3 ft) くらいになる前に、DESS キーを使ってエンジンを止めます。そこから浜まではウォータークラフトを引いて運んでください。

注意: 水深が浅すぎる場所でウォータークラフトを走らせると、インペラーまたはその他のジェットポンプのコンポーネントが損傷するおそれがあります。



F18A03V

注意: ウォータークラフトを浜辺に止めておく場合は、船体の揺れによってサイドペーンが地面に擦れたり、打ちつけられたりしないように注意してください。O.P.A.S. システムのコンポーネントを損傷する可能性があります。

エンジンの停止

ウォータークラフトの方向制御を維持するため、ウォータークラフトがアイドリングの速度になるまで、エンジンを止めないでください。

エンジンを止めるには、スタート / ストップボタンを押します。エンジンが止まったら、DESS キーをポストから外してください。スロットルレバーはボタンを押す前に戻しておきます。

エンジンを停止させるには、エンジンスタート / ストップボタンを押すが、ウォータークラフトから DESS キーを外してください。

⚠ 警告

エンジンが停止すると、ウォータークラフトの進路を制御しにくくなります。ウォータークラフトを使用しないときは、誤ってエンジンを始動したり、子供や他人が許可なく使用したり、盗まれたりしないように、必ず DESS キーをポストから外してください。

使用後のお手入れ

警告

メンテナンス作業を行う前に、十分にエンジンの熱を冷ましてください。

船体の手入れ

海洋微生物などの繁殖を防ぐため、ウォータークラフトは毎日水から上げてください。

船体内に水が入った場合は、ドレンプラグを緩め、ウォータークラフトを後ろ下がりに傾けて排水してください。

エンジンコンパートメント内（ビルジ、エンジン、バッテリーなど）に残っている水やその他の液体は、乾いたきれいなウエスで拭き取ってください（塩水で使用している場合は、これが特に重要です）。

泥水や塩水で使用した場合の手入れ

ウォータークラフトを泥水や特に塩水で使用した場合は、ウォータークラフトとそのコンポーネントを保護するため、さらに追加の手入れを行う必要があります。

10時間使用毎にスロットルボディに注油することは大切です。手順についてはメンテナンスセクションを参照してください。

ウォータークラフトのビルジ部分を真水で洗い流してください。

ビルジ部分を洗うために高圧洗浄器を使用しないでください。水圧を低めて使用してください（散水用ホースのように）。

高圧の水は電気や機械システムの損傷につながる可能性があります。

注意: 次のような適切な手入れを行わないと: ウォータークラフトを塩水で使用した場合は、ウォータークラフトの洗浄、冷却システムのフラッシング、防蝕処理などを行わないと、ウォータークラフトとそのコンポーネントの損傷につながります。また、直射日光の当たる場所にウォータークラフトを保管しないでください。

エキゾースト冷却システムのフラッシング

一般的事項

真水によるエキゾースト冷却システムのフラッシングは、水に含まれる塩分やその他の化学物質による腐食効果を中和するために必要不可欠です。また、これによつてウォータージャケット、および/またはホース内の砂、塩、貝殻などの異物がある程度まで取り除くこともできます。

フラッシングの作業は、その日はもうウォータークラフトを使用しないと思われるとき、またはウォータークラフトを長期にわたって保管するときに実施してください。

警告

この作業は換気のよい場所で行ってください。

次の手順に従ってください:

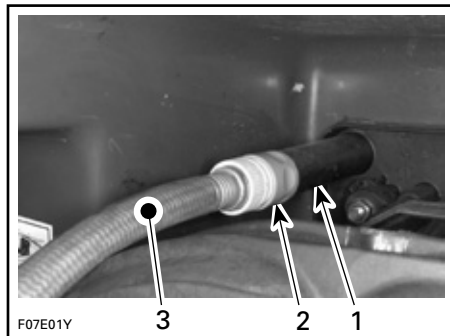
ジェットポンプのインレットとアウトレットに水を吹きかけて洗い、その後でXP-S ループコーティング剤または同等品を塗布してください。

警告

ウォータークラフトを水から上げた状態でエンジンを回すと、ライドプレートの熱交換器がたいへん熱くなります。火傷のおそれがありますので、ライドプレートには触れないようにしてください。

ウォータークラフト後部のジェットポンプサポートにあるコネクタに、散水用ホースを接続してください。まだ水栓は開かないでください。

注記: オプションのクイックコネクタアダプターを使用できます。(P/N 295 500 473)。エンジンのフラッシングには、ホースピンチャーは必要ありません。



代表的な例

1. ホースアダプター
2. クイックコネクタアダプター (オプション、必ずしも必要ありません)
3. 散水用ホース

フラッシング

エキゾースト冷却システムのフラッシングを行うには、まずエンジンをかけてから、その後ただちに水栓を開いてください。

警告

エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。エンジンが回っている間は、電気系の部品やジェットポンプまわりに触れないでください。

注意: まだエンジンが冷えていない場合はフラッシングを行わないでください。必ずエンジンを始動してから、水栓を開けてください。オーバーヒートを防ぐため、エンジンがかかったらすぐに水栓を開けてください。

エンジンを4000 ~ 5000 RPM のファーストアイドルで約20秒間回します。

注意: ウォータークラフトを水から上げている場合、エキゾースト冷却システムに水を供給せずにエンジンをかけないでください。

フラッシングを行っている間、ジェットポンプから水が流れ出てくることを確認してください。水が出て来ない場合は、Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

注意: エンジンを5分間以上回さないでください。ウォータークラフトが水から上がっているときは、ドライラインシールが冷却されないためです。

先に水栓を開けてから、その後エンジンを止めます。

注意: 必ず水栓を開けてから、エンジンを止めてください。

注意: フラッシングの作業を終えたら、クイックコネクタアダプターを取り外してください (使用した場合)。

防蝕処理

腐食を防ぐため、エンジンコンパートメント内の金属製コンポーネントには、XP-S ルーブ潤滑剤または同等品などの腐食防止剤 (耐塩水性) をスプレーしてください。

バッテリーポストとケーブルコネクタには、誘電性グリース (耐塩水性) を塗布してください。

注意: エンジンコンパートメントやビルジ内にウエスやツールなどを置き忘れないようにしてください。

特殊作業の手順

モニタリングシステム

ウォータークラフトをより快適にお使いいただくため、EMS（エンジン管理システム）の電子部品とその他の電気系コンポーネントは、システムによってモニターされています。何らかの故障が起これば、システムはインフォメーションセンターに視覚的メッセージを表示したり、あるいはピープ音による警告を行って、ある特定の状態が生じていることを知らせます。表示されるメッセージについてはインフォメーションセンターを、ピープ音のコード化された信号の意味についてはトラブルシューティングのセクションを参照してください。

軽度の故障が起きた場合、その故障状態が存在しなくなると、故障メッセージ / 警告音は自動的に解除されます。

スロットルを完全に戻してエンジン回転数がアイドリングまで落ちると、通常の作動に復帰する場合があります。それでも復帰しない場合は、いったんDESSキーをポストから外して、取り付け直してみてください。

電子システムは故障の種類によって異なる対応をします。重大な故障の場合は、エンジンが再始動できなくなるかもしれません。その他の場合には、エンジンは応急帰還モードで作動します。下記を参照してください。

故障が起きた場合は、できるだけ早くSea-Doo認定ディーラーを訪れ、点検を受けてください。

応急帰還モード

電子コンポーネントが正しく作動していない場合、上記の各シグナルとは別に、EMSが自動的にデフォルトパラメーターを設定して、ウォータークラフトをとりあえず航行できるようにすることがあります。

その故障の重大さによっても異なりますが、この機能が働くと通常よりウォータークラフトの速度が低下したり、最高速度に達しない場合があります。

このモードでは、エンジン回転数を上げてウォータークラフトを帰還させようとするとき、スロットルレバーをきわめてゆっくり押さなければならないこともあります。

このように性能を制限するモードは、こうした高度なシステムがなければその場で救援を待つしかないオペレーターを自力で帰還させるためのものです。

エンジンのオーバーヒート

注意: モニタリングシステムのブザーが鳴り続ける場合は、ただちにエンジンを止めてください。

クーラントレベルの点検燃料、オイル、クーラントを参照してください。それでもエンジンのオーバーヒートが続くようであれば、次の手順に進んでください。

このセクションで解説されているジェットポンプウォーターインタークとインペラーの清掃を実施してください。

岸に戻ったら、冷却システムのフラッシングを行います。使用後のお手入れを参照してください。

それでもエンジンのオーバーヒート状態が解消されなければ、Sea-Doo認定ディーラーに整備を依頼してください。

エンジンの油圧が上がらない

注意: モニタリングシステムのブザーが鳴り続ける場合は、ただちにエンジンを止めてください。

できるだけ早くエンジンを止めてください。オイルレベルを点検し、必要があればオイルを補給します。

エンジンを再始動してください。これでも油圧が上がらない場合は、それぞれ以上エンジンを回さないでください。Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

注意：油圧が低下したままエンジンを回し続けると、エンジンに重大な損傷を及ぼす可能性があります。

ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃

⚠ 警告

エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡んで、重大なケガを負ったり、溺れたりするおそれがあります。

水草、貝殻、あるいはその他の異物が、インテークグレート、ドライブシャフトおよび / またはインペラーに引っかかったり、絡んだりすることがあります。ウォーターインテークが詰まると、次のようなトラブルの原因になります：

- キャビテーション：推進力が低下するため、エンジンの回転を上げてもウォータークラフトが低速でしか進まず、ジェットポンプのコンポーネントを損傷するおそれがあります。
- オーバーヒート：エキゾーストシステムを冷却する水の流れはジェットポンプの作動に依存しているため、インテークが詰まるとエンジンのオーバーヒートの原因になり、エンジン内部の部品が損傷するおそれがあります。

水草が詰まった部分は、次のような手順で清掃することができます：

水中での清掃

エンジンが始動しない程度にエンジンスタート / ストップボタンを瞬間的に繰り返して押しながら、ウォータークラフトを左右に数回揺さぶります。大半の場合は、これで詰まりが解消されるはずですが、エンジンが始動して、ウォータークラフトが正常に作動するか確認してください。

これでも詰まりが解消されない場合は、ウォータークラフトをいったん水から上げて、手作業で詰まったものを取り除いてください。

また、上記の方法で効果がなければ、次のような方法も試してみてください：

- エンジンがかかっている状態で、スロットルを開ける前に、シフトレバーをリバーズのポジションに入れ、すばやく数回スロットルをおおってみる。
- 必要に応じて、この手順を繰り返す。

陸上での清掃

⚠ 警告

ジェットポンプまわりの清掃を行う場合は、誤ってエンジンを始動してしまわないように、必ず DESS キーをポストから取り外してください。

清掃のためウォータークラフトを横倒しにしたときにキズがつかないように、ウォータークラフトの脇に厚紙がカーペットを敷きます。

清掃のためにウォータークラフトを左右どちらかに回転させるように傾けます。



F18L13Z

代表的な例

ウォーターインテークまわりを清掃してください。それでもシステムの詰まりが解消されない場合は、Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

注意: 清掃と併せて、ウォーターインテークグレートに損傷がないか点検してください。その必要があれば、Sea-Doo 認定ディーラーに修理を依頼してください。

ウォータークラフトが 転覆したとき

ウォータークラフトは簡単には転覆しないように設計されています。また、船体の両サイドにはスポンソン（浮き）が取り付けられており、ウォータークラフトの安定性をさらに高めています。ただし、一度転覆してしまうと、自力では復帰しません。

警告

ウォータークラフトが転覆しているときは、エンジンの再始動を試みないでください。オペレーターと同乗者は認定された救命胴衣を着用してください。

ウォータークラフトを正立状態に戻すには、まずエンジンが止まっていること、DESS キーがポストから外れていることを確かめてから、インレットグレートをつかみ、バンパーレールに足をかけ、体重を利用してウォータークラフトをどちらかの方向へ回転させてください。

4-TEC エンジンは転覆時保護システム (T.O.P.SM) を備えています。ウォータークラフトが転覆すると、エンジンが自動的に停止し、続いてバルブを閉じて吸気システムにエンジンオイルが逆流するのを防ぎます。

これにより、ウォータークラフトが本来の姿勢に戻ったときには、通常通りにエンジンを始動することができます。

注意: ウォータークラフトが 5 分以上転覆していた場合は、水を吸い込んでエンジンが損傷するのを避けるため、クランキングを試みないでください。できるだけ早く Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

注意: エンジンがクランキングをしない場合は、それ以上エンジンの再始動を試みないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。できるだけ早く Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

できるだけ早いうちにビルジ内に水が入っていないか点検してください。岸に戻ったら、必要に応じてビルジ内の排水を行います。

ウォータークラフトが 水没したとき

エンジンの損傷を最小限にとどめるため、できるだけ早いうちに次の手順を行ってください。

ビルジの排水を行ってください。

塩水に沈んだ場合は、散水用ホースを使ってビルジとすべてのコンポーネントを真水で洗い流し、塩水による腐食を防いでください。

注意: エンジンのクランキングや始動を試みないでください。吸気マニホールドに溜まった水がエンジンに流れ込んで、エンジンの重大な損傷の原因になることがあります。

できるだけ早くウォータークラフトを Sea-Doo 認定ディーラーに持ち込んで、整備を依頼してください。

注意: 整備を受けるまでに経過した時間が長ければ長いほど、エンジンの損傷はひどくなります。

エンジン内に水を吸い込んだとき

注意: エンジンのクランキングや始動を試みないでください。吸気マニホールドに溜まった水がエンジンに流れ込んで、エンジンの重大な損傷の原因になることがあります。

できるだけ早くウォータークラフトを Sea-Doo 認定ディーラーに持ち込んで、整備を依頼してください。

注意: 整備を受けるまでに経過した時間が長ければ長いほど、エンジンの損傷はひどくなります。また、適切なエンジンの整備を受けないと、エンジンの重大な損傷の原因になることがあります。

プラグがかぶってしまったとき

何度か試みてもエンジンが始動しない場合は、プラグがかぶった可能性があります。次の手順に従ってください。

エンジンをクランキングするときに燃料が噴射されるのを防ぎ、点火をカットするために、次の手順を行ってください。

エンジンが止まっている状態でスロットルレバーをいっぱいまで押し、クランキングをしている間、スロットルを開いたままで保持します。

エンジンのクランキングを数回行ってください。

それでもかからない場合:

エンジンカバーを引き上げて、取り外します。

イグニッションコイルのコネクターを外してください。

警告

イグニッションコイルとスパークプラグの接続を外すときは、必ずメイルハーネスとイグニッションコイルの接続を先に外してください。エンジンコンパートメント内では、外したイグニッションコイルおよび/またはスパークプラグから火花が飛ぶかどうかを確かめないでください。気化した燃料がスパークで爆発するおそれがあります。

イグニッションコイルを取り外してください。

注意: スパークプラグを取り外す前に、スパークプラグホールにゴミなどがないことを確かめてください。スパークプラグホールからシリンダーにゴミなどが落ちると、エンジン内部の部品が損傷します。

スパークプラグを取り外してください。

注記: スパークプラグを緩めた後、イグニッションコイルを使ってスパークプラグを取り出すことができます。イグニッションコイルをプラグホールに差し込み、スパークプラグを“釣り上げる”ように取り出してください。

可能であれば新しいスパークプラグを用意するが、ウエスを使ってスパークプラグを乾かしてください。

スパークプラグホールをウエスなどでカバーします。

スロットルを全開にしたまま、エンジンを数回クランキングします。

スパークプラグとイグニッションコイルを元通りに取り付けます。可能であれば、きれいで乾燥したスパークプラグを取り付けてください。イグニッションコイルコネクターを元通りに接続してください。

注記: イグニッションコイルを取り付ける前に、スパークプラグホールに触れるシール部分周辺にモリコート 111 グリース(P/N 413 707 000)を少量塗布します。取り付けした後、シールがエンジン上面に正しく納まっていることを確認してください。

エンジンカバーを取り付け、スナップ音が聞こえるまで押し下げてください。

前述の手順に従って、エンジンを始動してください。やはり同じようにプラグがかぶってしまう場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

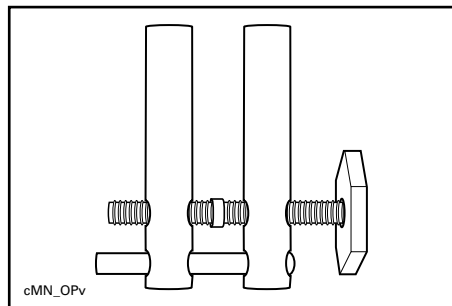
注意: ウォータークラフトを水から上げている場合、エキゾースト冷却システムに水を供給せずにエンジンをかけないでください。

水上でのウォータークラフトの曳航

Sea-Doo ウォータークラフトを水上で曳航するには、いくつかの特別な注意を払う必要があります。

推奨される最大曳航速度は 24 km/h (15 MPH)です。

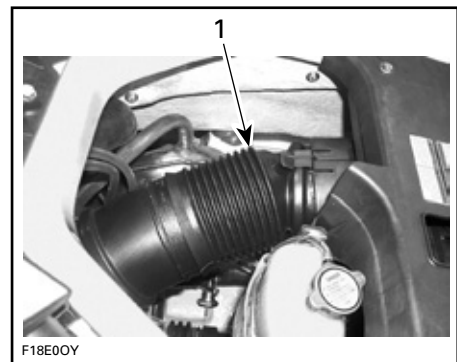
あなたのウォータークラフトを水上で曳航する場合は、大型ホースピンチャーを使って、インペラーハウジングからエキゾーストマニホールドにつながるウォーターサプライホースをつまんでください。(P/N 529 032 500)。



これによって、エキゾースト冷却システムに水が入り、さらにその水がエンジンに流れ込んで溜まってしまふのを防ぐことができます。エンジンを回っていないときは排気の圧力がなく、エキゾーストアウトレットから水を排出できないためです。

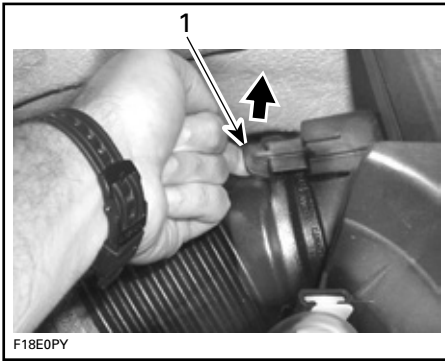
注意: これを行わないとエンジンに損傷を及ぼすおそれがあります。自力で動けなくなったウォータークラフトを曳航しなければならないとき、手元にホースピンチャーがない場合は、最大曳航速度の 24 km/h (15 MPH) よりずっと低い速度を維持してください。

ホースへのアクセスを容易にするため、一時的にベントチューブを外しても差し支えありません。



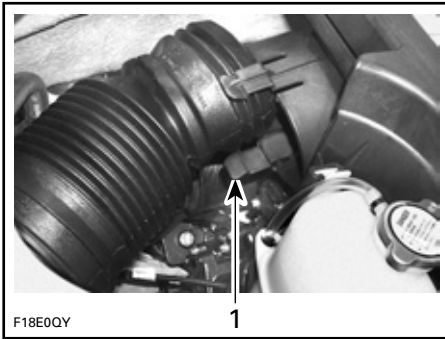
1. ベントチューブ

ロックタブを持ち上げ、そのタブを押えたままチューブを引いて外します。



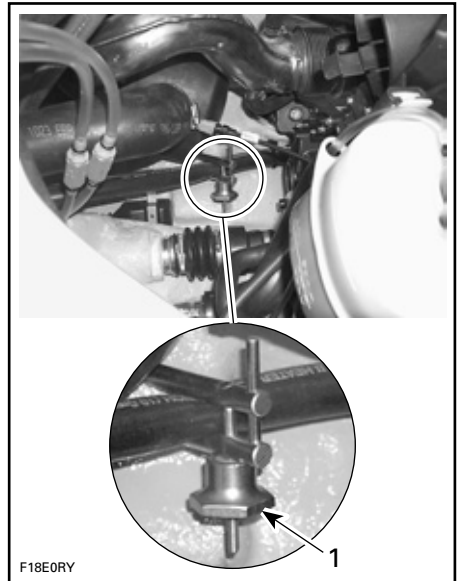
1. ロックタブを上げる

続いてチューブ下側のタブも同じようにして外します。下の写真を参照してください。



1. チューブの下にあるもうひとつのロックタブ

写真に示すように、給水ホースにホースピンチャーを確実に取り付けます。



代表的な例

1. ホースピンチャー

注記: ウォーターサプライホース上の赤いテープはピンチするホースを示します。

注意: ウォータークラフトの曳航が終わったら、再び使用する前に必ずホースピンチャーを外してください。これを外し忘れるとエンジンに損傷を与えます。

ホースピンチャーを外したら、バントチューブを元通りに取り付けてロックします。チューブを押し込んだときにパチンという音が聞こえるはずです。この音でロックされたかどうかを確認できます。

バッテリーの電圧低下

Sea-Doo 認定ディーラーにて、バッテリーの充電または交換を行ってください。

 **警告**

バッテリーをウォータークラフトに取り付けたまま、充電またはブーストしないでください。電解液は有毒で危険です。目に入らないように、また皮膚や衣服に触れないように注意してください。

トラブルシューティング

以下のチャートは、簡単なトラブルの原因を診断するときに役立つよう作られたものです。こうしたトラブルの多くは比較的簡単にご自身で解決できますが、整備技術者の専門的スキルが必要な場合もあります。そのような場合には、Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

注記: ここで使われている略語の定義については、巻末のこのマニュアルで使われている略語を参照してください。

モニタリングシステムのコード化された信号

注記: ビープ音が鳴ったときは、インフォメーションセンターに表示されるメッセージも確認してください。その問題についてより詳しい情報を得るのに役立ちます。インフォメーションセンターを参照してください。

コード化された信号	考えられる原因	対策
1 回の長いビープ音 (DESS キーをウォータークラフトのポストに取り付けているとき)。	DESS システムの接続不良。	DESS キーをポストに取り付けます。
	DESS キーが間違っています。	そのウォータークラフト用にプログラムされた DESS キーを使用してください。
	DESS キーの異常。	プログラムされた別の DESS キーを使用してください。
	DESS キーに塩水が入り、乾いて塩の結晶ができています。	DESS キーを清掃して、塩を取り除いてください。
	DESS ポストの異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	ECM の誤作動または配線ハーネスの異常。	
1 回の短いビープ音の後に 1 回の長いビープ音。	ECM が誤って診断機能モードに入った。	DESS キーをいったん外して、再度付け直してください。
3 秒間隔で 4 回の短いビープ音が 4 時間続く。	エンジンをかけないまま、またはエンジンが停止した後、DESS キーがポストに取り付けられたままになっている。	バッテリーの放電を防ぐため、DESS キーをポストから外してください。
15 分間隔で 2 秒間のビープ音。	ウォータークラフトが上下逆さまになっている。	ウォータークラフトを正しい向きにしてください。特殊な手順を参照してください。
	エンジンマネージメントシステムの異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

コード化された信号	考えられる原因	対策
5 分間隔で 2 秒間のピープ 音。	燃料残量が少ない。	燃料の補給。問題が解消されない場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	燃料タンクのレベルセンサー または回路の異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
ピープ音が鳴り続ける。	エンジンクーラントの温度 が高い。	エンジンのオーバーヒートの項を参照してください。
	排気温度が高い。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

インフォメーションセンターのメッセージ

症状	考えられる原因	対策
インフォメーションセンターに「理解できない略語のメッセージが表示される。」	何らかの有用な航行情報メッセージ、またはエンジンマネジメントシステム異常を示すメッセージ。	操縦装置、各コンポーネントと計器類の機能のインフォメーションセンターの項を参照してください。

エンジンが始動しない

その他の症状	考えられる原因	対策
エンジンがまったく回らない。	DESS キーが外れている。	DESS キーをポストに取り付けます。
	ECM が DESS キーを認識しない。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	ウォータークラフトが転覆した。	特殊な手順のウォータークラフトが転覆したときを参照してください。
	ヒューズが切れている:メイン、電気スターター、または ECM。	配線を点検し、ヒューズを交換してください。
	バッテリーが放電しています。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	バッテリー接続部の腐食または緩み。 アース不良	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	エンジンが水を吸った。	特殊な手順のエンジンが水を吸い込んだときを参照してください。

エンジンが始動しない (続き)

その他の症状	考えられる原因	対策
エンジンがまったく回らない。	センサーまたは ECM の異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	エンジンが焼き付いている。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	ジェットポンプが回らない。	異物を取り除いてみてください。異物が絡んだのではない場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
エンジンがゆっくりとクランキングする。	バッテリーケーブルの接続が緩んでいる。	点検 / 清掃 / 締め付けを行ってください。
	バッテリーが放電しているが、弱っています。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	スターターが弱っている。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
エンジンがクランキングする。	燃料タンクに燃料が入っていない、または水が混入している。	燃料を補給してください。残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を入れてください。
	スパークプラグが汚れている、またはプラグの異常。	交換します。
	プラグがかぶっている。	特殊な手順のプラグがかぶってしまったときを参照してください。
	エンジンが水を吸った。	特殊な手順のエンジンが水を吸い込んだときを参照してください。
	エンジンマネージメントシステム内の部品またはその接続の異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	燃料ポンプの接続が外れている、またはポンプの異常。	燃料ポンプのコネクターをつなぎ直してみてください。Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	ヒューズが切れている。	配線を点検し、ヒューズを交換してください。

エンジンのミスファイア、燃料噴射の不良、不安定な回転

その他の症状	考えられる原因	対策
点火火花が弱い。	スパークプラグがかぶっている / プラグの異常 / 電極の摩滅。	交換します。
	イグニッションコイルまたはECMの異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
燃料のミクスチャーが薄い。	燃料:残量が少なすぎる、または燃料が古くなっているか水が混入している。	残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を補給してください。
	インジェクターの詰まり。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	センサーまたはECMの異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
燃料のミクスチャーが濃い (燃料消費量が多い)。	センサーまたはECMの異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

エンジンから煙が出る

その他の症状	考えられる原因	対策
	オイルレベルが高すぎる。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	エンジン内部の損傷。	
	水の吸い込み、クーラントの漏れ、損傷したシリンダーヘッドガスケット	

エンジンのオーバーヒート

その他の症状	考えられる原因	対策
	エンジンクーラントのレベルが低すぎる。	燃料、オイル、クーラントを参照してください。
	ジェットポンプのウォーターインテークが詰まっている。	清掃してください。
	エキゾースト冷却システムが詰まっている。	エキゾースト冷却システムのフラッシングを行ってください。
	フラッシングコネクタにクイックコネクトアダプターが取り付けられたままになっている。	フラッシングコネクタからアダプターを外して、もう一度ウォータークラフトを走らせてみます。問題が解消されない場合は、SEA,DOO 認定ディーラーにご相談ください。

エンジンのピンギングまたはノッキング

その他の症状	考えられる原因	対策
	Knock センサーの異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

エンジンの加速力やパワーが不足している

その他の症状	考えられる原因	対策
	オイルレベルが高すぎる。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	点火火花が弱い。	エンジンのミスファイア、燃料噴射の不良、不安定な回転を参照してください。
	コンポーネントに異常が発生したため、モニタリングシステムがウォータークラフトを応急帰還モードにしている。	特殊な手順のモニタリングシステムを参照してください。
	水の吸入によるエンジンの損傷。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	インジェクターの詰まり。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	燃圧が低い。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	燃料に水が混入。	残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を補給してください。

ウォータークラフトが最高速度に達しない

その他の症状	考えられる原因	対策
	VTS は他のライディングコンディションにあわせて調整されず(装備されている場合)。	別の設定に再調整されます。
キャビテーション。	ジェットポンプのウォーターインテークが詰まっている。	清掃してください。
	インペラーの損傷またはウエアリングの磨耗。	交換します。Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	Sea-Doo ラーニングキー™ が使われており、ウォータークラフトが最高速度に達しないように制限している。	普通の DESS キーを使用してください。
	コンポーネントに異常が発生したため、モニタリングシステムがウォータークラフトを応急帰還モードにしている。	特殊な手順のモニタリングシステムを参照してください。

ウォータークラフトが最高速度に達しない

その他の症状	考えられる原因	対策
エンジンまたはEMS。	Sea-Doo ラーニングキー™ が使われており、ウォータークラフトが最高速度に達しないように意図的に制限している。	普通の DESS キーを使用してください。
	コンポーネントに異常が発生したため、モニタリングシステムがウォータークラフトを応急帰還モードにしている。	特殊な手順のモニタリングシステムを参照してください。
	スーパーチャージャーまたはインタークーラーの異常(装備されている場合)	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
スライディングベーン付きのモデル:ウォータークラフトの速度を上げても O.P.A.S.™ サイドベーンが上がらない。	フィルターの詰まり、角型シールリングの損傷、ホースからの液漏れ、機構部分の作動不良。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
スライディングベーン付きのモデル:エンジンがアイドリング状態になっても O.P.A.S. サイドベーンが下がらない。	サイドベーンシリンダー内のスプリングの折損。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

エンジンの回転が徐々に低下して止まってしまう

その他の症状	考えられる原因	対策
	燃料切れ。	燃料を補給してください。
	CPS センサーの異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	TOPSの誤作動。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

O.P.A.S. システムの異常(スライディングベーン付きのモデル)

その他の症状	考えられる原因	対策
旋回中のウォータークラフトの挙動がいつもより敏感。	速度が上がっているのにサイドベーンが上がっていない。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
ウォータークラフトが一方向へ曲がりたがる。	速度が上がっているのに一方のサイドベーンが上がっていない。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
速度を上げててもO.P.A.S. サイドベーンが上がらない。	フィルターの詰まり、角型シールリングの損傷、ホースからの液漏れ、機構部分の作動不良。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
エンジンがアイドルリング状態になってもO.P.A.S. サイドベーンが下がらない。	サイドベーンシリンダー内のスプリングの折損。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

推進システムからの異常な騒音

その他の症状	考えられる原因	対策
キャビテーション。	水草や異物がインペラーに絡み付いています。	清掃して、損傷がないか点検してください。
	インペラーシャフトまたはドライブシャフトの損傷。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	ジェットポンプに水が入り、ベアリングが焼き付いた。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

仕様

船体		GTI/GTX/RXP/RXT/WAKE
エンジン		
型式	130、155 または 215 hp Rotax® 4-TEC®。シングルオーバーヘッドカムシャフト (SOHC)、水冷式	
気筒数	直列 3 気筒	
バルブ数	12 バルブ (気筒あたり 4 バルブ) 油圧リフター付き (調整不要)	
排気量	1494 cc (91.2 cu. in)	
吸気方式	GTI シリーズ	52 mm スロットルボディで自然吸気
	GTX	52 mm スロットルボディで自然吸気
	GTX 限定	インタークーラースーパーチャージャー付き、52 mm スロットルボディ
	Wake/RXP	52 mm スロットルボディで自然吸気 または インタークーラースーパーチャージャー付き、52 mm スロットルボディ
	RXT	インタークーラースーパーチャージャー付き、52 mm スロットルボディ
ボア	100 mm (3.9 in)	
ストローク	63.4 mm (2-1/2 in)	
圧縮比	自然吸気エンジン	10.6:1
	インタークーラースーパーチャージャー付きエンジン	8.4:1
潤滑	型式	ドライサンプ (オイルポンプ 2 個)。交換式オイルフィルター水冷式オイルクーラー
	オイルの種類	燃料、オイル、クーラントセクションを参照してください。
エキゾーストシステム		水冷 / ウォーターインジェクション。推進ユニットからの直接水流
レブリミッターの設定	自然吸気エンジン	7650 RPM
	インタークーラースーパーチャージャー付きエンジン	8000 RPM

船体		GTI/GTX/RXP/RXT/WAKE
冷却システム		
型式	液冷。クローズドサーキット式 (排気システムも参照してください)	
クーラント	エチレングリコール 50% / 水 50% の不凍液 / 脱塩水。アルミニウム製内燃エンジン用の腐食防止剤入りクーラント	
電気システム		
マグネトージェネレータ出力	360 W @ 6000 RPM	
イグニッションシステム形式	デジタル誘導式	
イグニッションタイミング	調整不可	
スパークプラグ	メーカーと型式	NGK, DCPR8E
	ギャップ	0.75 mm (.030 in)
	数量	3
始動システム	電気スターター	
バッテリー	12 V, 30 A•h、電解液タイプ	
ヒューズ	点検を参照してください。	
推奨燃料		
最適な性能のために		
型式	無鉛プレミアム ガソリン	
最小オクタン価	北米内 (91 (R + M)/2) 北米以外:95 RON	
最低限		
型式	無鉛レギュラー ガソリン	
最小オクタン価	北米内 (87 (R + M)/2) 北米以外:92 RON	
推進		
推進システム	Sea-Doo® 直接駆動	
ジェットポンプ	GTI (レンタル)/ GTX 限定/ Wake 215 hp/ RXT/ RXP 215 hp	アルミニウム、軸流式、単段、ラージハブと 10-ベーンスターター
	GTI/GTI SE/ GTX/ Wake 155 hp/ RXP 155 hp	合成/アルミニウム、軸流式、単段、ラージハブと 10-ベーンスターター

船体		GTI/GTX/RXP/RXT/WAKE	
推進 (続き)			
伝達機構	RXP 215 hp	直接駆動、前進/ニュートラル/リバースおよび電気 VTSTM (可変トリムシステム)	
	他	直接駆動、前進/ニュートラル/リバース	
インペラー		ステンレス	
O.P.A.S. システム		はい	
ジェットポンプの最小必要水位		船体後部の最も低い部分から 90 cm (3 ft)	
寸法			
定員 ¹	RXP	2	
	他	3	
全長	GTI シリーズ	322.5 cm (127 in)	
	RXP	307 cm (120.9 in)	
	他	331 cm (130 in)	
全幅	GTI シリーズ	124.5 cm (49 in)	
	他	122 cm (48 in)	
全高	GTI	117 cm (45.9 in)	
	GTI SE	113 cm (44.4 in)	
	GTX シリーズ/ RXT	120 cm (47.2 in)	
	Wake シリーズ	120 cm (47.2 in)	
	RXP	118 cm (46.6 in)	
重量 (乾燥)	GTI	ベース	333 kg (732 lb)
		レンタル	340 kg (747 lb)
		SE	340 kg (747 lb)
	GTX		361 kg (795 lb)
	GTX 限定		366 kg (805 lb)
	WAKE	155 hp	370 kg (815 lb)
		215 hp	377 kg (828 lb)
	RXT		370 kg (815 lb)
	RXP	155 hp	340 kg (750 lb)
		215 hp	359 kg (792 lb)
最大許容荷重 (乗員 + 荷物)	2 人	181 kg (399 lb)	
	3 人	273 kg (602 lb)	

船体	GTI/GTX/RXP/RXT/WAKE
タンク容量	
エンジンオイル	3 L (2.7 U.S. qt) オイル交換 w/フィルター 4.5 L (4.1 U.S. qt) 総量
冷却システム (クーラント)	5.5 L (5 U.S. qt) 総量
燃料タンク (リザーブを含む)	60 L (15.9 U.S. gal)
燃料タンクリザーブ (残量警告シグナルから)	15 L (4 U.S. gal)

(1) 最大許容荷重を参照

BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、その製品の設計や仕様の変更、追加、または改良を行う権利を留保します。

メンテナンス

排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理は、船舶用 SI（スパークイグニッション）エンジンの修理工場または個人なら誰でも実施できます。

エンジンの排出ガスに関する情報

製造者の義務

1999 年型以降のエンジンについて、船舶用エンジンの PWC 製造者は各工場のエンジン出力分類に応じて有害排出物レベルを測定し、アメリカ合衆国環境保護局（EPA）によるエンジンの認証を受けなければならないものとしました。これに伴い、有害排出物のレベルとエンジンの仕様を表した排出ガス制御情報ラベルを、製造の時点で船に貼付しなければなりません。

ディーラーの義務

排出ガス制御情報ラベルを貼付された 1999 年型以降のすべての Sea-Doo ウォータークラフトの整備を行う場合、各部の調整はメーカー指定の公表された仕様値以内でなければなりません。

排出ガス関連コンポーネントの交換または修理は、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持できるような方法で行われなければなりません。

ディーラーでは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様値を超えるようなエンジンの改造を行ってはけません。

高度調整などのように、メーカーの指示による変更は例外とします。

所有者の義務

所有者 / オペレーターには、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持するためのエンジンのメンテナンス実施が要求されます。

所有者 / オペレーターは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様値を超えるようなエンジンの改造を自ら行ったり、誰かに行わせたりしてはいけません。

EPA 排出ガス規制

BRP が製造した 1999 年型以降のすべての新しい Sea-Doo ウォータークラフトは、ウォータークラフト用エンジンの要求事項に適合した製品として、EPA の認証を受けています。この認証は特定の調整箇所をメーカーの基準値に合わせることを条件としています。このため、製品の整備に関するメーカーの指定手順は厳密に守られなければならない、現実的に可能な限り、設計の当初の意図な形で行われなければなりません。

以上に挙げたそれぞれの義務は概説的なものでしかなく、船舶用エンジンの有害排出物に関する EPA の要求事項に関連した規則と規制の完全な一覧ではありません。

一般的事項

この安全のセクションで詳しく解説された整備手順のみを実施してください。詳細については、Sea-Doo 認定ディーラーにお尋ねください。多くの場合、そうした整備や修理の作業を行うには、適切な工具と訓練が要求されます。

ウォータークラフトと各装置は常に最高の状態に維持してください。指定されたメンテナンス・スケジュールを守ってください。ウォータークラフトの「12ヶ月安全点検」をお受けになることをお勧めします。

スパークプラグを取り外したときは、必ずスパークプラグケーブルの接地デバイスを使用してください。

ビルジにはオイル、水またはその他の異物がないようにしてください。

専用の装置を使用せず、訓練も受けずにウォータークラフトを吊り上げようとしないでください。

このガイドで取り扱っているエンジンとその関連コンポーネントを、当初の設計で意図されている製品以外に転用しないでください。メンテナンルスの手順と指定された締め付けトルク値は厳密に守ってください。適切な工具がないときには修理を試みないでください。このウォータークラフトは、メートル法によって作られた部品と英国式規格の部品の両方を採用して設計されています。ねじなどの締め付け具を交換するときは、必ず BRP 推奨品を使用してください。さらに詳しい整備情報が必要な場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンスチャート

定期点検

どんな機械製品にも定期的なメンテナンスが必要です。定期点検は製品の寿命を伸ばします。

次のメンテナンスチャートは、あなたや Sea-Doo 認定ディーラーによって行われるべきウォータークラフトの定期点検整備スケジュールの指針となるものです。このスケジュールは、使用条件や用途に応じて調整する必要があります。

重要: レンタル用のウォータークラフトや実使用時間が長い場合は、より頻繁な点検とメンテナンスが必要になります。

メンテナンスは非常に重要です。安全な整備方法や調整手順に精通していないなら、Sea-Doo 認定ディーラーにお尋ねください。

注記: 一部の項目は使用前の点検に含まれており、このチャートでは重複を避けているものもあります。

定期点検チャート						
A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換	最初の 10 時間					
	25 時間または 3 ヶ月ごと					
	50 時間または 6 ヶ月ごと					
	100 時間または 1 年ごと					
	200 時間または 2 年ごと					
実施者						
部品/タスク						説明
全般						
潤滑 / 腐食防止			L		オペレーター	—
エンジン						
エンジンオイルとフィルター(カバーの O-リングを含む)	R			R ⁽⁷⁾	ディーラー	(5) 排出ガス関連コンポーネント。
サポートおよびラバーマウントの状態	I			I	ディーラー	(7) 保管期間または 100 時間使用のどちらか先に訪れた時期に実施。
エキゾーストシステムの締め付け具 ⁽⁵⁾	I			I	ディーラー	(8) 100 時間または過酷な状況では 50 時間毎に交換してください(エンジン高回転および波が荒いときの航行)。
スーパーチャージャークラッチ			R ⁽⁸⁾		ディーラー	
冷却システム						
フラッシング (エキゾーストシステム)			(3) (7)		オペレーター	(3) 塩水または泥水で使用する場合は、毎日フラッシングを行ってください。
ホースの状態と締め付け具	I				ディーラー	(7) 保管期間または 100 時間使用のどちらか先に訪れた時期に実施。
冷却液	I			R	ディーラー	

定期点検チャート						
A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換	最初の 10 時間					
	25 時間または 3 ヶ月ごと					
	50 時間または 6 ヶ月ごと					
	100 時間または 1 年ごと					
	200 時間または 2 年ごと					
実施者					説明	
部品/タスク						
燃料システム						
スロットルケーブル	I			I ⁽⁷⁾		ディーラー
燃料噴射システムのセンサー類	I			I		ディーラー
EMS 故障コードの読出し ⁽⁵⁾	I			I		ディーラー
燃料ライン、接続部、圧カリリーフバルブ、燃料システムの漏れテスト ⁽⁵⁾	I			I		ディーラー
スロットルボデイ (重要 ⁽¹⁾ を参照)	I			L		ディーラー/ オペレーター
スロットルポジションセンサー (TPS) ⁽⁵⁾	I			I		ディーラー
エアインタークサイレンサーの取り付け / 締め付け	I			I		ディーラー
燃料タンクストラップ	I			I		ディーラー
電気システム						
スパークプラグ ⁽⁵⁾	I			I	R	ディーラー
電気系コネクター類の状態と締め付け (イグニッションシステム、始動システム、燃料インジェクターなど)	I			I		ディーラー
ECM コネクタ (外さないで視覚的点検)				I ⁽⁴⁾		ディーラー
デジタルエンコードセキュリティシステム (DESS) と DESS キー / ポスト	I			I		ディーラー
モニターブザー	I			I		ディーラー
バッテリーの状態と締め付け具	I			I		ディーラー
ステアリングシステム						
ステアリングケーブルと接続	I			I		ディーラー
ステアリングノズルブッシング	I			I		ディーラー
オフパワーアシステッドステアリング (O.P.A.S.)	I			I		ディーラー
オフパワーアシステッドステアリングフィルター (適用される場合)		I ⁽⁶⁾				オペレーター

(1) 重要: 塩水で使用の場合、10 時間使用ごとに、スロットルボデイ潤滑を強く推奨いたします。潤滑しないならスロットルボデイに損傷が起きます。
(5) 排出ガス関連コンポーネント。
(7) 保管期間または 100 時間使用のどちらか先に訪れた時期に実施。

(5) 排出ガス関連コンポーネント。
(4) 塩水で使用される場合。

(6) 海藻の多い水域でライディングする場合は 25 時間ごと。

定期点検チャート

最初の 10 時間

25 時間または 3 ヶ月ごと

50 時間または 6 ヶ月ごと

100 時間または 1 年ごと

200 時間または 2 年ごと

実施者

A: 調整
C: 清掃
I: 点検
L: 潤滑
R: 交換

部品/タスク

説明

推進システム

ドライブシャフト腐食防止 ⁽⁴⁾				L ⁽⁷⁾	ディーラー	(2) 毎月点検 (塩水ではより頻繁) および必要に応じて交換。 (7) 保管期間または 100 時間使用後のどちらか先に訪れた時期に実施。 (4) 塩水で使用される場合。
カーボンリングとラバーブース (ドライブシャフト)	I			I	ディーラー	
インペラーブート	I			I	ディーラー	
インペラーシャフトシール、スリーブ、O リング				I ⁽⁷⁾	ディーラー	
ドライブシャフト/インペラースプライン				I, L	ディーラー	
犠牲陽極 (装備されている場合)				(2)	ディーラー	
リバースシステム/ケーブルと接続	I			I	ディーラー	
VTS (可変トリムシステム)、(装備されている場合)	I			I	ディーラー	
インペラーの状態とインペラーウエアリングのクリアランス	I			I	ディーラー	
ライドプレートとウォーターインテークグレーットの点検	I			I	オペレーター	

船体とボディ

ドレンプラグ(ビルジ内)の詰まりの点検	I			I	オペレーター	—
船体 (ハル)	I			I	オペレーター	
スキー / ウエイクボードポストの状態と締め付け具	I				オペレーター	

メンテナンス

警告

このガイドで詳しく解説された手順のみを実施してください。このガイドで触れられていないコンポーネント/システムについては、定期的にSea-Doo認定ディーラーに整備を依頼されることをお勧めします。指定のある場合を除いて、すべてのメンテナンス手順はエンジンを停止してから行わなければなりません。ジェットポンプまわりのコンポーネントやサイドペーンを、ウォータークラフトの吊り上げに利用しないでください。エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。ウォータークラフトを水から上げた状態でエンジンを回すと、ライドプレートの熱交換器がたいへん熱くなります。火傷のおそれがありますので、ライドプレートには触れないようにしてください。



GTIモデル — 代表的な例
1. フィットティング



GTI以外の全モデル — エンジンカバー
1. フィットティング

潤滑

腐食防止のための保護

スロットルケーブル

XP-S ルーブ潤滑剤または同等品を用いて、スロットルケーブルを潤滑してください。

スロットルボディ

XP-S ルーブ潤滑剤または同等品を用いて、スロットルボディを潤滑してください。

そのためにエンジンコンパートメントのフィッティングを使用します。

正しく潤滑するために、少なくとも3から5秒間潤滑剤をスプレーしてください。

電気系統の接続部

必要に応じて、バッテリーポストや露出しているすべての配線コネクタに、誘電性グリースのような腐食防止剤を塗布してください。

補助的な潤滑

XP-S ルーブ潤滑剤または同等品は、金属製部品の腐食防止と可動機構部の正常な作動の維持に役立ちます。

警告

DESS ポストは潤滑しないでください。

スキー / ウェイクボードポスト
(装備されている場合)

スキー/ウェイクボードポストは全長にわたって潤滑します。何度か引き出しては押し込んで、潤滑剤をよく行き渡らせてください。

リバースゲート

ピボット点と機構部を潤滑してください。

スロットルケーブルの点検

スロットルケーブル

スロットルレバーを押して、放してください。レバーはスムーズに動き、引っかかりからずに元の位置に戻らなければなりません。また、スロットルレバーを押していない状態では、多少の遊びがなければなりません。必要があれば、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

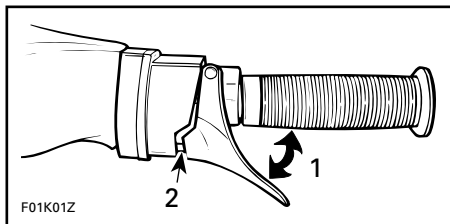
注意: スロットルボディの干渉防止スクリーンでアイドル回転数を調整しようとししないでください。このスクリーンの設定を変更すると、アイドル回転の安定性が損なわれます。ディーラーでもメーカーでもアイドルリングを修正するための調整はできません。その場合、修理をするにはお客様の費用負担でスロットルボディを交換する必要があります。また、そうした変更によりエンジンの有害排出物レベルが変わる可能性があり、EPA/ CARBの要求事項に適合しなくなることもあります。

⚠ 警告

スロットルケーブルの調整や取りまわしを変更しないでください。

⚠ 警告

スロットルレバーが自然に戻らないときは、ウォータークラフトを使用せず、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。



1. 自由に動くこと
2. ここにわずかな遊びがあること

エンジンのオイル交換とオイルフィルターの交換

オイルとフィルターの交換は、Sea-Doo 認定ディーラーに依頼してください。

バルブの調整

このエンジンではバルブ調整を実施する必要はありません。

冷却液の交換

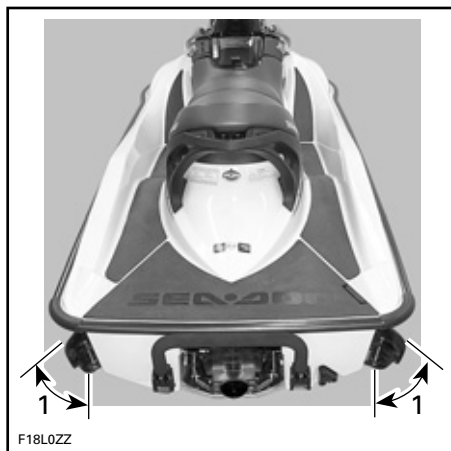
クーラントの交換は Sea-Doo 認定ディーラーに依頼してください。

燃料噴射システム

燃料噴射システムの点検は Sea-Doo 認定ディーラーに依頼してください。同時に燃料システムの加圧テストも実施してもらってください。

ステアリングアライメント

ハンドルバーが直進の位置にあるとき、ジェットポンプノズルも同じ方向を向いて、ウォータークラフトがまっすぐ進むようになっていなければなりません。サイドベーンの後端は、ハンドルバーが直進状態のとき、船体に対して 20° 外側を向いているはずですが。



代表的な例

1. ハンドルバーが直進状態のときにおよそ 20°

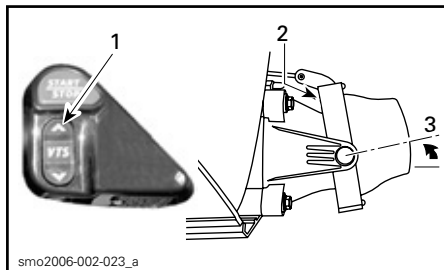
調整が必要な場合、Sea-Doo 認定ディーラーに依頼してください。

警告

ハンドルバーとジェットポンプノズルが端から端まで自由に動き、ステアリングケーブルやブラケットに無理な力が加わっていないことを確認してください。誰かがウオータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。ステアリング系の可動部品（ノズル、サイドペーン、リンクなど）に近づかないでください。

VTS の調整 (装備されている場合)

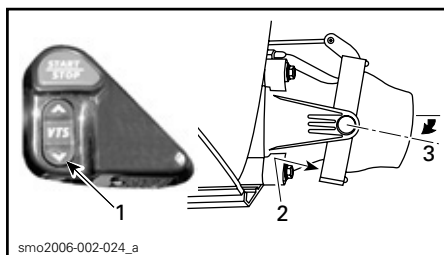
VTS が止まるまで、VTS ボタンの上向きの矢印を押してください。ノズルはベンチュリと干渉することなく、上を向いていなければなりません。



代表的な例

1. VTS ボタンの上向き矢印を押す
2. 干渉しないこと
3. ノズルが上を向く

VTS が止まるまで、VTS ボタンの下向きの矢印を押してください。ノズルは下を向いていなければならず、ベンチュリと干渉してはいけません。



代表的な例

1. VTS ボタンの下向き矢印を押す
2. 干渉しないこと
3. ノズルが下を向く

VTS の再調整が必要な場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

注意: トリムリングおよび / またはノズルがどの位置にあっても、他の部分と干渉しないはずで。

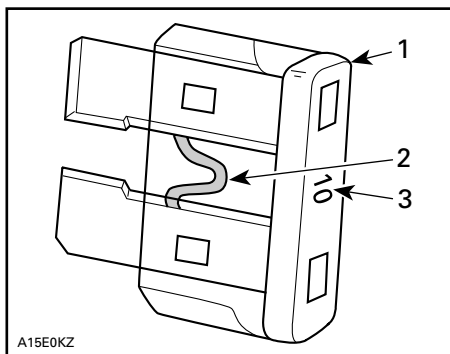
ビルジドレンプラグ

ドレンプラグは、エンジンが回っているときにジェットポンプの負圧部分を利用して、ビルジから水を吸い上げています。各ドレンプラグが目詰まりしていないか点検し、必要があれば清掃してください。

ヒューズ

ヒューズ取り外し/点検

電気系に問題が生じたときはヒューズを点検してください。ヒューズが溶けている場合は、同じ定格値のヒューズと交換します。



A15E0KZ

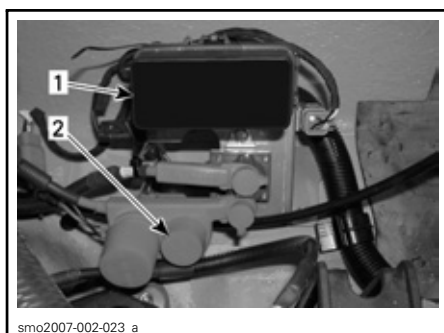
1. ヒューズ
2. 溶けていないか確認
3. 定格アンペア値

警告

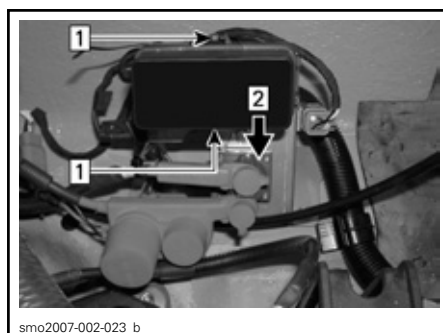
本来のヒューズより定格値の高いものを使わないでください。重大な損傷の原因になることがあります。ヒューズが溶けた場合は、再始動をする前に問題の原因を特定して、修理を行ってください。Sea-Doo認定ディーラーに整備を依頼してください。

説明/場所

ヒューズ	説明	場所
3 A	インフォメーションセンターゲージ	ヒューズボックス (エンジン コンパートメント)
3 A	ブザー	
3 A	深度計 (装備されている場合)	
3 A	燃料レベル	
7.5 A	VTS (装備されている場合)	
10 A	燃料ポンプ	
10 A	1 番シリンダー (イグニッション コイルと燃料噴射)	
10 A	2 番シリンダー (イグニッション コイルと燃料噴射)	
10 A	3 番シリンダー (イグニッション コイルと燃料噴射)	
3 A	TOPS センサー	
15 A	診断機能コネクタ	
500 Ω	燃料レベル	
10 A	電気スターター	
3 A	キャップ	
30 A	メイン	スターターリレーに接続されたハー ネス (エンジンコンパートメント)
30 A		



- 代表的な例
1. ヒューズボックス
2. メインヒューズ



- 代表的な例
1. タブを押し続ける
2. カバーを引く

ヒューズボックス

両方のロックングタブを同時につまみ、そのままヒューズボックスカバーを引いて開きます。



- smo2007-002-024_a
1. ヒューズリムーバー/インストーラー
 2. ヒューズ説明デカル (内側カバー) (非表示)
 3. スペアヒューズ (内側カバー) (非表示)

メインヒューズ



- smo2007-002-024_b
- 代表的な例
1. メインヒューズ

O.P.A.S. システム (装備されている場合)

O.P.A.S. システムの作動と状態の点検は、Sea-Doo 認定ディーラーに依頼してください。

ドライブシャフト腐食防止

塩水状況でドライブシャフトを腐食からさらに保護するため、ウォータークラフトを Sea-Doo 認定ディーラーに持ち込んで、適切な潤滑を依頼してください。

スキー / ウェイクボードポスト (装備されている場合)

スキー / ウェイクボードポストの機能を点検します。スムーズに上下にスライドすることを確認してください。ロック機構の作動と、締め付け具の締め付けを点検します。何か問題がある場合は、スキー / ウェイクボードポストを使用せず、Sea-Doo 認定ディーラーに修理を依頼してください。

全体の点検と清掃

点検

エンジンコンパートメント内に損傷や、燃料、クーラント、オイルの漏れがないか点検してください。すべてのホースクランプがしっかり固定されているか、ホースにひび割れ、よじれ、あるいはその他の損傷がないかを確認してください。

⚠ 警告

ガソリン漏れがあったりその臭いが感じられる場合は、エンジンを始動しないでください。Sea-Doo 認定ディーラーで整備を受けてください。

マフラー、バッテリー、燃料タンク、オイルリザーバーの各固定機構を点検します。電気配線の接続部に腐食がないか、そしてしっかり接続されているかを目視点検してください。

船体とジェットポンプのウォーターインテークグリートに損傷がないか点検します。損傷が認められるパーツは、交換あるいは修理してください。

⚠ 警告

シートのロックピンの締め具合を定期的に確認して、必要があれば調整してください。シートのラッチが正しくかかることを確かめてください。

清掃

ビルジの清掃は Sea-Doo 認定ディーラーに依頼して、燃料 / オイル / 電解液の堆積物やカビを取り除いてもらってください。

時々ボディを石鹼水（強い洗剤は使用しないでください）で洗ってください。エンジンおよび / または船体に付着した海洋微生物を取り除いてください。シリコンワックスなど、研磨剤の入っていないワックスを塗布します。

注意: ファイバーグラス製やプラスチック製の部品の清掃には、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトンなどを使用しないでください。

シートやファイバーグラス部分の汚れは、Korkay Systems Ltd の「ナイツスプレーナイン」またはその同等品で取り除けるかもしれません。

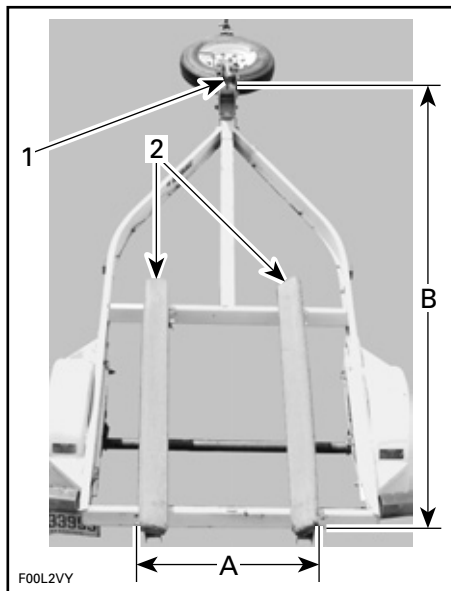
カーペットをクリーニングするには、3M™ シトラスベースのクリーナー (24 oz スプレー缶) または同等品を使用してください。

環境を守るため、燃料、オイル、洗浄用溶剤などを水路に流さないでください。

トレーラーでの運搬、保管、シーズン前の準備

トレーラーでの運搬

注意: O.P.A.S. サイドベーンの損傷を防ぐため、トレーラーのレールの間隔は、レールそのものの幅も含めて 71 cm (28 in) を超えないようにしてください。また、ウォータークラフトのバウ (船首) の固定ポイントから両方のレールの後端までの距離が 2.59 m (102 in) を超えないようにしてください。下の図を参照してください。



O.P.A.S. を保護するトレーラーレイアウト

1. ウォータークラフト前部 (バウ) 固定ポイント
2. レール

A. 71 cm (28 in)

B. 2.59 m (102 in)

燃料タンクキャップがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

警告

このウォータークラフトを直立させて運搬するのはやめてください。通常の使用時の姿勢で運搬することをお勧めします。

その地域のトレーラーの牽引についての法律と規則、特に次のような点に関する規則を確認してください:

- ブレーキシステム
- 牽引車両の重量
- バックミラー。

ウォータークラフトを牽引トレーラーで運搬する場合は、次のような点に注意してください:

ウォータークラフトを前後 (バウ / スターン) のアイレットを使って拘束し、トレーラーにしっかり固定してください。必要があれば、さらに追加のタイダウンベルトを使用してください。

注意: シートまたはグラブハンドルの上にロープやタイダウンベルトをかけたままにしないでください。これらの部分が損傷するおそれがあります。ロープやタイダウンベルトがウォータークラフトのボディに触れる可能性がある場所では、プロテクターとしてウエスなどでロープまたはベルトを包んでください。

すべてのストレージコンパートメントカバーとシートのラッチが正しくかかっていることを確認します。

警告

トレーラーによる運搬の際には、シートのラッチがしっかりとかかっていることを確認してください。

ウエイクボードラック付きのモデル

⚠ 警告

ウエイクボードをラックに取り付けたまま、ウォータークラフトをトレーラーで運搬しないでください。ウエイクボードのフィンが近くにいる人に当たってケガをさせたり、ウエイクボードが外れて路上に落ちる可能性があります。

⚠ 警告

また、バンジーコードには張力が働いているため、外れたときに鞭のように勢いよく戻って、近くにいる人に当たるおそれがあります。十分に注意して取り扱ってください。

注記: ウォータークラフト2槽をトレーラーで運搬する時、内部ウエイクボードラックを取り外さなければならないこともあります。

すべてのモデル

Sea-Doo カバーを取り付けるとウォータークラフトを保護することができます。特に未舗装路を牽引する場合は、エアインテークからの埃の侵入を防ぎます。

トレーラー牽引の安全に関する注意事項を守ってください。

進水 / 積み込み

注意: ウォータークラフトを水に浮べる前に、ビルジのドレンプラグが完全に締まっていることを確認してください。ウォータークラフトをトレーラーに積み込んだ後は、ドレンプラグを外してビルジ内の水を排出してください。

保管

⚠ 警告

燃料とオイルは可燃性です。定期点検チャートでも指定されているように、燃料システムの機能の点検はSea-Doo 認定ディーラーにご依頼ください。

長期保管の前には、Sea-Doo 認定ディーラーでウォータークラフトの整備を受けることをお勧めしていますが、次のような作業はあなた自身が最小限の工具で実施できます。

注意: 保管中はエンジンをかけないでください。

ボディの洗浄 / 修理

ボディを石鹼水（強い洗剤は使用しないでください）で洗います。洗った後は真水でよくすすいでください。船体に付着した海洋微生物を取り除いてください。

注意: ファイバーグラス製やプラスチック製の部品の清掃には、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトンなどを使用しないでください。

ゲルコート部分の修理については、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。傷んだラベルやデカールは交換してください。

燃料システム

Sea-Doo ガソリン安定化剤（または同等品）を燃料タンクに注入すると、ガソリンの劣化と燃料システムのゴム質の堆積を防止できます。正しい使い方については、安定化剤の製造者の使用上の注意に従ってください。

注意: 燃料システムを二ス状の堆積物から保護するため、ガソリン安定化剤はエンジンの潤滑を行う前に添加してください。

⚠ 警告

給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。つねに換気の良い場所で作業を行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。燃料タンクに圧力がかかっている場合がありますので、キャップを開けるにはゆっくりと回してください。裸火を明らかにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。給油中はウォータークラフトを水平に保ってください。燃料を入りすぎないようにし、給油口ぎりぎりまでガソリンを入れた状態で、ウォータークラフトを日の当たる場所に長時間置かないようにしてください。温度の上昇と共にガソリンが膨張して、オーバーフローすることがあります。給油時にこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。定期的に燃料系を点検しましょう。ウォータークラフトを使用しないときは、必ず燃料タンクバルブ（装備されている場合）をオフのポジションにしてください。

エンジンのオイル交換とオイルフィルターの交換

オイルとフィルターの交換は、Sea-Doo 認定ディーラーに依頼してください。

エキゾースト冷却システムのフラッシングとエンジン内部の潤滑

フラッシング

使用後のお手入れのフラッシングの項で解説したように、エキゾーストシステムを冷却するために散水用ホースを接続してください。

エンジンを通常の運転温度まで暖めます。

注意: フラッシングの手順で示された注意事項を正しく守ってください。

先に水栓を閉めてから、その後エンジンを止めます。

潤滑

エンジンカバーを引き上げて、取り外します。

イグニッションコイルのコネクターを外してください。

⚠ 警告

イグニッションコイルとスパークプラグの接続を外すときは、必ずメイルハーネスとイグニッションコイルの接続を先に外してください。エンジンコンパートメント内では、外したイグニッションコイルおよび/またはスパークプラグから火花が飛びかどうかを確認しないでください。気化した燃料がスパークで爆発するおそれがあります。

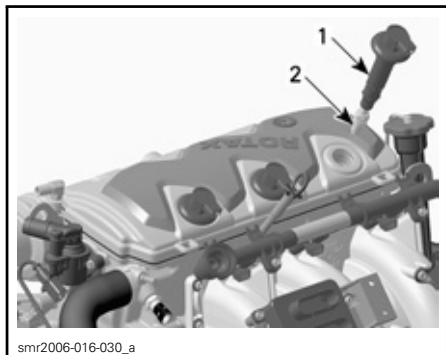
重要: イグニッションコイルコネクターのロッキングタイを切断しないでください。どのケーブルをどのシリンダーに接続するかわからなくなってしまう。

イグニッションコイルを取り外してください。

注意: スパークプラグを取り外す前に、スパークプラグホールにゴミなどが無いことを確かめてください。スパークプラグホールからシリンダーにゴミなどが落ちると、エンジン内部の部品が損傷します。

スパークプラグを取り外してください。

注記: スパークプラグを緩めた後、イグニッションコイルを使ってスパークプラグを取り出すことができます。イグニッションコイルをプラグホールに差し込み、スパークプラグを“釣り上げる”ように取り出してください。



smr2006-016-030_a

1. イグニッションコイル
2. スパークプラグ

スパークプラグホール内に XP-S ルーブ潤滑剤または同等品をスプレーしてください。

エンジンをクランキングするときに燃料が噴射されるのを防ぎ、点火をカットするために、次の手順を行ってください。

エンジンが止まっている状態でスロットルレバーをいっぱいまで押し、クランキングをしている間、スロットルを開いたままで保持します。

クランキングによってエンジンを数回回転させ、シリンダーウォールにオイルを行き渡らせてください。

スパークプラグのねじ山に焼き付き防止潤滑剤を塗布し、スパークプラグを元通りに取り付けます。

注記: イグニッションコイルを取り付ける前に、スパークプラグホールに触れるシール部分周辺にモリコート 111 グリース (P/N 413 707 000) を少量塗布します。取り付けした後、シールがエンジン上面に正しく納まっていることを確認してください。

イグニッションコイルを元通りに取り付けます。イグニッションコイルコネクターを元通りに接続してください。

エンジンカバーを取り付け、スナッ音が聞こえるまで押し下げてください。

エンジンまわりに水気が残っていれば、きれいに拭き取ってください。

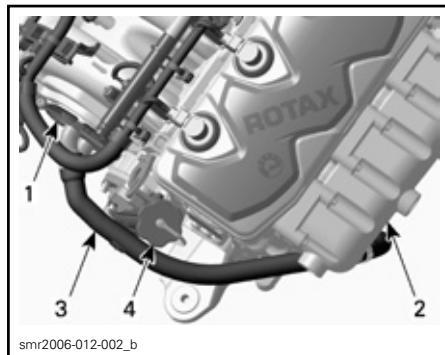
散水用ホースを取り外します。

注記: XP-S ルーブ潤滑剤でエンジンバルブのフォギングを行うことをお勧めします。Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

インタークーラーとエキゾーストマニホールド

エキゾーストシステムはセルフドレイン式ですが、インタークーラーとエキゾーストマニホールドには次の保護が必要です。

インタークーラー (装備の場合)



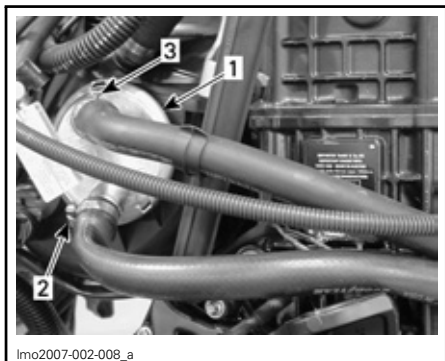
smr2006-012-002_b

代表的な例

1. インタークーラー
2. エキゾーストマニホールド
3. インタークーラーアウトレットホース
4. エンジンオイルフィルターキャップ

インタークーラーホースを両方とも取り外します。

注記: 取り外し可能で、再使用できるクランプもありますが、他は切断して交換が必要です。

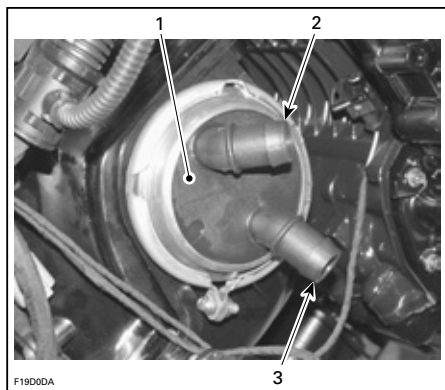


代表的な例

1. インタークーラー
2. インレットホースクランプ (再使用可能)
3. アウトレットホースクランプ (交換)

インタークーラーを排水してから、底部のホースと再接続します。

じょうごと小型ホースを使用して、アウトレットニップルを通してインタークーラーに約 200 mL (6.76 oz U.S.) の不凍液を注入します。



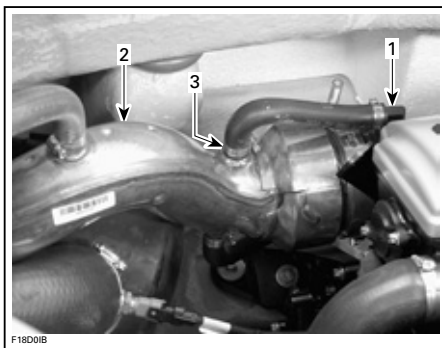
代表的な例

1. インタークーラー
2. アウトレットニップル
3. インレットニップル

インタークーラートップホースを再接続して、新しいクランプで留めます。

エキゾーストマニホールド

マニホールドトップウォーターアウトレットホースをエキゾーストパイプから外します。



代表的な例

1. エキゾーストマニホールド
2. エキゾーストパイプ
3. ウォーターアウトレットホースクランプ (再使用可能)

ウォーターアウトレットホースの端にじょうごを取り付け、不凍液約 300 mL (10.14 oz U.S.) をエキゾーストマニホールドに注入します。

アッパーウォーターアウトレットホースを再接続して、既存のクランプで留めます。

注意: インタークーラーとエキゾーストマニホールドに不凍液を注入することを強く推奨いたします。これを外し忘れるとコンポーネントに重大な損傷を与えます。

注意: 不凍液原液 (濃度 **100%**) のみ使用してください。BRP が取り扱うプレミックス不凍液は、この特定の用途には適していません。ウォータージャケットに残っている水と混合するとき、濃度は低下します。

注記: 入手可能であれば、アルミニウム製内燃エンジン用の生物分解性不凍液をお奨めします。これは環境保護に有効です。

注記: 冷却システムコンポーネントからできるだけ多く排水するために、この操作の間にエンジンを作動する必要はありませんが、前もって作動させておく必要があります。

バッテリー

Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

エンジン冷却システム

不凍液の劣化を防ぐため、200 時間ごと、あるいは 2 年ごとに不凍液を交換します。

不凍液の交換と比重テストは、Sea-Doo 認定ディーラーに依頼してください。

注意: 不凍液の混合比率が適切でない、気温が氷点下になる場所にウォータークラフトが保管された場合、冷却システム内で液体が凍るおそれがあります。これはエンジンに重大なる損傷を及ぼします。保管期間に入る前に不凍液を交換しないと、液が劣化して、次にエンジンを使用するときに十分な冷却が得られない可能性があります。

ビルジの清掃

ウォータークラフトをさらに確実に保護するため、次の各手順を行ってください。

ビルジを洗剤とお湯、またはビルジクリーナーで清掃します。洗った後はよくすすいでください。ウォータークラフトの前側を持ち上げて傾け、ビルジ内を完全に排水します。

防蝕処理

エンジンコンパートメント内に残っている水を拭き取ってください。

エンジンコンパートメント内の金属製コンポーネントに、XP-S ループ潤滑剤または同等品をスプレーしてください。



警告

DESS ポストは潤滑しないでください。

XP-S ループ潤滑剤または同等品を用いて、スロットルケーブルを潤滑してください。

ドライブシャフト腐食防止

塩水状況でドライブシャフトを腐食からさらに保護するため、ウォータークラフトを Sea-Doo 認定ディーラーに持ち込んで、適切な潤滑を依頼してください。

最後に

ボディや船体に修理が必要な場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。機械的な部分のタッチアップ塗装には、BRP スプレーペイントをお使いください。

ボディに品質の良い船舶用ワックスを塗ってください。

フロントシートとリアシートは、完全に閉めずに少し開けておいてください。エンジンコンパートメントの結露と、それによる腐食の可能性を防ぐことができます。

ウォータークラフトを屋外に保管する場合は、太陽光線と汚れがプラスチック製コンポーネントやウォータークラフトの仕上げを損なったり、ホコリが堆積したりするのを防ぐため、不透明な防水カバーで覆ってください。

注意: ウォータークラフトを水に浮かべたまま長期間保管しないでください。また、直射日光が当たるところでウォータークラフトを保管しないでください。ウォータークラフトをビニール製の袋に入れて保管しないでください。

シーズン前の準備

次のチャートを利用してください。

一部の作業は技術的スキルと特殊工具を必要としますので、Sea-Doo 認定ディーラーに実施を依頼してください。

 **警告**

このガイドで詳しく解説された手順のみを実施してください。このガイドで触れられていないコンポーネント/システムについては、定期的にSea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼されることをお勧めします。指定のある場合を除いて、すべてのメンテナンス手順はエンジンを停止し、DESS キーをポストから外してから行わなければなりません。エンジンコンパートメント内の部品は、高温になる場合があります。コンポーネントの状態がよくないと思われる場合は、BRP 純正部品または認定された同等品と交換してください。

シーズン前の準備チャート

注記: シーズン前の準備と同時に、12ヶ月安全点検とメーカーの改良キャンペーンの実施を Sea-Doo 認定ディーラーに依頼されることを強くお勧めします。

作業内容		点検項目実施者
全体	潤滑 / 腐食防止	オペレーター (Operator)
エンジン	エキゾーストシステムの状態と締め付け具	ディーラー (Dealer)
	シール類と締め付け具類の状態	ディーラー (Dealer)
	オイルレベル	ディーラー (Dealer)
冷却システム	冷却システムのクーラントレベル、ホース、コンポーネントの点検	ディーラー (Dealer)
燃料システム	燃料噴射システムのセンサーの確認	ディーラー (Dealer)
	燃料システム: バルブ、ライン、締め付け具、燃料システムの加圧テスト	ディーラー (Dealer)
	フィルターネット、燃料タンクとキャップの状態	ディーラー (Dealer)
	燃料タンクストラップ	オペレーター (Operator)
	燃料の補給	オペレーター (Operator)
電気システム	バッテリーの状態 / 充電と取り付けインフォメーションセンターの設定	ディーラー (Dealer)
	バッテリー、スターターの接続とケーブルの取りまわし	ディーラー (Dealer)
	モニターブザー	ディーラー (Dealer)
	デジタルエンコードセキュリティシステム	ディーラー (Dealer)
ステアリングシステム	ステアリングシステムの調整 / 点検	ディーラー (Dealer)
O.P.A.S. システム	O.P.A.S. システムの状態の点検	ディーラー (Dealer)
推進システム	シフターシステムの状態とケーブルの調整	ディーラー (Dealer)
	VTS (可変トリムシステム、装備されている場合)	ディーラー (Dealer)
	推進システムの点検	ディーラー (Dealer)
船体とボディ	ドレンプラグの点検	ディーラー (Dealer)
	スキー / ウェイクボードポストと締め付け具	オペレーター (Operator)

このマニュアルで使われている略語

略語	説明
API	アメリカ石油協会
CARB	カリフォルニア州大気資源委員会
DESS	デジタルエンコードセキュリティシステム
ECM	エンジン制御モジュール
ECU	電子制御装置
EMS	エンジンマネジメントシステム
E.I.N.	エンジン識別番号
EPA	環境保護局
LCD	液晶ディスプレイ
LED	発光ダイオード
MPH	時速マイル
N.A.	適用なし
O.P.A.S.	オフパワーアシステッドステアリング
PFD	救命胴衣
P/N	部品番号
TOPS	転覆時保護システム
VTS	可変トリムシステム

保証

4-TEC®エンジン、または 4-TEC®IC エンジン装備 SEA-DOO® 2007 年モデル パーソナル・ウォーター クラフトに対するカリフォルニア州およびニュー ヨーク州の排出ガス制御保証規定。

カリフォルニア州では、Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトにはカリフォルニア大気資源委員会が規定した特別な環境ラベルを貼ります。ラベルには、1、2、3、4スターがあります。パーソナル・ウォータークラフトの品質表示票にはスター等級システムの意味が説明されています。

スターラベルは、クリーンな船舶用エンジンを意味します



クリーンな空気と水
より健康的なライフスタイルと環境。

燃料節約

燃料節約 従来の気化2ストロークエンジンと比べてガソリンとオイルの燃焼を 30 - 40 パーセント減らし、資金と資源を節約します。

排気ガス保証の延長

消費者が心配なく操業できるよう保護します。

1スター - 低排出

1スターラベルは、パーソナル・ウォータークラフト、船外、船尾、船内エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン 2001 年排気物質基準を満たしていることを示します。この基準を満たすエンジンは、従来の気化 2 ストロークエンジンより排気物質を 75 %削減します。これらのエンジンは、船舶用エンジンの U.S. EPA の 2006 基準と同等です。

2スター - 超低排出

2スターラベルは、パーソナル・ウォータークラフト、船外、船尾、船内エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン 2004 年排気物質基準を満たしていることを示します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター-低排出エンジンより排気物質を 20% 削減します。

3スター - 極超低排出

3スターラベルは、エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン 2008 年排気物質基準または船尾と船内船舶用エンジン 2003 年排気物質基準を満たしていることを示します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター-低排出エンジンより排気物質を 65% 削減します。

4 スター - スーパー極超低排出

4 スターラベルは、エンジンが大気資源委員会の船尾と船内船舶用エンジン 2009 年排気物質基準を満たしていることを示します。パーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジンもこれらの基準に準拠します。これらの基準を満たすエンジンは、1 スター 低排出エンジンより排気物質を 90% 削減します。

詳細: クリーンなウォータークラフト-次で確認してください。
1 800 END-SMOG
www.arb.ca.gov

排出ガス制御保証権利と義務

カリフォルニア州大気資源委員会、ニューヨーク州環境保護局、および Bombardier Recreational Products Inc. を代表して BRP US Inc. (以下“BRP”)* は、2007年モデル Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトの排出ガス制御システム保証について説明いたします。カリフォルニア州とニューヨーク州では、新規のパーソナル・ウォータークラフトのエンジンを州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備しなければなりません。BRP は、貴方のパーソナル・ウォータークラフトを酷使、不注意、不適切なメンテナンスがない限り下記の期間パーソナル・ウォータークラフトのエンジンの排出ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、キャブレタまたは噴射装置、イグニッションシステム、触媒コンバータ等の部分が含まれます。またホース、ベルト、コネクタ、その他の排出関連のアクセサリーが含まれます。

保証可能な条件が存在する場合、BRPは、BRP 認定ディーラーによってなされる場合に限り、診断、部品代および工賃を含めて、貴方の 2007 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトのエンジンを無償で修理します。

製造業者の限定補償範囲

この排出ガス保証は、カリフォルニア州またはニューヨーク州での販売を意図して BRP によって認証そして製造された 2007 年モデル Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトに適用され、本来はカリフォルニア州またはニューヨーク州の住民に販売され、その後保証はカリフォルニア州およびニューヨーク州の住民に登録されます。Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフト用の BRP 限定保証条件は、必要な改変を加えたこれらのモデルに適用可能です。

2007 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトの排出ガス制御パーツに関して、最初に購入した消費者に納入された日から 4 年間または 250 使用時間のうちどちらか先に訪れた保証時期を選択してください。しかし、時間に基づく保証適用は適切な時間メーターまたは同等品を装備したパーソナル・ウォータークラフトにのみ可能です。エンジンの排出関連の部品が異常な場合、保証の元に BRP が修理または交換します。

4-TEC® エンジンと 4-TEC® IC エンジン装備の Sea-Doo 2007 年モデルパーソナル・ウォータークラフトで適用される部品:

デジタルリアアクチュエータ(低アイドル制御)	すべての燃料システムコンポーネント
スロットルポジションセンサー	スパークプラグ
吸気マニホールド気温センサー	イグニッションコイル
吸気マニホールド気圧センサー	ピストンとリング
エンジン温度センサー	インテークおよびエキゾーストバルブ ギア/トレイン
ノッキングセンサー	バルブ、バルブガイド、バルブガイド シーリング
排出ガス制御ユニット	クランクケースベンチレーションバルブ
インジェクター	配線ハーネスとコネクタ
燃圧レギュレータ	排出ガス関連シール、ガスケット、ホース
吸気マニホールド	エキゾーストマニホールド
スーパーチャージャー	

排出ガス保証は、保証部分の異常によって引き起こされる他のエンジンコンポーネントの損傷に適用されます。

BRP 『オペレータズガイド』は、パーソナル・ウォータークラフトの正しいメンテナンスと使用に関する指示を記載しています。すべての排出ガス保証部品は、『オペレータズガイド』のメンテナンスで要求されている部品交換を予定していない限りパーソナル・ウォータークラフトの保証期間全体で保証されます。

メンテナンスを必要とする、交換を予定している排出ガス保証部品は、部品の最初の交換予定日までの期間の間 BRP により保証されます。定期的な交換ではなく、通常点検を予定している排出ガス保証部品は、パーソナル・ウォータークラフトの保証期間全体で BRP により保証されます。この保証規定の条項の元で修理または交換された排出ガス保証部品は、本来の部品の保証期間の残りの間 BRP により保証されます。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべて BRP の所有となります。

メンテナンスの受け入れと記録は、パーソナル・ウォータークラフトの次の各所有者に移転されます。

所有者の保証責任

パーソナル・ウォータークラフトの所有者として、『オペレータズガイド』に記載の要求されているメンテナンスを実施する責任があります。パーソナル・ウォータークラフトのエンジンに関係する全受領書を保持することをBRPは推奨しますが、受領書の紛失またはすべての予定メンテナンスの不履行だけを理由にしてBRPは保証適用を拒否できません。

パーソナル・ウォータークラフトの所有者として、BRPが酷使、不注意、不適切なメンテナンス、不適切な改変によりパーソナル・ウォータークラフトのエンジンまたは部品に対する保証適用を拒否できることに留意してください。

問題が発生した場合、パーソナル・ウォータークラフトのエンジンをBRP認定ディーラーにできるだけ早く見せます。保証修理は、30日を超えない合理的な長さの期間内に完了します。

保証の権利と責任、または最寄のBRP認定ディーラーの名前と場所に関して質問がある場合、Customer Services Groupまでお問い合わせください。
(1-715-848-4957)

BRP 国際限定保証:2007 SEA-DOO® ウォータークラフト

1. 限定保証の適用範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下“BRP”とします)* は、以下に記述された期間について、2007年モデル Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトに素材または製造上の欠陥がないことを保証します。

この Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトが納入される際に、BRP 認定ディストリビューター / デイラー (その定義は以下に示します) によって取り付けられたすべての BRP 純正部品およびアクセサリーは、パーソナル・ウォータークラフト本体と同じ保証を受けるものとします。

この製品を一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合は、以前の所有者による行為である場合も含めて、この保証は無効になります。

2. 除外規定

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている適正なメンテナンス / 保管を怠ったために発生した損害;
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいは BRP によって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行う BRP 認定ディストリビューター / デイラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷;
- 誤用、乱用、過失、または 『オペレーター・ガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害;
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷;
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転 (『オペレーター・ガイド』を参照);
- 水の吸入;
- 外装のゲルコート仕上げを含むがそれのみには限定されないゲルコート仕上げの損傷、プリスター (ふくれ) またはプリスターに起因するファイバーグラスの層間剥離、ひび割れ、クモの巣状のひび; および
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらのみには限定されないその種の損害。

3. 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含めながら、それらのみには限定されない明示的または黙示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみ限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それがあなたにも適用される可能性があります。この保証は、お客様に特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

BRP ディストリビューターまたはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にも BRP に対する強制力はありません。

BRP はこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

4. 保証適用期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です：

- a) 個人がレクリエーション用途で使用する場合は連続する12カ月間。
- b) 業務用使用の所有者の場合は、連続する4ヶ月間。保証期間中の一部であっても、パーソナル・ウォータークラフトが収入の発生、何らかの業務または職業に関連して用いられた場合、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点でパーソナル・ウォータークラフトが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます：

- 2007年 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトとは、その販売が行われた国において Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフト製品の販売を許可されている BRP ディストリビューター / ディーラーから、最初のオーナーによって未使用の新品として購入されたものです (“BRP ディストリビューター / ディーラー”);
- BRP が指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成しなければなりません;
- 製品は BRP 認定ディストリビューター / ディーラーによって正しく登録されなければなりません;
- 2007年モデル Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトは、購入者が居住する国で購入される必要があります。

保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRP は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。BRP は、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRP が製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は欠陥の発現から2日以内に、整備を行うBRPディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをBRPディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7. BRP が行うこと

この保証に基づくBRPの義務は、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意のBRP認定ディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しいBRP純正部品と交換することです。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の移転

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、以下のような方法で所有権の移転がBRPに通知されることを条件に、残りの保証期間の間も有効となります：

BRPまたはBRP認定ディストリビューター/ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領する。次にディストリビューターがこの情報をBRPに直接転送します。

9. 消費者支援

- a) 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。
- b) さらに支援が必要な場合は、ディストリビューターのサービス部門にご相談ください。
- c) それでも解決できない場合は、問題の内容を書面にして、下記に提出してください。

CE適合性宣言



DECLARATION

CE OF CONFORMITY

適用されるEC指令:

指令 2003/44/EC Recreational – craft (レクリエーション用船舶)

関係指令:

指令 89/336/CEE Electromagnetic compatibility (電磁両立性)

関係整合規格:

ISO 13590

製造業者:

Bombardier Recreational Products Inc.
("BRP")

製造業者住所:

726 St-Joseph, Valcourt, QC J0E 2L0

製品タイプ:

パーソナル・ウォータークラフト、沿岸用カテゴリー C

届出先団体:

International Marine Certification Institute
Trèves Centre, rue de Trèves 45 1040
Brussels, Belgium

EC認定:

EXBORP001:GTI, GTI SE, GTX, GTX WAKE

EXBORP002:GTX LTD, RXP, RXT

私、署名者は、上記に示す装置が上記の指令および規格に適合していることをここに宣言します。

署名者:

Fernando Garcia

Bombardier Recreational Products Inc.
("BRP") を代表して 署名した者の役職:

Director –Public and Regulatory – Affairs
Sea-Doo Sport Boats (Sea-Doo スポーツボート広報・法務担当部長)

プライバシー保護に関する情報

あなたのご連絡先情報は安全性の確保と保証のために使わせていただきます。お客様のご連絡先情報を利用して、当社製品のご案内やご提供情報を送らせていただくことがあります。このような当社製品、サービス、ご提供に関する情報を希望されない場合は、下記まで書面にてお知らせください。

また、厳選された信頼できる企業に対して、品質の高い製品とサービスの販売促進に役立てるため、お客様のご連絡先情報の利用を許可することがあります。あなたのお名前やご住所の開示を拒否される場合は、下記まで書面にてお知らせください。

Bombardier Recreational Products Inc.
Warranty Department
75 J.A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec
J1L 1W3 Canada

Fax 番号 (819) 566-3590

切手貼付



**Bombardier
Recreational Products Inc.**

WARRANTY DEPARTMENT
75, J.A. Bombardier
Sherbrooke, QC
Canada
J1L 1W3

V00A2G

切手貼付



**Bombardier
Recreational Products Inc.**

WARRANTY DEPARTMENT
75, J.A. Bombardier
Sherbrooke, QC
Canada
J1L 1W3

V00A2G

ウォータークラフト モデル No. _____

船体識別番号 (H.I.N.) _____

エンジン識別番号 (E.I.N.) _____

所有者: _____

名前

No.

番地

アパート名

区市町村

県

ZIP/郵便番号

購入日 _____

年

月

日

保証有効期限 _____

年

月

日

販売日に Sea-Doo 認定ディーラーが記入します。

ディーラー印欄

オペレーターズガイド



BRP ジャパン 株式会社
〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町8番地 / (レール三井ビルディング) 5F
TEL 044-200-1431 FAX 044-200-1432 URL <http://www.brp-jp.com>